



平成24年度

---

Shizuoka City Museum of Art ANNUAL REPORT 2012

静岡市美術館年報 No.3

目 次

---

1. 基本理念・沿革	
1-1 基本理念	3
1-2 沿革	3
1-3 平成24(2012)年度事業一覧	4
2. 展覧会事業	
2-1 森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史	6
2-2 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業 七夕の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる	12
2-3 フィンランドのくらしとデザイン－ムーミンが住む森の生活	20
2-4 ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待	33
2-5 滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展	38
2-6 新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界	44
3. 交流事業(教育普及事業)	
3-1 交流事業	53
3-2 連携事業	62
4. 調査研究等	
4-1 調査研究	65
4-2 研修受入等	66
4-3 視察受入等	66
5. 受託事業	
5-1 「竹久夢二」展	67
5-2 「将棋名人」展	67
5-3 静岡市文化振興財団公益財団法人移行記念・マリナート開館記念 「平野富山展－江尻が生んだ彩色木彫の名匠」	68
5-4 平成24年度静岡市文化活動振興事業 静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山－江尻が生んだ彩色木彫の名匠」	69
6. 作品等貸出・図書等受入	
6-1 画像貸出記録	70
6-2 図書等受入	70
7. 広報活動	
7-1 広報印刷物	71
7-2 ウェブサイト	72
7-3 施設広報記録	72
8. 管理運営	
8-1 利用者数	73
8-2 組織図・職員名簿	76
8-3 条例・施行規則	77
8-4 施設・建築概要	79



# 1. 基本理念・沿革

## 1-1 基本理念

静岡市美術館は、JR静岡駅北口の25階建ビル「葵タワー」3階に、平成22年5月に開館、同年10月にグランドオープンしました。

「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念とし、展覧会、教育普及、調査研究活動を行っています。

展示室では、美術を主軸にデザインや工芸など幅広いジャンルの展覧会を開催します。

また、エントランスホールや多目的室、ワークショップ室などの「交流ゾーン」では、様々なアートシーンの紹介や講演会、ワークショップ、コンサート、美術映画の上映など普及事業を実施します。駅から徒歩3分という立地を活かし、誰もが気軽に立ち寄れる“ちょっと面白い街の中の広場”のような美術館を目指しています。

### 美術館ロゴマーク



ロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がりと、地域と世界を結ぶイメージが表されています。また、視点と奥行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。

デザイン：柿木原政広(アートディレクター)

## 1-2 沿革

### 平成18(2006)年

- 3月 「静岡市文化振興ビジョン」策定
- 8月1日 有識者による「(仮称)静岡市立美術館基本計画懇話会」設置

### 平成19(2007)年

- 3月 「(仮称)静岡市立美術館 基本計画」策定
- 4月1日 「静岡市新美術館準備検討委員会」設置(委員長：白井嘉尚静岡大学教授)
- 6月5日 「第1回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 8月3日 「第2回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 7月4日 「葵タワー」着工
- 10月11日 「第3回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 12月17日 「第4回静岡市新美術館準備検討委員会」開催

### 平成20(2008)年

- 2月20日 「第5回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 3月 「(仮称)静岡市立美術館運営実施計画」策定

### 平成21(2009)年

- 1月29日 「第6回静岡市新美術館準備検討委員会」開催
- 3月23日 「第7回静岡市新美術館準備検討委員会」開催

- 7月8日 美術館内装建築工事着工(内装設計：(株)丹青研究所、内装建築工事：(株)木内建設)

- 7月16日 静岡市美術館条例制定
- 11月12日 静岡市美術館条例施行規則制定

### 平成22(2010)年

- 3月24日 静岡市が(財)静岡市文化振興財団を指定管理者に指定
- 3月31日 「葵タワー」竣工
- 4月1日 「葵タワー」オープン
- 4月21日 静岡市美術館竣工
- 5月1日 静岡市美術館開館・完成記念式典開催
- 9月30日まで展覧会関連事業および交流事業を実施
- 5月2日 ワークショップシリーズ Vol.1 鈴木康広「まばたきの葉」展示(-6月13日)
- 6月26日 ワークショップシリーズ Vol.2 日詰明男「黄金比のカタチ」展示(-9月23日)
- 10月1日 静岡市美術館グランドオープン記念式典開催
- 10月2日 開館記念展<Ⅰ> 「ポーラ美術館コレクション展 印象派とエコール・ド・パリ」開催(-11月28日)
- 12月11日 開館記念展<Ⅱ> ・NHK静岡放送局開局80周年記念「家康と慶喜—徳川家と静岡」展開催(-平成23年1月30日)

### 平成23(2011)年

- 2月11日 開館記念展<Ⅲ> 「棟方志功 祈りと旅」展開催(-3月27日)
- 4月9日 「ハンス・コパー展—20世紀陶芸の革新」開催(-6月26日)
- 5月9日 当館のVIが「ワンショウ(ONE Show)」の銀賞を受賞
- 7月9日 「没後150年 歌川国芳展 幕末の奇才浮世絵師」開催(-8月21日)
- 7月12日 Shizubi Project 1 人と煙と消えるかたち 袴田京太郎 開催(-10月23日)
- 9月3日 開館1周年記念展<Ⅰ> ・NHK静岡放送局開局80周年記念「アルプスの画家 セガントーニー—光と山—」展開催(-10月23日)
- 11月3日 開館1周年記念展<Ⅱ> 「レオナルド・ダ・ヴィンチ美の理想」展開催(-12月25日)

### 平成24(2012)年

- 1月4日 東海道五十三次ひとめ図除幕式
- 1月7日 「竹久夢二と静岡ゆかりの美術」展開催(-3月25日)
- 4月7日 「森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史」開催(-6月10日)
- 6月23日 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業「七夕の美術—日本近世・近代の美術工芸にみる」開催(-8月19日)
- 8月28日 Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典 開催(-11月25日)
- 9月1日 「フィンランドのくらしとデザイン—ムーミンが住む森の生活」開催(-10月8日)
- 10月27日 「ストラスプール美術館展 モダンアートへの招待」開催(-12月16日)

### 平成25(2013)年

- 1月2日 「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展」開催(-2月11日)
- 2月23日 「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界」開催(-3月31日)

1-3 平成24(2012)年度事業一覧

	展覧会	交流事業
平成24(2012)年		
4月	森村泰昌 Mori Ennare maebutsu 美術史 4月7日-6月10日	1日 Kids Art Project Shizuoka<前年度継続分>(-6月30日)
5月		13日 プレゼントワークショップ vol.3 「母の日だ!2世代で贈るプレゼントづくり」 26日 しずびチビッコプログラム
6月		10日 プレゼントワークショップ vol.4 「父の日だ!2世代で贈るプレゼントづくり」 17日 プレゼントワークショップ vol.5「親子の日だ!ブルース・オズボーン 親子撮影会 ~未来の私たちへの贈り物~」 30日 しずびチビッコプログラム
7月	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる 6月23日-8月19日	22日 プレゼントワークショップ vol.5「親子の日だ!ブルース・オズボーン 親子写真展 ~未来の私たちへの贈り物~」(-8月26日)
8月	フィンランドのくらしとデザイン -ムーミンが住む森の生活 9月1日-10月8日	1日 しずびオープンアトリエ「折形」とあそぼう!(-19日) 10日 夜店市(静岡市中央商店街)ブース出展(-12日) 26日 連続トークイベント「ピーター・バラカンの音を見る。アートを聴く。」第6回「音楽と写真」 28日 Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典(-11月25日)
9月		15日 Shizubiシネマアワー vol.5「フィンランドを楽しむ映画」『劇場版 ムーミン パベット・アニメーション〜ムーミン谷の夏まつり』 16日 Shizubiシネマアワー vol.5「フィンランドを楽しむ映画」『かもめ食堂』 29日 しずびチビッコプログラム
10月		1日 Kids Art Project Shizuoka (-3月31日)
11月		10日 しずびチビッコプログラム
12月		1日 プレゼントワークショップ vol.6「クリスマスの準備をしよう!」 2日 Shizubiシネマアワー vol.6「フランス映画特集」『シルビアのいる街で』 8日 Shizubiシネマアワー vol.6「フランス映画特集」『8人の女たち』 9日 Shizubiシネマアワー vol.6「フランス映画特集」『クリスマス・ストーリー』 15日 プレゼントワークショップ vol.7 「新年だ!うるし塗りの竹スプーンをつくろう」①
平成25(2013)年		
1月	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展 1月2日-2月11日	6日 プレゼントワークショップ vol.7 「新年だ!うるし塗りの竹スプーンをつくろう」② 19日 しずびチビッコプログラム
2月		3日 暦とあそぶワークショップ vol.2「節分だ!鬼のお面をつくろう」 23日 しずびオープンアトリエ 「『ごんぎつね』の紙ジオラマ“立版古”をつくろう」(-3月31日)
3月	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界 2月23日-3月31日	3日 暦とあそぶワークショップ vol.3 「ひな祭りだ!オリジナル“つるし飾り”をつくろう」 23日 Shizubiシネマアワー vol.7「ダンス・ドキュメンタリー」『ピナ・パウシュ 夢の教室』 同 しずびチビッコプログラム 24日 Shizubiシネマアワー vol.7「ダンス・ドキュメンタリー」『ベジャール、そしてバレエはつづく』

## 2. 展覧会事業 目次

---

2-1 森村泰昌 Mori Ennauerレ マネぶ美術史.....	6
2-2 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業 七夕の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる.....	12
2-3 フィンランドのくらしとデザイン－ムーミンが住む森の生活.....	20
2-4 ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待.....	33
2-5 滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展.....	38
2-6 新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界 .....	44

## 2. 展覧会事業

### 2-1 森村泰昌 Mori Ennarele まねぶ美術史

会期：4月7日(土)～6月10日(日)

**概要：**ベネツィア・ビエンナーレへの出品、紫綬褒章の受章など、日本を代表する美術家の一人である森村泰昌(1951年生まれ)は、高校生のころから、画集などで新しい表現に出会うと、そのスタイルをまねて、ドローイングや絵画作品を制作してきた。

本展では、高松市美術館の所蔵品の中から、森村が若き日に影響を受けた、岡本太郎、赤瀬川原平、田中敦子など日本の現代美術史を代表する作家38人に加え、アンディ・ウォーホル、ジャスパー・ジョーンズ、ワシリー・カンディンスキー、パウル・クレー、アルブレヒト・デューラーに至るまで、西洋美術史を彩る作家たち13人、合計51人の作家の作品や資料を展示した。そして、それらの作品を“まねながら”森村が制作した絵画、写真、立体作品、習作などを一対にして展示した。各作品に付された森村自身の言葉とともに作品を辿ることで、数々の作家たちが作り上げた「美術史」と、森村による「私(わたくし)美術史」が交差し、展開した。

一人の「青年・森村」が“まねる”ことで「美術」を“まねび”、やがて「美術家・森村」になる過程を通じて、現代の美術の歴史を分かりやすく紹介した。

**巡回先：**高松市美術館、ふくやま美術館、北九州市立美術館分館、高岡市美術館

**主催：**静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、読売新聞社、美術館連絡協議会、静岡第一テレビ

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

**協賛：**ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン

**協力：**高松市美術館、Ufer! Art Documentary

**観覧料：**一般 900円(700円)

大高生・70歳以上 700円(500円)

※( )内は前売および当日に限り20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障害者手帳をご持参の方および必要な介助者は無料

**観覧者数：**7,976人(有料4,529人、無料3,447人、有料率56.78%)

**出品点数：**120点(特別出品6点含む)

**印刷物：**

1)チラシ

<仕様>紙：エスティム NS 四六判 107.5kg

サイズ・数量：A3二つ折(仕上げA4) 70,000部

2)ポスター

<仕様>紙：(B1)マットコート 135kg

(B2・B3)エスティム NS 四六判 155kg

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,500部、B3 700部



チラシ表



チラシ裏



B1およびB2ポスター



B3ポスター

## カタログ：

<仕様>240×190mm、161頁



カタログ

カラー図版136点

参考図版(モノクロ8点)

森村泰昌「まねぶ」こころ

佐々木幹郎「モリムラさんの青春」

森村泰昌略年譜/作家解説 等

作家解説執筆：牧野裕二(高松市美術館)

編集協力：高松市美術館、美術館連絡協議会

発行：株式会社赤々舎

発行年：2010年

## 各種連携：

### 近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

### 印刷物：

#### チラシ

<仕様>紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 5000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

## 主要広報記録：

### 1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『静岡〇ごとワイド』、3月27日。
- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『930+』、3月29日。
- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『930+』、3月30日。
- ・「森村泰昌展開幕式」静岡第一テレビ『県内ニュース』、4月6日。
- ・「展覧会紹介」ドリームウェブ静岡『情報BOX』、4月16日～22日。
- ・「展覧会紹介：静岡市文化振興財団インフォメーション」FM-Hi!『ひるラジ!静岡情報館』、4月17日、5月8日。
- ・「展覧会紹介」静岡第一テレビ『news every.しずおか』、4月18日。
- ・「展覧会紹介」FMしみず『マリナル ほっとライン』、5月31日。

### 2)新聞

- ・「モリエンナーレきょうから 森村泰昌氏の美術史を一覧」『読売新聞』静岡版、4月7日。
- ・「「表現通じ自分発見」名画の人物“変身”美術家森村さん 安東中で特別授業」『静岡新聞』、4月14日。
- ・生田有紀「静岡・安東中3年生にメッセージ 優れた芸術「まねて」作家の森村さん 「自画像」制作 ビデオで経験紹介」『中日新聞』静岡版、4月14日。
- ・青木良平「まねて”学んだ青年・森村 森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史 上」『読売新聞』静岡版、4月18日。
- ・青木良平「コメントも岡本太郎風 森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史 中」『読売新聞』静岡版、4月19日。
- ・青木良平「「やればなんとかなる」森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史 下」『読売新聞』静岡版、4月20日。
- ・「美術散歩 森村泰昌の美術史 静岡市美術館」『富士ニュース』、5月10日。
- ・「展覧会紹介」『リビング静岡』、5月12日。
- ・増田愛子「鬼才の足跡 創造の泉 森村泰昌モリエンナーレ 原点見つめ自分を再編集」『朝日新聞』(夕刊)、5月23日。

### 3)雑誌他

- ・「Special Exhibition 1 森村泰昌 モリエンナーレ まねぶ美術史」『ギャラリー』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『BRUTUS』、4月号。
- ・「美術家・森村泰昌の若き日の作品から、日本の現代美術史をたどる! 森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史」『Hot Pepper』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『みんな笑顔』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『クオリア』、Vol.16。
- ・「展覧会紹介」『イザナギ』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『アサヒカメラ』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『PHaT PHOTO』、5月号。
- ・「展覧会紹介」『CREA』、5月号。

### 4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- ・CINRA.NET 「森村泰昌モリエンナーレまねぶ美術展」特集
- 「森村泰昌」芸術研究所、「Japan Design Net」、「SHIFT」、「ART iT」、「IMA ONLINE」、「フィガロ・ジャポン」、「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「artscape」、「静岡市ウェブサイト」

関連事業：

1)特別鑑賞会「森村さんとめぐるモリエンナーレ」

概要：開館前の展示室で実際に作品を鑑賞しながら、作家による解説を聞くイベント。森村氏本人が制作当時の思い出や、作品に対する想いを語り、現存作家をとりあげた展覧会ならではの企画となった。

日時：4月7日(土)9:00-

会場：展示室 参加者数：60人 参加料：展覧会観覧料

主要広報記録：

テレビ・ラジオ

・「森村泰昌展 特別鑑賞会」静岡第一テレビ『県内ニュース』、4月7日。



2)学芸員によるギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計4回実施した。

日時：4月28日(土)、6月2日(土)

いずれも①10:30-、②17:00-

会場：展示室 参加者数：計105人 参加料：展覧会観覧料



3)ドキュメンタリー上映会

概要：森村氏の活動に迫ったアートドキュメンタリー作品(制作：岸本康氏「映像作家」)を、各日2本ずつ上映した。

日時：5月6日および6月3日を除く毎週日曜日 14:00-

会場：多目的室 参加者数：160人

上演プログラム：

A (4月8日、22日、5月13日、27日)

「MORIMURA Chapter0 Barco negro na mesa + Five Water Towers」(2008年、26分)

「MORIMURA Chapter1 A kind of Introduction」(2005年、37分)

B (4月15日、29日、5月20日、6月3日)

「MORIMURA Chapter2 This is the Archive」(2006年、33分)

「MORIMURA Chapter3 Time Machine」(2011年、62分)



4)「森村さんと見る映像作品上映会」

概要：映像作品を森村氏が解説し、自作への想いを語った。最初に代表作をスライドショーで紹介したのち、<なにものかへのレクイエム>シリーズから、4つの映像作品を上映した。終了後にはサイン会を実施した。

日時：5月6日(日)14:00-

会場：多目的室 参加者数：112人 対象：中学生以上



その他：

5)静岡市立安東中学校への授業協力

静岡第一テレビの撮影協力により、森村氏が安東中三年生に向けたビデオメッセージ(30分)を作成。学年集会(約200名参加)で、展覧会担当学芸員が美術教諭とともに紹介した。

日時：4月13日(金)11:40- 会場：静岡市立安東中学校



6)「シズオカ×カンヌウィーク2012」での作品上映協力

3回目を迎えた同映画祭実行委員会の依頼で、青葉シンボルロードの映画祭用特設テント(幅10m大)にて、森村氏の2つの映像作品と展覧会告知CM(90秒)を3日間にわたり上映した。

日時：5月25日(金)-5月27日(日)

会場：青葉シンボルロード葵スクエア特設会場



## 出品作品リスト

※本リストの通し番号は静岡会場のものであり、カタログ番号とは一致しない。出品点数 120点。  
※各展覧会の表記に従った。

### 第1章 匂いの記憶/1960年代初め

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
1	森村泰昌	—	1967年	木炭、紙	64.8×49	作者蔵

### 第2章 太陽とテレビンと青春/1960年代中頃

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
2	増地保男	漁村	1978年	油彩、板	164×153	作者蔵
3	森村泰昌	—	1970年代初め	油彩、板	62.5×92.5	作者蔵

### 第3章 すべてを追いかけ、追いつけず/1960年代後半

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
4	ワシリー・カンディンスキー	小さな世界Ⅶ(パネル展示)	1922年	ドライポイント、紙	35.8×30.5	高松市美術館蔵
5	森村泰昌	—	1967年頃	ペン、紙	17.6×25	作者蔵
6	イヴ・タンギー	棒占い	1947年	エッチング・彩色モノタイプ、紙	29.8×22.4	高松市美術館蔵
7	森村泰昌	—	1960年代後半	ペン、紙	25.9×36.6	作者蔵
8	パウル・クレー	網渡り	1923年	リトグラフ、紙	44×26.8	高松市美術館蔵
9	森村泰昌	—	1970年代初め	鉛筆、紙	17.7×25	作者蔵
10	ジョルジュ・ブラック	テオゴニー (神統記)	1955年	エッチング、紙	44.5×32.5	高松市美術館蔵
11	森村泰昌	—	1967年頃	ペン、紙	17.7×25	作者蔵
12	マルセル・デュシャン	完成大ガラス	1965年	カラーエッチング、和紙	35.3×23.7	高松市美術館蔵
13	森村泰昌	—	1970年前後	ボールペン、紙	18×14.6、 19.8×17.9	作者蔵
14	北代省三	レーダー	1948年	水彩、紙	22×17.5	高松市美術館蔵
15	森村泰昌	—	1968年頃	油性マーカー、下敷き	18.2×12.9	作者蔵
16	向井修二	WORK 1	1964年	ミクストメディア・油彩、 カンヴァス	162×182	高松市美術館蔵
17	森村泰昌	—	1968年頃	絵具・鉛筆、下敷き	25.1×17.8	作者蔵
18	レオナルド・ダ・ヴィンチ画集より	素描「大洪水」(1515年頃)	1975年	印刷物	33×25	森村泰昌氏蔵
19	森村泰昌	—	1970年代	鉛筆、和紙	36.5×51.9	作者蔵

### 第4章 絵画、絵画、絵画！ /1970年代

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
20	難波田龍起	心象の街	1953年	油彩、カンヴァス	90.9×116.7	高松市美術館蔵
21	森村泰昌	—	1970年代初め ～中期	アクリル、パネル	103.2×72.9	作者蔵
22	池田龍雄	未開地	1958年	油彩、カンヴァス	130.3×162.1	高松市美術館蔵
23	森村泰昌	—	1970年代初め ～中期	鉛筆、紙	26.3×37.3	作者蔵
24	宇佐美圭司	日々を往き 返路を駆ける No.1	1983年	油彩、カンヴァス	141.5×199.5	高松市美術館蔵
25	森村泰昌	—	1970年代中頃	鉛筆、紙	26×18.3	作者蔵
26	川端 実	門のイメージ 緑と紅	1991年	アクリル、カンヴァス	213.4×167.6	高松市美術館蔵
27	森村泰昌	—	1960年代後半 ～70年代前半	クレパス、紙	17.2×22.3	作者蔵
28	菅井 汲	雲	1959年	油彩、カンヴァス	146×114	高松市美術館蔵
29	森村泰昌	—	1973年頃	油彩、紙	35.3×25.1	作者蔵
30	菅井 汲	5秒前	1968年	油彩、カンヴァス	250×200	高松市美術館蔵
31	森村泰昌	—	1973年	ポスターカラー、紙	102.9×73.1	作者蔵
32	アレクサンダー・カルダー	ポスター 「カルダーの宇宙」展	1979～80年	印刷物	51.5×73	森村泰昌氏蔵
33	森村泰昌	海の素描—その2	1970年代中頃 ～後半	ネオカラー、パネル	136×162.1	作者蔵
34	岡本太郎	生成	1961年	油彩、カンヴァス	228.5×162.5	高松市美術館蔵
35	森村泰昌	絵画の国へ2	1976年	油彩、パネル	184.5×140.4	作者蔵
36	中西夏之	山頂の石蹴りNo.1	1969年	油彩、カンヴァス	73×91.5	高松市美術館蔵
37	森村泰昌	—	1973年頃	ラッカー・エアブラシ、 カンヴァス	186.2×140.9	作者蔵
38	宇治山哲平	華巖 No.11	1979年	油彩、カンヴァス	194×162	高松市美術館蔵
39	森村泰昌	球形の詩—その4	1974年	ラッカー・エアブラシ、 カンヴァス	224×186.4	作者蔵

### 第5章 あの頃、芸術は光っていた/1960年代後半～1970年代

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
40	山口勝弘	ヴィトリヌ(映像展示)	1956年	油彩・ガラス・蛍光灯	94×126×30	高松市美術館蔵
41	森村泰昌	—	1968～70年頃	ペン、紙	20.9×14.8	作者蔵
42	山本圭吾	別世界への旅(映像展示)	1968年	ガラス・ブラックライト・ ミクストメディア	200×556×30	高松市美術館蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
43	森村泰昌	—	1970年代初め	シルクスクリーン、 トレーシングペーパー	19.8×16.1	作者蔵
44	河口龍夫	石と光	1971年	石・蛍光灯	40×50×237	高松市美術館蔵
45	森村泰昌	—絵	1990年代中期	ミクストメディア	184×40.3	西田考作氏蔵

#### 第6章 アングラでサイケな闇の光/1960年代後半～1970年代

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
46	横尾忠則	電話	1965年	アクリル、カンヴァス	81×65	高松市美術館蔵
47	森村泰昌	—	1973年	ラッカーエアブラシ、 カンヴァス	33.7×24.7	作者蔵
48	平賀 敬	三枚のハートのカード	1980年	油彩、カンヴァス	150×162	高松市美術館蔵
49	森村泰昌	—	1966～68年頃	ペン、紙	17.5×25	作者蔵
50	篠原有司男	女の祭り	1969年	シルクスクリーン、紙	70×142.5	高松市美術館蔵
51	森村泰昌	祭り讃歌	1977年頃	ポスターカラー、紙	103×217.2	作者蔵
52	栗津 潔	CONTEMPORARY PRINT EXHIBITION KIYOSHI AWAZU	1981年	オフセット・シルクスクリ リーン、紙	103×72.8	高松市美術館蔵
53	森村泰昌	—	1973年	油性マーカー、紙	109.7×80	作者蔵

#### 第7章 「アンチ」クショーとの長いおつきあい/1960年代～現代まで

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
54	赤瀬川原平	櫻画報	1970年	印刷物	26×19	森村泰昌氏蔵
55	森村泰昌	マンガ絵本下絵「10円玉にいじめられるは なし」(未完)	1980年代初め	ペン、紙	38.3×54×4点	作者蔵
56	森村泰昌	マンガ絵本下絵「満開の空の下で」(未完)	1980年代初め	ペン、紙	18×25×29点	作者蔵
57	赤瀬川原平	大日本零円札	1967年	印刷、紙	14.4×30.8×2点	高松市美術館蔵
58	森村泰昌	千円札と箱(部分)	1991年	オフセット・紙・漆・木	15.2×30×6点	高松市美術館蔵
59	中西夏之	コンバクトオブジェ	1968年	ポリエステル・その他	14×25	高松市美術館蔵
60	森村泰昌	—	1966～68年頃	ペン、紙	17.7×25.1	作者蔵
61	荒川修作	Untitled Endurance I (パネル展示)	1958年	セメント・綿	253.1×123.1×22.5	高松市美術館蔵
62	森村泰昌	—	1970年代初め	鉛筆、紙	17.7×25.1	作者蔵
63	工藤哲巳	あなたの肖像(パネル展示)	1963年	木・プラスチック・ポリ エステル	50×50×200	高松市美術館蔵
64	森村泰昌	デテステなオブジェ	1987年	木・プラスチック	7.5×7.5×7.5	作者蔵
65	中村 宏	聖火千里行	1964年	油彩、カンヴァス	130×162	高松市美術館蔵
66	森村泰昌	—	1970年中頃	エアブラシ・水性インク、 ボード	36.4×51.5	作者蔵

#### 第8章 おとなが哲学する芸術の話/1970年代

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
67	加納光於	アララットの船あるいは空の蜜	1971～72年	木・金属・フィルム ガラス・その他	68×44.2×22.8	高松市美術館蔵
68	森村泰昌	—	1970年代中頃	鉛筆、紙	26.3×37.3	作者蔵
69	荒川修作	作品	1965年	油彩、カンヴァス	228.5×158.5	高松市美術館蔵
70	森村泰昌	—	1960年代後半	ペン・クレパス、紙	25.9×36.6	作者蔵
71	高松次郎	Form No.1203	1987年	油彩、カンヴァス	205×291	高松市美術館蔵
72	森村泰昌	—	1980年代中頃	シルクスクリーン、紙	54.1×76.6	作者蔵
73	飯田善國	十面体(パネル展示)	1981年	鉛・ステンレス 着色ナイロンテープ	50×120×200	高松市美術館蔵
74	森村泰昌	色彩の縄の詩学／飯田善國のために	1973・2010年	染織したロープ、金具	7.5×375	作者蔵
75	八木一夫	素因の中の素因(パネル展示)	1969年	黒陶	20.5×20.5×20.5	高松市美術館蔵
76	森村泰昌	—	1973年	モノクロ写真	55.8×45.6	作者蔵
77	関根伸夫	位相No.4(パネル展示)	1968年	ラッカー、合板レリーフ	220×120×90	高松市美術館蔵
78	森村泰昌	—	1980年代初め ～中頃	シルクスクリーン、紙	38×62	作者蔵
79	狗巻賢二	無題	1974年	墨、方眼紙	73×103	高松市美術館蔵
80	森村泰昌	—	1970年代中頃	シルクスクリーン、紙	55.7×79.3	作者蔵
81	アド・ラインハート	10スクリーンプリント	1966年	シルクスクリーン、紙	55.8×43.2×10点	高松市美術館蔵
82	森村泰昌	スケッチブック	1970年代中頃	フォトグラムを含む特殊 技法写真	80.8×101.9×4点	作者蔵

#### 第9章 ハンガ・ストライク/1983年

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
83	エル・リシツキー	太陽の征服より 墓掘り	1923年	リトグラフ、紙	37×26.5	高松市美術館蔵
84	森村泰昌	—	1983年	シルクスクリーン、紙	78.9×104.4、 70×140	作者蔵
85	アンリ・マティス	「ジャズ」より ピエロの葬送(パネル展示)	1947年	ポショワール、紙	44.4×67.8	高松市美術館蔵
86	森村泰昌	—	1983年	シルクスクリーン、紙	78.9×104.4	作者蔵

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
87	木村光佑	現在位置-存在(A)	1971年	リトグラフ・シルクスクリーン、紙	73.5×103	高松市美術館蔵
88	森村泰昌	—	1970年代初め～中頃	鉛筆、紙	35.6×28.8	作者蔵
89	瑛九	ダンス	1950年	フォトデッサン	54.5×45.5	高松市美術館蔵
90	森村泰昌	—	1980年代初期	フォトグラム	35.4×27.9×4点	作者蔵
91	瀧口修造	作品	1970年	デカルコマニー、紙	27×19.7	高松市美術館蔵
92	森村泰昌	—	1970年代中頃	インク、紙	27.9×36.7	作者蔵

#### 第10章 めまい、やまい、やばい/1980年前後

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
93	前田常作	空間の秘儀(生誕)	1964年	油彩、カンヴァス	116.7×90.9	高松市美術館蔵
94	森村泰昌	メビウス・マンダラの混淆図	1970年代中頃	オフセット、紙	44.2×45.4	作者蔵
95	アルブレヒト・デュラー	アルブレヒト・デュラーのカレンダー(ヨハネ黙示録)	1971年	カレンダー	41×27	森村泰昌氏蔵
96	森村泰昌	—	1970年代中頃～後半	オフセット、紙	60.4×45.6	作者蔵

#### 第11章 アメリカンフィーリング/1980年代

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
97	ジャスパー・ジョーンズ	二つの旗	1980年	リトグラフ、紙	127×86	高松市美術館蔵
98	森村泰昌	On Photographs Vol-3	1981年	カラー写真	73.3×103.5	作者蔵
99	フランク・ステラ	ヘルグーサスリー	1982年	エッチング・木版、紙	168.6×130.8	高松市美術館蔵
100	森村泰昌	—	1980年代中頃	ミクストメディア	26.7×38.9	作者蔵
101	ロバート・インディアナ	A GARDEN OF LOVE	1982年	シルクスクリーン、紙	61×61	高松市美術館蔵
102	森村泰昌	—	1970年代初め	鉛筆、紙	20×18	作者蔵
103	アンディ・ウォーホル	マリリン	1967年	シルクスクリーン、紙	91.5×91.5	高松市美術館蔵
104	森村泰昌	MのセルフポートレートNo.56/B(あるいはマリリン・モンローとしての私)	1995年	モノクロ写真	50.8×40.6	作者蔵
105	合田佐和子	くわえタバコのデートリッヒ	1973年	油彩、カンヴァス	56.5×40.5	高松市美術館蔵
106	森村泰昌	MのセルフポートレートNo.62/B(あるいはディートリッヒとしての私)	1995年	モノクロ写真	50.8×40.6	作者蔵
107	佐藤寛子	森村泰昌(ボデゴン(鼻つき洋梨))の複製	2008年	FRP・木・樹脂石膏	33×36×25	作者蔵
108	森村泰昌	ボデゴン(鼻つき洋梨)	1992年	ミクストメディア	40×60×55	高松市美術館蔵
109	三木富雄	耳	1964～65年	アルミニウム	7×26×45	高松市美術館蔵
110	森村泰昌	蝶覚の彫刻/三木富雄のために	2010年	ホワイトメタル	11×18×10.5	作者蔵

#### 終章 「私」美術史/アッチャんの電気服

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
111	森村泰昌	動く電気服2010	2010年	映像		作者蔵
112	森村泰昌	光と熱を描く人/田中敦子と金山明のために	2010年	カラー写真	200×150	作者蔵
113	金山 明	Mar.6	1957年	フェルトペン、紙	77.3×109.3	高松市美術館蔵
114	森村泰昌	—	1960年代後半	ボールペン、紙	17.7×12.6	作者蔵

#### 特別出品

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ(縦×横cm)	所蔵
115	森村泰昌	肖像(ヴァン・ゴッホ)	1985年	カラー写真	120×100	高松市美術館蔵
116	森村泰昌	ポートレート(赤I)(黒)	1986年	カラー写真	120×100×2点	高松市美術館蔵
117	森村泰昌	肖像(泉)I II III	1986-90年	カラー写真	240×120×3点	高松市美術館蔵
118	森村泰昌	たぶらかし(マルセル)	1988年	カラー写真	150×120	高松市美術館蔵
119	森村泰昌	批評とその愛人	1989年	カラー写真	72.5×92	高松市美術館蔵
120	森村泰昌	ポートレート(九つの顔)	1989年	カラー写真	179.7×234	高松市美術館蔵



2-2 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業  
七夕の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる

会期：6月23日(土)－8月19日(日)

(前期：6月23日(土)－7月22日(日))  
(後期：7月24日(火)－8月19日(日))

**概要：**静岡音楽館AOIのコンサート「日本の響きでつづる 七夕のまつりに」の開催趣旨に想を得、江戸後期に庶民に浸透した七夕をテーマとした美術展。「笹の葉さらさら」「短冊」「織姫と彦星」、…。七夕伝説は「乞巧奠(きっこうでん)」という、古代中国の魔除けの風習に端を発しているという。本展では日本の近世・近代の絵画、工芸などにより、平安時代からの儀礼としての七夕を今なお守り伝える、京・冷泉家より「乞巧奠 星の座」を特別出品する他、浮世絵や近代日本画の名品、そして日本独自のもう一つの七夕・天稚彦(あめわかひこ)物語絵巻のほか、「星合(ほしあい)」の図像を継承する近代日本画(美人画)の名品を紹介することで、今も昔も変わらない「星に願いを」という思いを市民に届けるよう試みた。また、静岡とのゆかりから、描かれた富士羽衣伝説のコーナーを設けた。

静岡市文化振興財団が管理運営する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・るとの連携事業とし、音楽、科学、美術を横断した多角的な事業となった。

巡回先：なし(自主企画展)

**主催：**静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡新聞社・静岡放送

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会

**助成：**芸術文化振興基金

**観覧料：**一般 800円(600円)

大高生・70歳以上 600円(400円)

※( )内は前売および20名以上の団体料金

※中学生以下無料

※障害者手帳をご持参の方および必要な介助者は無料

**観覧者数：**10,929人(有料6,734人、無料4,195人、有料率61.62%)

**出品点数：**74点(参考出品3点含む)

印刷物：

1)早刷チラシ

<仕様>紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 20,000部



早刷チラシ表



早刷チラシ裏

2)チラシ

<仕様>紙：ユーライト 110kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折(仕上げA4) 50,000部

3)ポスター

<仕様>紙：(B1)マットコート 135kg

(B2・B3)ユーライト 135kg

サイズ・数量：B1 100部、B2 1,800部、B3 550部



チラシ表



チラシ中面



B1およびB2ポスター



B3ポスター

## カタログ：

＜仕様＞A4判変形(297×225mm)、99頁



カタログ

カラー図版148点

参考図版(カラー28点、モノクロ3点)

吉田恵理「七夏の美術展」覚書－イメージの連鎖による本展の趣旨」

作品解説/主要参考文献/出品リスト 等

編集・発行：静岡市美術館

助成：芸術文化振興基金

発行年：2012年

## 各種連携：

### 1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

### 印刷物：

#### チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

### 2)他施設との連携

西部生涯学習センターと連携し、成人向け講座「七夏の美術と歴史～星祭りを学ぶ～」を6月29日、7月6日の計2日間実施した。

## 主要広報記録：

### 1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」トコちゃんねる静岡『TCNワイド』、6月26日、27日、28日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『ひるラジ! 静岡情報館』、6月26日、8月7日放送。
- ・「展覧会紹介」FMしみず『エフエム熱海湯河原とクロストーク』、6月27日放送。
- ・「展覧会紹介」FMしみず『マリンパル ほっとライン』、7月5日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『NHKしずおか情報ランチ』、7月6日放送。
- ・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『たっぷり静岡』『県内ニュース』(同一内容)、7月6日放送。

### 2)新聞

- ・「七夏の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる 23日から静岡市美術館 星への願い神話生む」『静岡新聞』、6月14日。
- ・吉田恵理「星に願いを－あなたの知らない七夏の美術」『新美術新聞』、6月21日。
- ・「冷泉家の祭壇再現 「七夏の美術」23日開幕 作品搬入を開始 静岡市美術館」『静岡新聞』、6月20日。
- ・「七夏テーマに葵区で講座 29日、来月6日」『静岡新聞』6月22日。
- ・「「七夏の美術」展きょう開幕 静岡市美術館で式典」『静岡新聞』6月23日。
- ・岸桂子「アート小路「七夏の美術」展 盃の中の星に願いを」『毎日新聞』全国版(夕刊)、7月2日。
- ・「美術工芸品に見る七夏 静岡市美術館」『富士ニュース』、7月5日。
- ・井上晋治「七夏の織りなす変遷 絵巻物から現代アートまで」『読売新聞』全国版、7月5日。
- ・「七夏の絵画や工芸など70点 来月19日まで静岡市美術館」『伊豆新聞』、7月25日。
- ・「祭りの日 浴衣で来館を 市美術館が料金割引 来月まで7日間対象」『静岡新聞』、7月26日。

### 3)雑誌他

- ・「七夏伝説を、日本美術の名品で辿ろう 七夏の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる」『Hot Pepper』、6月号。
- ・「展覧会紹介」『ギャラリー』、6月号。
- ・「今月の展覧会 七夏の美術－日本近世・近代の美術工芸にみる」『月刊 水墨画』、6月15日。
- ・「七夏に込めた人々の願いを探る」『ひととき』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『男の隠れ家』、8月号。
- ・「展覧会紹介」『淡交』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『ミセス』、8月号。
- ・「展覧会紹介」『美術屋 百兵衛』、7月14日。
- ・「京の雅・冷泉家の乞巧奠「星の座」がやってくる！」『芸術新潮』、7月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊美術』、8月号。

### 4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「artgene」、「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「駿府ウェイブ」、「artscape」、「静岡市ウェブサイト」

**関連事業：**

**1)日詰明男 七夕フィボナッチタワーをつくろう！**

**概要：**葵タワー1階のエントランスホールに、黄金比に基づいた約8mの竹のタワーを、数学者で造形作家の日詰明男氏と一般ボランティアが共同制作した。5月は部材制作を行い、6月に公開制作を実施した。

この竹のタワーは、葵タワー1階のエントランスホール(地上界)から、葵タワー3階の美術館(天上界)で開催される「七夕の美術展」とをつなぐオブジェである。本展担当者が日詰氏に依頼したことにより実現した。本展で展示しているもう一つの七夕の物語《天稚彦物語絵巻》に登場するジャックと豆の木のような、一夜瓢のようなオブジェ《七夕フィボナッチタワー》が一夜にして出来上がり、葵タワーの賑わいの創出にも一役かった。なお、日詰氏には美術館エントランスホールにも、本展にあわせ《羽衣天の川》の制作を依頼、展示した。

**実施期間：**5月19日(土)～6月3日(日)

**講師：**日詰明男氏(造形作家)

**会場：**市内竹材業者(部材制作)、葵タワーエントランスホール(共同制作)

**参加者数：**計112人



部材制作の様子(5月)



公開制作の様子(6月)

**2)七夕フィボナッチタワー出現！**

**概要：**日詰明男氏と一般ボランティアが共同制作した「七夕フィボナッチタワー」を、葵タワーエントランスホールに展示した。

**展示期間：**6月4日(月)～8月24日(金)

**会場：**葵タワーエントランスホール

**協賛：**葵タワー管理組合法人

**主要広報記録：**

**新聞**

・「高さ8メートル 「竹のタワー」登場」『産経新聞』静岡版、6月13日。

・荒木涼子「七夕フィボナッチタワー 静岡 黄金比研究家 日詰さんから制作・展示」『毎日新聞』静岡版、6月16日。

・「涼を運ぶ竹製タワー 静岡」『静岡新聞』(夕刊)、6月29日。



展示風景

3) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業  
ミュージアム・コンサート

①《乞巧奠祭壇 星の座》の前で聴く「乞巧奠/星合曲」

概要：三館共同事業「ミュージアム・コンサート」の第1弾。作品として実際に展示された「乞巧奠 星の座」を前に、琴と歌の演奏を実施する予定であったが、出演者の体調不良により中止となった。

日時：6月23日(土)19:00開場 19:15開演

会場：展示室

参加料：全席自由 1,000円

出演：鈴木真為(歌、箏)

②「雅楽：星空の調べ」

概要：三館共同事業「ミュージアム・コンサート」の第2弾。雅楽演奏グループの「伶楽舎」により、“星空”にちなんだ曲が披露された。また、出演者による雅楽で用いられる楽器の紹介も行われた。

日時：7月6日(金)18:30開場 19:00開演

会場：多目的室

参加料：全席自由 1,000円

出演：伶楽舎(宮田まゆみ、八木千暁、田淵勝彦)

曲目：《平調音取》、《越天楽》、《星の音取》、一柳慧：独奏笙のための《星の輪》ほか

主要広報記録：

新聞

・「星空テーマ 雅楽の夕べ 「七夕の美術」展 静岡市美術館で演奏会」『静岡新聞』、7月7日。



4) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業  
ミュージアム・カフェ・トーク「七夕の星空&講演会」/ガレージトーク

※64頁を参照。6月30日(土)

5) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業  
ミュージアム・カフェ・トーク「七夕：コンサートと展覧会が出来るまで」

概要：コンサート「七夕のまつりに」と展覧会「七夕の美術 日本近世・近代の美術工芸にみる」展の見どころを紹介しながら、「乞巧奠」を中心に、音楽と美術における様々な七夕の表現について考察した。

ゲスト：田村博巳氏(演出家、国立劇場芸能部副部長、静岡音楽館AOI企画会議委員)

コーディネーター：吉田恵理(当館学芸員)

日時：7月1日(日)16:00-

会場：多目的室 参加者数：31人



6) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業  
静岡音楽館「日本の響きでつづる 七夕のまつりに」

※64頁を参照。7月7日(土)

7) 講演会「もうひとつの七夕-星をめぐる姫」

概要：天稚彦物語絵巻を研究する数少ない美術史家を招聘し、セントリー美術館本、ベルリン国立アジア美術館本、安城市歴史博物館本等を比較しながら紹介した。物語の内容や、絵巻独特の表現の特徴などについてパワーポイントをいながらわかりやすく解説した。

日時：7月7日(土)15:00-

講師：大月千冬氏(共立女子大学非常勤講師)

会場：多目的室 参加者数：42人



## 8) ギャラリートーク

### ① 学芸員による展示解説

概要：当館学芸員によるギャラリートークを2日間計4回実施した。

日時：7月14日(土)、28日(土)

いずれも①10:30-、②17:00-

会場：展示室 参加者数：計48人

参加料：展覧会観覧料

### ② “この1点”をとことん語る

概要：参加者の希望をもとに展示作品の中から作品を選び、その作品をじっくり鑑賞するギャラリートークを2日間計4回実施した。橋本花乃《七夕》、北野恒富《願いの糸》、伊東深水《銀河祭り》、小村雪岱《七夕》がとりあげられた。

日時：7月21日(土)、8月4日(土)

いずれも①10:30-、②17:00-

会場：展示室 参加者数：計50人 参加料：展覧会観覧料



## 9) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業

### 静岡科学館「夏の星空を観察しよう(観望会)」

概要：静岡市美術館の「七夕の美術」展を鑑賞し、七夕について学んだあと、天体望遠鏡と双眼鏡で夏の星空を観察した。

日時：7月29日(日)18:00-

対象：小学校4年生～中学生

会場：静岡市美術館展示室、静岡市立森下小学校

参加者数：25人



エントランスホール《羽衣天の川》の下で

## 10) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業

### 「展示室で宇宙散歩」

概要：当館学芸員が展覧会の概要を説明した後、展示室内に設置したプラネタリウムで、国立天文台が開発したソフトを用い、静岡科学館の科学コミュニケーターが夏の星空の解説を行った。

日時：7月31日(火)、8月19日(日)

いずれも16:00-(20分程度)

会場：展示室 参加料：展覧会観覧料

参加者数：計94人



展示室内のプラネタリウムで

## 11) アーティストトーク&ワークショップ

黄金比の七夕飾りをつくろう！

### ① 《プレアデス》を作る

### ② 《星籠》(六<sup>むまがり</sup>勾納豆)を作る

概要：日詰明男氏による、約30m長の布でできた《羽衣天の川》を展覧会会期中エントランスホールに設置した。その飾りとなる作品《プレアデス》のミニチュア版模型および《星籠》(六勾納豆)の制作を、日詰氏の解説を交えたワークショップとして実施した。

日時：①7月14日(土)、②7月16日(月・祝)

いずれも13:00-17:00

講師：日詰明男氏(造形作家) 会場：多目的室

参加料：1,000円 参加者数：①12人、②31人

主要広報記録：

新聞

・「黄金比の星」制作 静岡市美術館 ワークショップ 造形作家が指導」『静岡新聞』、7月15日。



ワークショップ《プレアデス》を作る

## 11)旧暦七夕コンサート

**概要：**旧暦の七夕の日(2013年は8月24日)に、エントランスホールにかかる《羽衣天の川》のもと、日詰明男氏による黄金比の音楽「フィボナッチ・ケチャック」とギターの即興演奏のコンサートを市民ボランティアとともにいった。

**日時：**8月24日(金)17:30開演

**会場：**エントランスホール

**出演：**日詰明男(造形作家)、夢美路丈旁 take-bow\_yumiji、ボランティア演奏者15名

**参加者数：**143人

**主要広報記録：**

### 新聞

- ・橋爪充「しずおか音楽の現場 竹の打楽器で「川根ケチャック」造形作家・日詰明男さん(川根本町) 黄金比のリズムを表現」『静岡新聞』、8月6日。
- ・天田優里「竹の不思議な音色 旧暦七夕に響かせ 静岡市美術館で演奏会」『中日新聞』静岡版、8月25日。
- ・「竹打楽器でリズム刻む 葵区・市美術館 旧暦七夕コンサート」『静岡新聞』、8月25日。

印刷物：告知チラシ

<仕様>紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 5,000部



告知チラシ表



告知チラシ裏



### ①前座その1

#### 幾何学屋台「星のカタヌキ」

**概要：**コンサートの前座として、来館者を対象に、黄金比を元にした日詰氏の幾何学模型《トルネード》を制作するワークショップを実施した。

**日時：**8月24日(金)13:00-

**講師：**日詰明男氏

**会場：**エントランスホール 参加者数：40人



### ②前座その2

#### 空想数学辻講釈「宇宙の形、原子の形」

**概要：**コンサートの前座として、最新の研究事例を交えながら、黄金比の視点から宇宙の構造を解説するミニレクチャーを実施した。

**日時：**8月24日(金)15:00-

**講師：**日詰明男氏

**会場：**エントランスホール 参加者数：27人



出品作品リスト

※出品点数 74点。  
※各展覧会の表記に従った。

第1章 プロローグー織姫と彦星の物語

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵者
1	土佐光成	七夕図	江戸時代(18世紀)	絹本着色 一幅	敦賀市立博物館
2	堤秋栄	織女と牽牛図	江戸時代(19世紀)	紙本着色 一幅	たばこと塩の博物館
3	—	風流たなばた星合の躰	明治時代(19世紀)	紙本木版 一枚	吉徳資料室
4	—	牽牛織女図(七夕の…)	江戸時代(19世紀)	紙本木版 一幅	個人蔵
5	歌川芳藤	七夕祭りの事	弘化4～嘉永5年(1847～52)	大判錦絵揃物のうち一枚	早稲田大学演劇博物館
6	月岡芳年	月百姿 銀河月	明治19年(1886)	大判錦絵揃物のうち一枚	早稲田大学演劇博物館
7	月岡芳年	月百姿 銀河月	明治19年(1886)	大判錦絵揃物のうち一枚	早稲田大学演劇博物館
8	竹久夢二	七夕	大正11年(1922)	紙本着色 二曲一隻	金沢湯涌夢二館
9	小村雪岱	七夕	昭和前期(1930-40年代)	絹本着色 一幅	清水三年坂美術館
参考	(原画 小村雪岱)	『洒落本集成 第三巻』表紙	昭和5年(1930)	一冊	個人蔵
10	橋本花乃	七夕	昭和5～6年(1930～31)頃	紙本着色 二曲一双	大阪市立近代美術館建設準備室
11	林司馬	七夕	昭和13年(1938)	絹本着色 一面	京都国立近代美術館

第2章 江戸の七夕・京の七夕

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵者
12	北野恒富	願いの糸	大正3年(1914)	絹本着色 一幅	(公財)木下美術館
13	北野恒富	七夕	大正12年(1923)	紙本着色 二曲一隻	大阪市立美術館
14	小村雪岱	星祭り	昭和8年(1933)頃	絹本着色 一幅	金子國義氏蔵
15	伊東深水	銀河祭り	昭和21年(1946)	絹本着色 一幅	東京藝術大学
16	鶴澤探山	五節句図	享保12年(1727)	絹本墨画淡彩 五幅対	京都府立総合資料館
17	中島来章	五節句図	江戸時代(19世紀)	絹本着色 五幅対	敦賀市立博物館
18	岡本常彦	五節句図(短冊)	明治時代(19世紀)	絹本着色 五枚	個人蔵
19	鳥居清長	子宝五節遊	寛政8～9年(1796～97)頃	大判錦絵揃物 五枚	サントリー美術館
20	初代歌川国貞	文月西陣の星祭	文政期(1818～30)	大判錦絵三枚続	たばこと塩の博物館
21	初代歌川国貞	風流五節句の内	天保14年(1843)	大判錦絵揃物 五枚	東京都江戸東京博物館
22	深斎英泉	四季の遊	文化12～天保13年(1815～42)	九つ切判錦絵揃物 十二枚	東京都江戸東京博物館
23	落合芳幾	五節句の内 甲喜楼之初秋	明治4年(1871)	大判錦絵三枚続	たばこと塩の博物館
24	土佐光武 他	筆の錦	慶応3年(1867)	紙本着色 全三巻のうち第二巻	(公財)冷泉家時雨亭文庫
25	—	帷子 白麻地七夕文様	江戸時代(18世紀)	友禅染 型摺 一領	京都国立博物館
26	—	鞠袂(扶板)	江戸時代(19世紀)	一点	奈良県立美術館
27	—	飾鞠	江戸時代(19世紀)	二丸	奈良県立美術館
28	柴田義董	七夕棍鞠図	江戸時代(19世紀)	紙本着色 一幅	奈良県立美術館
29	玉之	年中行事図扇面のうち七月	明治時代(19世紀)	紙本着色 十二摺のうち一摺	個人蔵
30	長谷川雪旦	十二カ月図 七月 文使い	江戸時代(19世紀)	紙本着色 十二幅対のうち一幅	東京都江戸東京博物館
31	円山応震	七夕文使図	江戸時代(19世紀)	絹本着色 一幅	京都国立博物館
32	住吉広定	七夕花扇使図	江戸時代(19世紀)	紙本着色 一幅	奈良県立美術館
33	大木素十	花扇(復元品)	平成22年(2010)	一点	個人蔵
34	—	有職造物図巻	文政3年(1820)識	紙本着色 一巻	個人蔵
35	—	踊り絵巻	江戸時代(18世紀)	一巻	奈良県立美術館
36	案本一洋	七夕踊	大正7年(1918)	絹本着色 四曲一隻	個人蔵
37	歌川広重	名所江戸百景 市中繁栄七夕祭	安政4年(1857)	大判錦絵揃物のうち一枚	安城市歴史博物館
38	歌川広重	名所江戸百景 市中繁栄七夕祭	安政4年(1857)	大判錦絵揃物のうち一枚	早稲田大学演劇博物館
39	歌川広景	江戸名所道戯尽 十三 鏝のわたし七夕祭	安政6年(1859)	大判錦絵揃物のうち一枚	早稲田大学演劇博物館
40	二代歌川広重	諸国名所百景 東都青山百人町星燈籠	文久元年(1861)	大判錦絵揃物のうち一枚	東京都江戸東京博物館
41	橋本周延	江戸風俗 十二カ月の内 七月 七夕筋違見附八辻	明治22年(1889)	大判錦絵三枚続	東京都江戸東京博物館
42	橋本周延	千代田之大奥 七夕	明治29年(1895)	大判錦絵三枚続	静岡県立中央図書館
43	右田年英	美人十二姿 文月	明治34年(1901)	大判錦絵揃物のうち一枚	安城市歴史博物館
44	初代歌川国貞	「妹背山婦女庭訓」 烏帽子折求馬の三代目坂東三津五郎、おみわの五代目岩井半四郎	文政元年(1818)	大判錦絵二枚続	早稲田大学演劇博物館
45	三代歌川豊国	「妹背山婦女庭訓」 藤原たにかい公の五代目沢村長十郎、酒屋娘おみわの三代目岩井半三郎	嘉永2年(1849)	大判錦絵二枚続	早稲田大学演劇博物館
46	三代歌川豊国	「妹背山婦女庭訓」 杉酒屋娘おみわの三代目嵐璃寛、烏帽子折もとの八代目市川団十郎、立花姫の三代目岩井半三郎	嘉永5年(1852)	大判錦絵三枚続	早稲田大学演劇博物館
47	三代歌川豊国	「七夕」の五代目市村竹之丞、「重陽」の六代目松本幸四郎	嘉永7年(1854)	大判錦絵 一枚	早稲田大学演劇博物館
48	三代歌川豊国	「妹背山婦女庭訓」 ゑばし折求馬の初代中村福助、杉酒屋娘おみわの二代目中村富十郎	嘉永7年(1854)	大判錦絵 一枚	早稲田大学演劇博物館
49	三代歌川豊国	「七伊呂波拾遺 七夕 杉酒の段」 烏帽子折求馬の初代中村福助、杉酒屋お三輪の三代目岩井半三郎	安政3年(1856)	大判錦絵揃物のうち一枚	早稲田大学演劇博物館

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵者
50	三代歌川豊国	『七伊呂波拾遺 七夕 杉酒の段』 烏帽子折求馬の初代中村福助、杉酒屋お三輪の三代目岩井条三郎	安政3年(1856)	大判錦絵揃物のうち一枚	早稲田大学演劇博物館
51	三代歌川豊国	『妹背山婦女庭訓 杉酒屋おみわの三代目岩井条三郎、でつち子太郎の四代目市川小団次のとまぼし折求女の初代河原崎権十郎』	安政6年(1859)	大判錦絵二枚続	早稲田大学演劇博物館
52	三代歌川豊国	浄瑠璃所作事「日月星昼夜織分」 夜ばひ星の四代目市川小団次と牽牛の初代河原崎権十郎、織女の三代目岩井条三郎	安政6年(1859)	大判錦絵 一枚	早稲田大学演劇博物館
53	三代歌川豊国	浄瑠璃所作事「日月星昼夜織分」 二星ノ精織女の三代目岩井条三郎、夜這星の精の四代目市川小団次、二星ノ精牽牛の初代河原崎権十郎	安政6年(1859)	大判錦絵三枚続	早稲田大学演劇博物館
54	三代歌川豊国	浄瑠璃所作事「日月星昼夜織分」 夜ばひ星の四代目市川小団次、織女の三代目岩井条三郎、牽牛の初代河原崎権十郎	安政6年(1859)	大判錦絵三枚続	早稲田大学演劇博物館

### 第3章 儀礼としての七夕

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵者
55	—	乞巧奠祭壇 星の座	—	一式	(公財)冷泉家時雨亭文庫
56	徳川齊昭作・所用	琵琶	江戸時代(19世紀)	一面	静岡浅間神社
参考	—	琴	江戸時代(19世紀)	一面	静岡浅間神社
57	徳川家茂所用	ギヤマン七夕飾文具	江戸時代(19世紀)	一式	(公財)徳川記念財団
58	徳川家達所用	七夕飾文具	明治時代(19世紀)	一式	(公財)徳川記念財団
59	住吉広行	相撲人取組図	江戸時代(19世紀)	絹本着色 一幅	(財)日本相撲協会相撲博物館
60	黙堂	志賀清林節会相撲人の図	江戸時代(19世紀)	絹本着色 一幅	(財)日本相撲協会相撲博物館
61	—	平安朝相撲節会図	明治時代(19世紀)	紙本着色 一幅	(財)日本相撲協会相撲博物館
62	水野年方	相撲節会図	明治時代(19世紀)	紙本着色 一握	(財)日本相撲協会相撲博物館

### 第4章 もう一つの七夕—天稚彦(あめわかひこ)の物語

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵者
63	—	天稚彦物語絵巻	江戸時代(17世紀)	紙本着色 二巻	サントリー美術館
64	—	七夕のさうし	江戸時代(17世紀)	紙本着色 一巻	専修大学図書館
65	—	七夕之本地絵巻	江戸時代(17世紀)	紙本着色 二巻	安城市歴史博物館

### 第5章 エピローグ 天に向かって、星に願いを

No.	作者名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵者
66	—	羽衣	江戸時代(19世紀)	紙本着色 二巻	個人蔵
67	木村武山	羽衣	昭和初期頃(1920～30年代)	絹本着色 六曲一双	静岡県立美術館
68	隅谷正峯	直刀 七星剣 鎧傘笠正峯作之／癸亥年二月日	昭和58年(1983)	一口	石川県立美術館
参考	宇宙散歩	協力 静岡科学館			
69	日詰明男	ブレアデス	平成22年(2010)	アルミ 一体	個人蔵
70	日詰明男	羽衣天の川	平成24年(2012)	インスタレーション	個人蔵
71	日詰明男	七夕フィボナッチタワー	平成24年(2012)	竹、杉板	個人蔵



## 2-3 フィンランドの暮らしとデザイン -ムーミンが住む森の生活

会期：9月1日(土)～10月8日(月・祝)会期中無休

**概要：**フィンランドの森に住むトロール(妖精)の「ムーミン」は、画家・作家のトーヴェ・ヤンソンが生み出した童話シリーズの登場人物である。ムーミンが家族や友人と一緒に森で暮らし、厳しい自然環境の中で自由と冒険の精神を育んでいくこの物語は、フィンランドの風土やライフスタイルを学ぶための良きバイブルともなっている。

本展は『ムーミン』の挿絵原画をはじめ、絵画、建築、工芸、デザインなど392点の作品でフィンランドのライフスタイルを紹介する、これまでにない大規模な展覧会であった。フィンランド人の心の原点である民族叙事詩『カレワラ』を題材に描いた画家アクセリ・ガレン＝カレラや建築家エリエル・サーリネンの作品を通して、フィンランド近代芸術の根幹となる精神と風土を探った。また、その基礎の上に花開いた国民的建築家・デザイナー、アルヴァ・アアルトの家具やカイ・フランクの食器、マリメッコ社のテキスタイルなど、「すべての人々にとって、あらゆる観点から良いデザイン」を追求し、今なお時代を超えて愛されるフィンランドのモダン・デザインの数々を紹介した。

**巡回先：**青森県立美術館、宇都宮美術館、長崎県美術館、兵庫県立美術館

**主催：**静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、静岡朝日テレビ、日本経済新聞社

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、フィンランド大使館、フィンランドセンター

**特別協力：**フィンエアー

**協力：**アルテック社、イッタラ(フィスカース・グループ)、株式会社スキャンデックス、マリメッコ社、株式会社ルック、株式会社タトル・モリ エイジェンシー、社団法人日本フィンランド協会、小海フィンランド協会、株式会社竹尾、社団法人日本建築家協会 東海支部 静岡地域会、社団法人静岡県建築士事務所協会、公益社団法人静岡県建築士会

**企画・運営協力：**株式会社キュレーターズ

**企画協力：**宇都宮美術館

**観覧料：**一般 1,000円(800円)  
大高生・70歳以上 700円(500円)  
※( )内は前売および当日に限り20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

**観覧者数：**41,258人(有料31,965人、無料9,293人、有料率77.48%)

**出品点数：**392点

**印刷物：**

1)チラシ

<仕様>紙：Gradia CoC 86kg

サイズ・加工・数量：A3二つ折(仕上げA4) 75,000部

2)ポスター

<仕様>紙：Gradia CoC 120.5kg

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,000部、B3 1,100部



チラシ表



チラシ中面



B1およびB2ポスター



B3ポスター

### 3)ミニDM

＜仕様＞紙：OKマットポスト 180kg  
 サイズ・数量：ハガキ 30,000部



DM表



DM裏

### カタログ：

＜仕様＞B5判変形(260×195mm)、276頁、箱付



箱



カタログ表紙

カラー図版702点、モノクロ45点

橋本優子「「森」と「社会」に根ざし、「社会」と「森」に還元されるデザイン」

ミンナ・トゥルティアイネン「アクセリ・ガレン＝カレラと叙事詩『カレワラ』」

エリナ・ボネリウス「「ムーミン」と「カレワラ』」

セクション解説/作家解説/出品リスト/年譜/主要参考文献 等

企画・構成・発行：株式会社キュレイターズ

編集：伊藤鮎、橋本優子、株式会社キュレイターズ

発行年：2012年



### 各種連携：

#### 1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

#### 印刷物：

##### チラシ

＜仕様＞紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

### 主要広報記録：

#### 1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」K-mix 『ウィークエンドヤッホー』、8月25日。
- ・「静岡市美術館から生中継」静岡朝日テレビ『とびっきり静岡』、8月25日。
- ・「展覧会紹介」NHK静岡放送局『たっぷり静岡』、9月3日。
- ・「フィンランド展1万人達成」静岡朝日テレビ『とびっきり静岡』、9月9日。
- ・「フィンランド展3万人達成」静岡朝日テレビ『とびっきり静岡』、10月1日。

#### 2)新聞

- ・窪田直子「森と湖の国の洗練 「フィンランドの暮らしとデザイン」展」『日本経済新聞』、7月25日。
- ・「フィンランド展開催 「ムーミン」を入り口に生活紹介 来月1日～10月8日」『産経新聞』静岡版、8月27日。
- ・「フィンランド展きょうから開催 静岡市美術館で」『日本経済新聞』静岡版、9月1日。
- ・天田優里「フィンランドの暮らしとデザイン きょうから市美術館で 「ムーミン」作家の絵画2枚を日本初公開 静岡」『中日新聞』静岡版、9月1日。
- ・荒木涼子「フィンランド展 暮らし文化紹介 静岡市美術館」『毎日新聞』静岡版、9月6日。
- ・「フィンランドのデザイン 静岡市美術館」『富士ニュース』、9月6日。
- ・脇坂圭一「展覧会見聞録 スオミの森に宿るデザインの源泉 フィンランドの暮らしとデザインームーミンが住む森の生活」『建設通信新聞』、9月27日。
- ・「フィンランドの美術作品など展示」『読売新聞』静岡版、10月6日。
- ・川口良子「時評 デザインの力 文化伝え、暮らし豊かに」『静岡新聞』10月17日。
- ・高階秀爾「美の季想 神秘的な冬景色 輝く白に流れる祖国愛」『朝日新聞』(夕刊)、11月28日。

### 3)雑誌他

- ・「ムーミンが住む国のライフスタイルを知る「フィンランドのくらしとデザイン」展」『素住-SUSU』、No.14。
- ・「展覧会紹介」『ひととき』、9月号。
- ・「ムーミンが住む森の生活、『フィンランドのくらしとデザイン』展 静岡市美術館で今秋開催」『giorni』2012 AUTUMN。
- ・「案内役はムーミン！ 時代を超え愛されるフィンランド芸術の魅力 フィンランドのくらしとデザイン ムーミンが住む森の生活」『Hot pepper』、9月号。
- ・「展覧会紹介」『Freek フリーク』、Vol.24。
- ・「北欧デザイン その魅力に迫る」『クーヨン』、10月号。
- ・「フィンランドのくらしとデザイン—ムーミンが住む森の生活— 静岡市美術館にて開催中」『MOE』、10月号。
- ・「「ムーミン」一家がやってきた 「フィンランドのくらしとデザイン—ムーミンが住む森の生活」展」『ポッケ』、9月号。
- ・「フィンランドの自然が生んだ みんなに心地よいデザイン」『リンネル』、10月号。

### 4)ウェブサイト等(主要記事以外は媒体名のみ記載)

- ・新川徳彦「フィンランドのくらしとデザイン——ムーミンが住む森の生活」artscape10月1日号レビュー。
- 「Finland-Design」公式サイト、「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「Japana Design Net」、「artscape」、「北欧区」、「こどもと一緒に旅しよう」、ウェブマガジン「きんぽう」、「ドコモiコンシェル」、「静岡市ウェブサイト」



エントランスに展示した森の家



森の家 中の様子

### 関連事業：

#### 1)講演会「アクセリ・ガレン=カレラと民族叙事詩「カレワラ」

**概要：**ガレン=カレラ美術館のコレクション主任学芸員のミンナ・トゥルティアイネン氏を講師に、フィンランドの国民的画家であるガレン=カレラと、彼が題材とした民族叙事詩「カレワラ」との関係を紹介した逐次通訳による講演会。

**日時：**9月1日(土)14:00-16:00

**講師：**ミンナ・トゥルティアイネン氏(ガレン=カレラ美術館コレクション主任学芸員)

**会場：**多目的室 参加者数：92人



#### 2)ふじのくに子ども芸術大学 ワークショップ

##### 「フィンランドの伝統装飾 ヒンメリをつくらう！」

**概要：**造形作家のおおくほともこ氏を講師にフィンランドの伝統装飾「ヒンメリ」を作るワークショップ。ヒンメリの歴史的背景や日本のしめ縄文化との比較などから、フィンランド文化を理解する機会となった。また、市内生涯学習センター2館と連携し、同内容でワークショップを行った。

**日時：**<美術館>

①9月8日(土)、②9月23日(日)

いずれも14:00-16:00

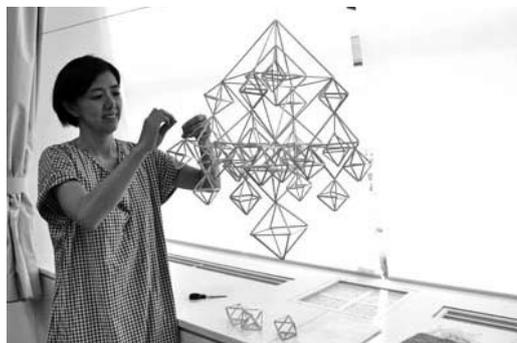
**会場：**ワークショップ室

**講師：**おおくほともこ氏(造形作家)

**参加料：**1組1,000円

**参加者数：**①9組18人、②10組20人

**助成：**ふじのくに子ども芸術大学



### 3) ヤンネ館野トーク&コンサート

#### 「フィンランドの響き」

概要：ヘルシンキ出身、2つの祖国「フィンランドと日本」で活躍するヴァイオリニスト、ヤンネ館野によるトーク&コンサート。フィンランドを代表する作曲家ジャン・シベリウスをはじめ全14曲が演奏された。

日時：9月9日(日)13:30開場 14:00開演

会場：多目的室

出演：ヤンネ館野氏(ヴァイオリニスト)、井上雅人氏(バリトン)、水月恵美子氏(ピアノ)

参加料：全席自由 1,500円

参加者数：137人

曲目：

ジャン・シベリウス「ノヴェレット」、「ロマンス」、「ノロンディーノ」、「花の組曲」より「矢車草」、「樹の組曲」より「樅の樹」、「ユーモレスク」

オスカル・メリカント「夏の夜の牧歌」、「金のかげら」、「思い出す時」、「ラドガ」

セリム・バルムグレン「月の光」

ユリヨ・キルピネン「夕べに」

イルマリ・ハンニカイネン「平和」



トイヴォ・クーラ 「秋の気配」

エルッキ・メラルティン 「雨」

ペール・ヘンリク・ノルドグレン 《小泉八雲の怪談によるバラード》より「雪女」

トイヴォ・クーラ 「教会墓地の夏の夜」

ヨーナス・コッコネン 「即興曲」

### 4) ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを2日間計2回実施した。

日時：9月17日(月・祝)、10月7日(日)

いずれも14:00-

会場：展示室 参加者数：計99人

参加料：展覧会観覧料



### 5) 講演会「北欧デザインの中のフィンランド・モダンデザイン」

概要：北欧デザイン研究の第一人者である島崎信氏を講師に、フィンランドデザインが生まれた歴史的背景や特徴などを解説。風土や生活に根差した伝統工芸なども紹介することで、ブームとして捉えられがちな「北欧デザイン」を正しく理解する機会となった。

日時：9月22日(土・祝)14:00-15:30

講師：島崎信氏(武蔵野美術大学名誉教授・日本フィンランドデザイン協会理事長)

会場：多目的室 参加者数：105人



1万人達成



3万人達成

出品作品リスト

※本リストの通し番号は静岡会場のものであり、カタログ番号とは一致しない。出品点数 392点。  
※各展覧会の表記に従った。

①フィンランドデザインの黎明－森に育まれたナショナリズムと近代スオミの風景と森の暮らし

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
1	アクセリ・ガレン＝カレラ	風景	1894年	油彩、葉巻の箱の蓋	アイノラ財団
2	アンティ・ファヴェン	夏至祭の踊り	1911年	油彩、キャンヴァス	メリタ美術財団
3	アクセリ・ガレン＝カレラ	倒れた松	1904年	油彩、キャンヴァス(板で裏打ち)	ヨスタ・セラッキウス美術財団
4	エーロ・ヤルネフェルト	コリ高原から望む	1927年	グアッシュ、紙	フォータム美術財団
5	アルヴィド・レイエルンド	田舎家の部屋で	1870年	油彩、キャンヴァス	フォータム美術財団
6	ルイス・スパーレ	教会からの帰路	1896年	油彩、キャンヴァス	アモス・アンダーソン美術館
7	ハンナ・ロンベリ	冬の午後	1893年	油彩、キャンヴァス	メリタ美術財団
8	アクセリ・ガレン＝カレラ	伐木	1909年	油彩、合板	ヨスタ・セラッキウス美術財団
9	ヴァイノ・プロムシュテット	冬景色	1890年頃	油彩、キャンヴァス	メリタ美術財団
10	アクセリ・ガレン＝カレラ	オオヤマネコの巣穴	1906年	油彩、キャンヴァス	ヨスタ・セラッキウス美術財団
11	アクセリ・ガレン＝カレラ	オオヤマネコの巣穴	1906年	パステル、グアッシュ、ボード	フォータム美術財団
12	ベッカ・ハロネン	冬景色	1915年	油彩、キャンヴァス	アイノラ財団
13	ベッカ・ハロネン	冬の松	1908年	油彩、キャンヴァス	メリタ美術財団
14	ベッカ・ハロネン	冬	1900年	油彩、キャンヴァス	個人蔵
15	ヴィクトル・ヴェステルホルム	カルヤーの冬景色	1912年	油彩、キャンヴァス	アモス・アンダーソン美術館
16	ヴィクトル・ヴェステルホルム	レボサーリの水岸	1910年	油彩、キャンヴァス	メリタ美術財団
17	ヴィクトル・ヴェステルホルム	冬のキュミ川にて	1919年	油彩、キャンヴァス	UPMキユンメネ文化財団
18	アクセリ・ガレン＝カレラ	マンタの急流	1917年	油彩、キャンヴァス	ヨスタ・セラッキウス美術財団
19	エーロ・ヤルネフェルト	スオミの風景	1903年	油彩、キャンヴァス	フォータム美術財団
20	ベッカ・ハロネン	風景	1918年	油彩、キャンヴァス	メリタ美術財団
21	ミハエル・シルキン	フクロウ	1960年	陶	フォータム美術財団
22	ユッシ・マンティネン	若い牡鹿(ヘラジカ)	1949年	ブロンズ	フォータム美術財団

フィンランド民族叙事詩「カレワラ」

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
23	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第1章「ヴァイナミヨイネンの誕生」21～64節	1930年	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
24	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第1章「ヴァイナミヨイネンの誕生」65～102節	年代不詳	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
25	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第1章「ヴァイナミヨイネンの誕生」103～105節	年代不詳	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
26	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第1章「ヴァイナミヨイネンの誕生」より	1920年代	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
27	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第1章「ヴァイナミヨイネンの誕生」183～222節	年代不詳	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
28	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第1章「ヴァイナミヨイネンの誕生」223～262節	年代不詳	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
29	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第2章「ヴァイナミヨイネンの播種」1～16節	年代不詳	水彩、鉛筆、紙	ガレン＝カレラ美術館
30	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第2章「ヴァイナミヨイネンの播種」231～270節	年代不詳	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
31	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第2章「ヴァイナミヨイネンの播種」271～292節	1925年	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
32	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第3章「ヴァイナミヨイネンとヨウカハイネン」1～14節	年代不詳	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
33	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第4章「アイノの死」より	1929年	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
34	アクセリ・ガレン＝カレラ	『大カレワラ』のためのデザイン原画 第4章「アイノの死」より	1929年	水彩、紙	ガレン＝カレラ美術館
35	アクセリ・ガレン＝カレラ	書籍「装丁本カレワラ」のためのデザイン原画	1922年	水彩、鉛筆、紙	ガレン＝カレラ美術館
36	アクセリ・ガレン＝カレラ	書籍「装丁本カレワラ」のためのデザイン原画 第1・2章より	年代不詳	水彩、鉛筆、紙	ガレン＝カレラ美術館
37	アクセリ・ガレン＝カレラ	書籍「装丁本カレワラ」のためのデザイン原画 第10章より	年代不詳	水彩、鉛筆、紙	ガレン＝カレラ美術館
38	アクセリ・ガレン＝カレラ	書籍「装丁本カレワラ」のためのカット画	年代不詳	水彩、鉛筆、紙	ガレン＝カレラ美術館
39	アクセリ・ガレン＝カレラ	死と花	1896年	木版、紙	ガレン＝カレラ美術館
40	アクセリ・ガレン＝カレラ	死の花	1895年	木版、紙	ガレン＝カレラ美術館
41	アクセリ・ガレン＝カレラ(挿絵・装丁)	挿絵本「カレワラ」(初版・特別装丁版)	刊行1922年	木版、印刷、紙、革装	社団法人日本フィンランド協会
42	アクセリ・ガレン＝カレラ(挿絵・装丁)	挿絵本「カレワラ」(挿絵・装丁)	刊行1941年	印刷、紙	個人蔵
43	猪熊弦一郎(挿絵)／森本覚丹(翻訳)	書籍「フィンランド国民的叙事詩 カレワラ」(邦訳初版・上製版)	刊行1937年	印刷、紙	フィンランド大使館
44	アクセリ・ガレン＝カレラ	レリーフ「サンボの奪還」	1894年	木	ガレン＝カレラ美術館
45	アクセリ・ガレン＝カレラ	ヴァイナミヨイネンとアイノ	1890年	油彩、キャンヴァス(ガレン＝カレラ自作の額)	個人蔵
46	アクセリ・ガレン＝カレラ	兄弟殺し(スケッチ)	1897年頃	油彩、キャンヴァス	ヨスタ・セラッキウス美術財団
47	ベッカ・ハロネン	サンボの略奪(スケッチ)	1919年	グアッシュ、木炭、鉛筆、紙	メリタ美術財団
48	アクセリ・ガレン＝カレラ	サンボの鑄造(スケッチ)	1893年	油彩、キャンヴァス	ヨスタ・セラッキウス美術財団

「森」と創造—トウ—スラ湖畔の芸術コミュニティ

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
49	アルベルト・エーデルフェルト	ジャン・シベリウス	1904年	鉛筆、木炭、水彩、グアッシュ、紙	アイノラ財団
50	アクセリ・ガレン＝カレラ	ポスター「国民的啓蒙 / 歌と音楽の祭り / 1900年、於ヘルシンキ」	1900年	リトグラフ、紙	ガレン＝カレラ美術館
51	ユッシ・ラーサネン・ヴァイオリン工房(フィンランド)	5弦カンテレ(民族楽器)	2009年	木、木製ペグ、馬素弦	日本カンテレ友の会桑島実穂氏
52	制作者名不詳	トゥオヒトルヴィ(民族楽器)	1978年	白樺の皮	国立音楽大学 楽器学資料館
53	アクセリ・ガレン＝カレラ	冬のCALEラ	1897年	アクアチント、エッチング、紙	ガレン＝カレラ美術館
54	アクセリ・ガレン＝カレラ	ペーパー ナイフ(5点)	年代不詳	木	ガレン＝カレラ美術館
55	アクセリ・ガレン＝カレラ	ドア・ハンドル(2点)	年代不詳	木	ガレン＝カレラ美術館
56	アクセリ・ガレン＝カレラ(装飾)	スキー板(制作:ランピネン・スキー用具社)	20世紀初頭	木	ガレン＝カレラ美術館
57	アクセリ・ガレン＝カレラ	1900年パリ万国博覧会フィンランド館、「アイリスの間」のルイユ「炎」(制作:フィンランド・ハンディクラフト協会(1965年のリプロダクション))	デザイン:1890年	ウール	ガレン＝カレラ美術館
58	アクセリ・ガレン＝カレラ	1900年パリ万国博覧会フィンランド館、「アイリスの間」の壁掛け「ライチョウ」(部分)(制作:フィンランド・ハンディクラフト協会(1899年))	デザイン:1899年	ウール、綿	フィンランド・デザイン・ミュージアム(ガレン＝カレラ美術館に寄託)
59	アクセリ・ガレン＝カレラ	クッション「翼」(制作:マリ・ガレン＝カレラ(年代不詳))	デザイン:1897年頃	ポプリン地、刺繍、アブリケ	ガレン＝カレラ美術館
60	アクセリ・ガレン＝カレラ	クッション「イソギンチャク」(制作:フィンランド・ハンディクラフト協会(1977年のリプロダクション))	デザイン:1900-1902年	ポプリン地、刺繍、アブリケ	ガレン＝カレラ美術館
61	アクセリ・ガレン＝カレラ	クッション「海獣」(制作:フィンランド・ハンディクラフト協会(1978年のリプロダクション))	デザイン:1900-1903年	ポプリン地、刺繍、アブリケ	ガレン＝カレラ美術館
62	アクセリ・ガレン＝カレラ	ポスター「アレクシス・キヴィ著『七人兄弟』刊行 / 挿絵:アクセリ・ガレン＝カレラ / ユルイェ・ウェイリン出版(ヘルシンキ)」	1907年	リトグラフ、紙	ガレン＝カレラ美術館
63	アクセリ・ガレン＝カレラ(挿絵・装丁) / 原著:アレクシス・キヴィ	書籍「七人兄弟」(初版)	1908年	印刷、紙	個人蔵
64	アクセリ・ガレン＝カレラ(挿絵・装丁) / 原著:アレクシス・キヴィ	書籍「七人兄弟」(革特装版)	1931年	印刷、紙	フィンランド大使館
65	アクセリ・ガレン＝カレラ(挿絵・装丁)	書籍「七人兄弟」(1958年版)	1958年	印刷、紙	個人蔵
66	露谷紅児(挿絵・装丁) / 原著:アレクシス・キヴィ、翻訳:森本ヤス子	書籍「七人兄弟」(邦訳初版)	1942年	印刷、紙	フィンランド大使館
67	ベッカ・ハロネン	材木を流す人々	1925年	油彩、キャンヴァス	UPMキユメネ文化財団
68	ベッカ・ハロネン	荒野でコーヒーを	1905年	油彩、キャンヴァス	メリタ美術財団
69	アクセリ・ガレン＝カレラ	サウナの外で	1889年	油彩、ボード	ヨスタ・セラッキウス美術財団
70	ヴァイノ・プロムシュテット	タバストリー「生贄」(フィンランドの偶像崇拜)(フィンランド・ハンディクラフト協会制作)	1901年	ウール、綿	フィンランド・デザイン・ミュージアム

フィンランド時代のサーリネン建築:1896-1923年

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
71	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヘルシンキ中央駅:正面パース	1904-1914年頃	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
72	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヘルシンキ中央駅:側面パース(広場側)	1904-1914年頃	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
73	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヘルシンキ中央駅:待合コンコースのパース	1911年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
74	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヘルシンキ中央駅:大コンコースのパース	1913年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
75	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ヘルシンキ中央駅:待合室パース	1910年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
76	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ファビアン通り17番地の集合住宅・商業ビル:立面図(ボホヨイネン・マシン通り側ファサード)	1900年	デジタル画像による複製図面	ヘルシンキ市政資料室・行政裁判所
77	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ファビアン通り17番地の集合住宅・商業ビル:断面図	1900年	デジタル画像による複製図面	ヘルシンキ市政資料室・行政裁判所
78	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	ファビアン通り17番地の集合住宅・商業ビル:1階平面図	1900年	デジタル画像による複製図面	ヘルシンキ市政資料室・行政裁判所
79	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	オロフスボリ集合住宅・商業ビル:立面図(カウピアン通り側ファサード)	1901年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
80	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	「ヴェイトレスク」:サーリネン邸とリンドグレン邸の立面図(中庭側ファサード)	1902年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
81	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	「ヴェイトレスク」:サーリネン邸とリンドグレン邸の立面図(湖側ファサード)	1902年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
82	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	カラワラ会館案:外観パース(海側)	1921年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
83	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	カラワラ会館案:敷地・全体俯瞰図	1921年	デジタル画像による複製図面	フィンランド建築博物館
84	エリエル・サーリネン	バラ図案のルイユ(制作:フィンランド・ハンディクラフト協会(1904年))	デザイン:1904年	ウール	メリタ美術財団
85	エリエル・サーリネン	試作椅子「コティ」(制作:フィッティネン村の家具職人(フィンランド:1903年))	デザイン:1903年	オーク(ワックス仕上げ)、ウール張地、真鍮金具(ニッケル・メッキ)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
86	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	書斎用デスク・チェア(メーカー:N.ポーマン社(フィンランド、1908年))	プロトタイプ:1908年	班目カバ材(ワックス仕上げ)、別珍張地、真鍮(ニッケル・メッキ)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
87	ゲセリウス・リンドグレン・サーリネン建築設計事務所	鉄道省事務室の椅子(メーカー:N.ポーマン社(フィンランド、1909年))	プロトタイプ:1909年	オーク(ワックス仕上げ)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
88	エリエル・サーリネン	ヘルシンキ中央駅の事務椅子(メーカー:N.ポーマン社(フィンランド、1908/1909年))	プロトタイプ:1908/1909年	オーク(ワックス仕上げ)、オーク積層合板(座)	フィンランド・デザイン・ミュージアム

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
89	エリエル・サーリネン	椅子「ハンネス」(ソルタヴァラのハンネス・サーリネン邸の椅子)(メーカー:アデルタ社(フィンランド:1983年のリプロダクション))	プロトタイプ:1908年頃	マホガニー(フレーム)、皮(座)	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
90	エリエル・サーリネン	椅子「ハンネス」(ソルタヴァラのハンネス・サーリネン邸の椅子)(メーカー:アデルタ社(フィンランド:1983年のリプロダクション))	プロトタイプ:1908年頃	マホガニー(フレーム)、皮(座)	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
91	エリエル・サーリネン	銀行小切手:1,000マルク(1909年版)	発行:1909年	印刷、紙	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
92	エリエル・サーリネン	銀行小切手:100マルク(1909年版)	発行:1909年	印刷、紙	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
93	エリエル・サーリネン	銀行小切手:50マルク(1909年版)	発行:1909年	印刷、紙	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
94	エリエル・サーリネン	銀行小切手:1,000マルク(1922年版)	発行:1922年	印刷、紙	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
95	エリエル・サーリネン	銀行小切手:500マルク(1922年版)	発行:1922年	印刷、紙	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
96	エリエル・サーリネン	銀行小切手:100マルク(1922年版)	発行:1922年	印刷、紙	ノルデア銀行ヘルシンキ本店 銀行博物館・歴史資料室
97	エリエル・サーリネン	シート切手:5ペンニ	発行:1917年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
98	小坂憲正	幻のカレワラ会館へのオマージュ	2012年	木	作家蔵

#### ムーミン一家の春夏秋冬

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
99	トーヴェ・ヤンソン	ファンタジー	1954年	テンペラ、キャンヴァス	メリタ美術財団
100	トーヴェ・ヤンソン	若い女性(自画像)	1942年	油彩、キャンヴァス	スオミ相互生命保険会社
101	トーヴェ・ヤンソン	月夜の密造酒づくり (雑誌「ガルム」1951年1号のための挿絵原画)	制作・初版1951年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
102	トーヴェ・ヤンソン	夏休みに出かけるひとびと (雑誌「ガルム」1950年9号のための挿絵原画)	制作・初版1950年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
103	トーヴェ・ヤンソン	無題 (書籍「ムーミン谷の仲間たち」のための挿絵原画)	制作1930-1939年 (書籍未掲載)	水彩、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
104	トーヴェ・ヤンソン	浜辺のたき火に当たるムーミンたち(書籍「小さなトロールと大きな洪水」のための挿絵原画)	制作・初版1945年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
105	トーヴェ・ヤンソン	雪のなかのムーミンとミィ(書籍「ムーミン谷の冬」のための挿絵原画)	制作・初版1957年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
106	トーヴェ・ヤンソン	一家の写真:1878年、ヘルシンキにて(書籍「ムーミン谷の冬」のための挿絵原画)	制作・初版1957年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
107	トーヴェ・ヤンソン	シャンデリアとご先祖様を見上げるムーミン(書籍「ムーミン谷の冬」のための挿絵原画)	制作・初版1957年	スクレーピング(引っ掻き)、黒いカード ボード	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
108	トーヴェ・ヤンソン	海泡石の電車のなかで泣いているサロメちゃん(書籍「ムーミン谷の冬」のための挿絵原画)	制作・初版1957年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
109	トーヴェ・ヤンソン	日曜日の雪合戦(書籍「ムーミン谷の冬」のための挿絵原画)	制作・初版1957年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
110	トーヴェ・ヤンソン	壁の穴から「沈黙の園」を眺めるヘムレンさん(書籍「ムーミン谷の仲間たち」のための挿絵原画)	制作・初版1962年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
111	トーヴェ・ヤンソン	スナフキンのママのおばさんが持っていた天蓋つきベッド(書籍「ムーミン谷の仲間たち」のための挿絵原画)	制作・初版1962年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
112	トーヴェ・ヤンソン	雨のなかをやって来たスナフキン(書籍「ムーミン谷の11月」のための挿絵原画)	制作・初版1962年	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
113	トーヴェ・ヤンソン	スクルッタおじさんが夢見た小川(書籍「ムーミン谷の11月」のための挿絵原画)	制作・初版1970年	インク、カードボード	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
114	トーヴェ・ヤンソン	無題	年代不詳(書籍未掲載)	インク、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
115	ペール・オロフ・ヤンソン	アトリエで制作中のトーヴェ・ヤンソン	不詳	写真、紙	タンペレ市立美術館ムーミン谷 コレクション
116	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「小さなトロールと大きな洪水」	刊行1945年	印刷、紙	個人蔵
117	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミン谷の彗星」	刊行1946年	印刷、紙	個人蔵
118	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「たのしいムーミン一家」(初版、ハード・カバー)	刊行1948年	印刷、紙	個人蔵
119	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「たのしいムーミン一家」(初版、ソフト・カバー)	刊行1948年	印刷、紙	個人蔵
120	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミンババの思い出」(初版、ハード・カバー)	刊行1950年	印刷、紙	個人蔵
121	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミン谷の夏まつり」(初版、ハード・カバー)	刊行1954年	印刷、紙	個人蔵
122	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミン谷の冬」(初版、ハード・カバー)	刊行1957年	印刷、紙	個人蔵
123	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミン谷の仲間たち」(初版、ハード・カバー)	刊行1962年	印刷、紙	個人蔵
124	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミン谷の仲間たち」(初版、ハード・カバー)	刊行1962年	印刷、紙	個人蔵
125	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミンババ海へ行こう」(初版、ハード・カバー)	刊行1965年	印刷、紙	個人蔵
126	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミンババ海へ行こう」(初版、ソフト・カバー)	刊行1965年	印刷、紙	個人蔵
127	トーヴェ・ヤンソン(挿絵・装丁・著)	書籍「ムーミン谷の十一月」	刊行1970年	印刷、紙	個人蔵

#### ②フィンランドデザインの黄金時代—森を糧とする豊かな生活とグッド・デザイン

##### カイ・フランク

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
128	カイ・フランク	陶磁器デザインのドロウイング	1950年代	鉛筆、クレヨン、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
129	カイ・フランク	ガラス器デザインのドロウイング	1950年代	鉛筆、クレヨン、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
130	カイ・フランク	ガラス器デザインのドロウイング	1950年代	鉛筆、インク、タコ・カード(紙)	フィンランド・デザイン・ミュージアム

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
131	カイ・フランク	皿・ボウル用リングのカラー・スキーム(ドローイング)	1974年頃	鉛筆、クレヨン、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
132	カイ・フランク	自然形態から製品のデザインへ(ドローイング)	1970年代	デジタル画像による複製(原画:インク、紙)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
133	カイ・フランク	ボウル「DA」	プロトタイプ1946年 制作1947-1968年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
134	カイ・フランク	カップ&ソーサー 「TM」	プロトタイプ1948年 制作1952-1966年	アラビア製陶社(フィンランド)磁器	フィンランド・デザイン・ミュージアム
135	カイ・フランク	クリーム・サーヴァー 「MK」	プロトタイプ1948年 制作1953-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)磁器、 コルク(蓋)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
136	カイ・フランク	蓋付き容器「IS」	プロトタイプ1949年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
137	カイ・フランク	蓋付き容器「IS」	プロトタイプ1949年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
138	カイ・フランク	蓋付き容器「IS」	プロトタイプ1949年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
139	カイ・フランク	蓋付き容器「IS」	プロトタイプ1949年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
140	カイ・フランク	カップ&ソーサー 「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1953-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
141	カイ・フランク	蓋付きクリーム・サーヴァー 「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1953-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
142	カイ・フランク	シュガー・ポット「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
143	カイ・フランク	大皿「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
144	カイ・フランク	皿「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
145	カイ・フランク	大角皿「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
146	カイ・フランク	角皿「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
147	カイ・フランク	深皿「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
148	カイ・フランク	ボウル「SA/BA:キルタ」	プロトタイプ1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
149	カイ・フランク	持ち手付き角野菜皿「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
150	カイ・フランク	蓋付き水差し「BA:キルタ」	プロトタイプ1951-1952年 制作1952-1975年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
151	カイ・フランク	塩入れ「F」	プロトタイプ1952年 制作1959-1968年	アラビア製陶社(フィンランド)耐火粘 土器(シャモット)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
152	カイ・フランク	フィンランド国有鉄道食堂車の角皿「G」	プロトタイプ1955年 制作1957-1967年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
153	カイ・フランク	蓋付き容器「IA」	プロトタイプ1957-1959年 制作1957-1966年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
154	カイ・フランク	オードブル皿「KF1」	プロトタイプ1957年 制作1958-1962年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
155	カイ・フランク	オードブル皿「KF2」	プロトタイプ1957年 制作1958-1962年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
156	カイ・フランク	オードブル皿「KF3」	プロトタイプ1958年 制作1958年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
157	カイ・フランク、カイ・エンヴァルト(協働デザイナー)、ウツラ・プロコベ(協働デザイナー)	トレイ付きオードブル皿「BA:キルタ」(協働デザイナー:カイ・エンヴァルト、ウツラ・プロコベ)	プロトタイプ1957年 制作1961年	アラビア製陶社(フィンランド)陶器 (ファヤンス焼き)、木(トレイ)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
158	カイ・フランク	ボウル	プロトタイプ1957年 制作1957-1968年	ヴァルツィラ・コーネ&シルタ社(フィン ランド)スチール(エナメル塗装)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
159	カイ・フランク	冷蔵庫用ボックス	プロトタイプ1957年 制作1957-1968年	ヴァルツィラ・コーネ&シルタ社(フィン ランド)スチール(エナメル塗装)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
160	カイ・フランク	マグ「ヒトボイタ290」	プロトタイプ1977年 制作1978-1998年	サルヴィス社(フィンランド)プラスチック	フィンランド・デザイン・ミュージアム
161	カイ・フランク	ボウル「ヒトボイタ664」	プロトタイプ1977年 制作1978-1998年	サルヴィス社(フィンランド)プラスチック	フィンランド・デザイン・ミュージアム
162	カイ・フランク	ボウル「ヒトボイタ657」	プロトタイプ1977年 制作1978-1998年	サルヴィス社(フィンランド)プラスチック	フィンランド・デザイン・ミュージアム
163	カイ・フランク	ティー・カップ&ソーサー BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
164	カイ・フランク	マグカップ BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
165	カイ・フランク	マグカップ BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
166	カイ・フランク	マグカップ BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
167	カイ・フランク	マグカップ BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
168	カイ・フランク	マグカップ BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
169	カイ・フランク	マグカップ BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
170	カイ・フランク	皿 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
171	カイ・フランク	皿 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
172	カイ・フランク	皿 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
173	カイ・フランク	皿 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
174	カイ・フランク	長方形大皿 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
175	カイ・フランク	正方形野菜皿 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
176	カイ・フランク	深皿 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
177	カイ・フランク	蓋物 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス
178	カイ・フランク	蓋物 BAU 「ティーマ」	現行製品(プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキヤンデックス

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
179	カイ・フランク	ヴィネガー・ポトル BAU 「ティーマ」	現行製品 (プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶、コルク(蓋)	スキャンデックス
180	カイ・フランク	蓋付ピッチャー BAU 「ティーマ」	現行製品 (プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
181	カイ・フランク	小皿セット「ティーマ」	現行製品 (2011年-)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
182	カイ・フランク	小皿セット「ティーマ」	現行製品 (プロトタイプ1979-1980年)	イッタラ(フィスカース・グループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
183	カイ・フランク	タンブラー「Tupa」	プロトタイプ1948年 制作1948-1954年	イッタラ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
184	カイ・フランク	カップ「Tupa」	プロトタイプ1948年 制作1948-1954年	イッタラ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
185	カイ・フランク	ピッチャー「Tupa 5201」	プロトタイプ1948年 制作1948-1954年	イッタラ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
186	カイ・フランク	皿「Tupa 5230-145」	プロトタイプ1948年 制作1948-1954年	イッタラ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
187	カイ・フランク	ボウル「Tupa 5231-205」	プロトタイプ1948年 制作1948-1954年	イッタラ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
188	カイ・フランク	シュナップス・グラス「5023-006」	プロトタイプ1948年 制作1956-1975年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
189	カイ・フランク	タンブラー「5023-018」	プロトタイプ1948年 制作1956-1975年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
190	カイ・フランク	タンブラー「5023-035」	プロトタイプ1948年 制作1956-1975年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
191	カイ・フランク	ゴブレット「1111-012」	プロトタイプ1953年 制作1953-1956年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
192	カイ・フランク	ゴブレット「1111-012」	プロトタイプ1953年 制作1953-1956年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
193	カイ・フランク	ゴブレット「1111-012」	プロトタイプ1953年 制作1953-1956年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
194	カイ・フランク	ピッチャー「5601」	プロトタイプ1954年 制作1954-1971年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
195	カイ・フランク	ピッチャー「1609-090」	プロトタイプ1954年 制作1954-1965年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
196	カイ・フランク	ピッチャー「1621」	プロトタイプ1954年 制作1955-1968年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス、 籐(持ち手)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
197	カイ・フランク	タンブラー「2744-020」	プロトタイプ1955年 制作1953/55-1967年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
198	カイ・フランク	タンブラー「2744-020」	プロトタイプ1954年 制作1955-1968年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
199	カイ・フランク	タンブラー「2744-020」	プロトタイプ1954年 制作1955-1968年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
200	カイ・フランク	タンブラー「2744」(6個)の贈答用パッケージ	プロトタイプ1955年 制作1955-1960年	印刷、紙	フィンランド・デザイン・ミュージアム
201	カイ・フランク	ピッチャー「1610」	プロトタイプ1956年 制作1954/56-1966年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
202	カイ・フランク	タンブラー「1711」	プロトタイプ1958年 制作1958-1964年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
203	カイ・フランク	タンブラー「1711」	プロトタイプ1958年 制作1958-1964年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
204	カイ・フランク	タンブラー「1711」	プロトタイプ1958年 制作1958-1964年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
205	カイ・フランク	カクテル・ミキサー	プロトタイプ1950年代 制作1950年代	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
206	カイ・フランク	皿「5268」	プロトタイプ1954年 制作1954-1967年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
207	カイ・フランク	角皿「5269-135」	プロトタイプ1954年 制作1954-1967年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
208	カイ・フランク	アイス・バケット「1373」	1954年頃	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス、 スチール(持ち手)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
209	カイ・フランク	二重ボウル「1372」	プロトタイプ1954年 制作1954-1990年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
210	カイ・フランク	調味料入れセット「2193」	プロトタイプ1953年 制作1953-1963年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス、 チーク	フィンランド・デザイン・ミュージアム
211	カイ・フランク	オードブル皿セット「1367」	プロトタイプ1953年頃 制作1955-1967年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド) ガラス、チーク	フィンランド・デザイン・ミュージアム
212	カイ・フランク	オブジェ「KF235 空飛ぶ円盤」	プロトタイプ1955年 制作1956-1958年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
213	カイ・フランク	ボウル「KF 266」	プロトタイプ1960年 制作1960-1964年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
214	カイ・フランク	花瓶「ブルティロ3418」	プロトタイプ1963年 制作1963-1980年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド) ガラス、カバ(蓋)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
215	カイ・フランク	花瓶「ブルティロ3419-240」	プロトタイプ1960年 制作1963-1980年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス、 カバ(蓋)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
216	カイ・フランク	タンブラー「ルスティカ1770-015」	プロトタイプ1963年 制作1963-1970年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
217	カイ・フランク	タンブラー「ルスティカ1770-015」	プロトタイプ1963年 制作1963-1970年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
218	カイ・フランク	ジョッキ「ルスティカ1771-030」	プロトタイプ1963年 制作1963-1970年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
219	カイ・フランク	ピッチャー「ルスティカ1649-100」	プロトタイプ1963年 制作1963-1970年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
220	カイ・フランク	タンブラー「ルートウリタリ5011-020」	プロトタイプ1966年 制作1966-1973年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
221	カイ・フランク	タンブラー「ルートウリタリ5011-030」	プロトタイプ1963年 制作1966-1973年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
222	カイ・フランク	ジョッキ「ルーツリタリ5611-050」	プロトタイプ1966年 制作1966-1973年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
223	カイ・フランク	アイス・ペール「ルーツリタリ5352」	プロトタイプ1963年 制作1966-1973年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス、 スチール(持ち手)	フィンランド・デザイン・ミュージアム
224	カイ・フランク	ワイン・グラス「セルヴス5045-012」	プロトタイプ1966年 制作1966-1974年	ヌータヤルヴィ社/アラビア製陶社(フィン ランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
225	カイ・フランク	ワイン・グラス「セルヴス5045-023」	プロトタイプ1966年 制作1966-1974年	ヌータヤルヴィ社/アラビア製陶社(フィン ランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
226	カイ・フランク	マデイラ・ワイン・グラス「サラ2179-006」	プロトタイプ1969年 制作1969-1971年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
227	カイ・フランク	ワイン・グラス「サラ2179-015」	プロトタイプ1969年 制作1969-1971年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
228	カイ・フランク	デザート・ボウル「サラ2179-034」	プロトタイプ1969年 制作1969-1971年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
229	カイ・フランク	皿・ボウル用リング	プロトタイプ1974年 制作1974年	ヌータヤルヴィ社(フィンランド)ガラス	フィンランド・デザイン・ミュージアム
230	カイ・フランク	タンブラー	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス
231	カイ・フランク	タンブラー	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス
232	カイ・フランク	タンブラー	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス
233	カイ・フランク	タンブラー	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス
234	カイ・フランク	タンブラー	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス
235	カイ・フランク	タンブラー	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス
236	カイ・フランク	タンブラーセット(専用パッケージ付き)	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス
237	カイ・フランク	タンブラーセット(専用パッケージ付き)	現行製品(プロトタイプ1955年)	イッタラ(フィスカースグループ、フィンランド)ガラス	スキャンデックス

マリメッコ

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
238	マイヤ・イソラ(生地)	生地「レップケルットウ」のスカート	デザイン1949年(生地)・ 1951年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
239	マイヤ・イソラ	生地「アッパルシーニ」	デザイン1950年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
240	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地サンプル帳「ピッコロ」	デザイン1953年(生地)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント、紙、印刷	フィンランド・デザイン・ミュージアム
241	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地サンプル帳「ピッコロ」	デザイン1953年(生地)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント、紙、印刷	フィンランド・デザイン・ミュージアム
242	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地サンプル帳「ピッコロ」	デザイン1953年(生地)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント、紙、印刷	フィンランド・デザイン・ミュージアム
243	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地サンプル帳「ピッコロ」	デザイン1953年(生地)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント、紙、印刷	フィンランド・デザイン・ミュージアム
244	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ピッコロ」のシャツ(ヨカボイカ)	デザイン1953年(生地)・ 1956年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
245	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ピッコロ」のシャツ・ドレス(ティッテリ)	デザイン1953年(生地)・ 1959年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
246	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ノッパ」のジャンプ・スーツ	デザイン1954年(生地)・ 1950年代(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
247	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「エラマンランカ」のドレス	デザイン1954年(生地)・ 1956年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
248	マイヤ・イソラ	生地「キヴェット」	デザイン1956年	マリメッコ社(フィンランド、現行製品)綿、プリント	個人蔵
249	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ガレリア」のシャツ(カールナバイタ)	デザイン1956年(生地)・ 1959年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
250	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ヘブスククー」	デザイン1957年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
251	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ナスティ」のドレス(ヘイルヘルマ)	デザイン1957年(生地)・ 1958年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
252	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ナスティ」のドレス(ヘイルヘルマ)	デザイン1957年(生地)・ 1958年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
253	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ビルプト・バラプト」のフード付きコート	デザイン1958年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
254	マイヤ・イソラ	生地「マンティ」	デザイン1959年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
255	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「プレニッカ」のドレス(ヌトゥカス)	デザイン1959年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
256	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「クールピーロ」のコート・ドレス(キラティエ)	デザイン1959年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
257	ヴオッコ・ヌルメスニエミ	生地「ナディア」のコート・ドレス(イロイネン・タッキ)	デザイン1959年(生地)・ 1960年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
258	オイヴァ・トイッカ(生地)、アンニカ・ リマラ(衣装)	生地「クークナ」のシャツ・ドレス(フィリッポボグナ)	デザイン1961年(生地)・ 1960年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
259	マイヤ・イソラ	生地「ヨーナス」	デザイン1961年	マリメッコ社(フィンランド、現行製品)綿、プリント	個人蔵
260	マイヤ・イソラ	生地「ロッキ」	デザイン1961年	マリメッコ社(フィンランド、現行製品)綿、プリント	個人蔵
261	アンニカ・リマラ	生地「マルナ」のドレス(タンシ)	デザイン1962年(生地)・ 1963年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
262	アンニカ・リマラ	生地「ベトローリ」のドレス(シルクス)	デザイン1963(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
263	アンニカ・リマラ	生地「ルルーク」のドレス(ソッケリ)	デザイン1963年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
264	アンニカ・リマラ	生地「ビルヴィ」のドレス(ヨクセリ)	デザイン1963年(生地)・ 1966年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
265	マイヤ・イソラ	生地「ウニッコ」	デザイン1964年	マリメッコ社(フィンランド、現行製品)綿、プリント	個人蔵
266	マイヤ・イソラ	生地「カイヴォ」	デザイン1964年	マリメッコ社(フィンランド、現行製品)綿、プリント	個人蔵
267	アンニカ・リマラ	生地「ブケッティ」のミニ・ドレス(クレーヴィ)	デザイン1964年(生地)・ 1967年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
268	アンニカ・リマラ	生地「クッカ」のドレス(カラヴァル)	デザイン1965年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
269	アンニカ・リマラ	生地「イン・ライネ」のドレス(ティエラ)	デザイン1965年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
270	アンニカ・リマラ	生地「ケイダス」のドレス(カシノ)	デザイン1967年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
271	アンニカ・リマラ	生地「クルーナ」のドレス(ヒッパ)	デザイン1967年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
272	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(ロングドレス)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
273	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(長袖Tシャツ)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
274	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(Tシャツ)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
275	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(Tシャツ)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
276	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(Tシャツ)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
277	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(パンツ)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
278	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(パンツ)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
279	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(靴下)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
280	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「タサライタ」シリーズ(靴下)	デザイン1967年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
281	脇坂克二	生地「ハナ」	デザイン1969年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
282	脇坂克二	生地「ハナ」	デザイン1969年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
283	ペンティ・リンタ(生地)、脇坂克二(衣装)	生地「ハッタラ」のチュニック(ハラッティ)	デザイン1970年(生地)・2011年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
284	脇坂克二(生地)、ノール・ニーニコスキ(衣装)	生地「カタラ」のドレス(オヴェラ)	デザイン1971年(生地)・2011年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
285	脇坂克二(生地)、ノール・ニーニコスキ(衣装)	生地「カタラ」のドレス(ユオニ)	デザイン1971年(生地)・2011年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
286	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「ハロ」シリーズ(Tシャツ)	デザイン1971年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
287	アンニカ・リマラ	ユニヴァーサル・クロージング「ハロ」シリーズ(ジャンプ・スーツ)	デザイン1971年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
288	ペンティ・リンタ	生地「ライック」のドレス(ミスティ)	デザイン1971年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
289	ペンティ・リンタ	生地「レイム」のドレス(クローケ)	デザイン1972年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
290	脇坂克二(生地)、リーサ・スヴァント(衣装)	生地「ティエット」の部屋着(コッペロ)	デザイン1974年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
291	ペンティ・リンタ	生地「ルースケ」のドレス(ライナ)	デザイン1974年(生地・衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
292	脇坂克二	生地「ブプー」	デザイン1974年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	個人蔵
293	脇坂克二	子どものための「ブプー」シリーズ 子ども用食器セット	デザイン1974年(生地)	マリメッコ社(フィンランド)現行製品 エナメル陶器	個人蔵
294	脇坂克二	子どものための「ブプー」シリーズ トレイ	デザイン1974年(生地)	マリメッコ社(フィンランド)現行製品 ブライトウッド	個人蔵
295	脇坂克二	子どものための「ブプー」シリーズ ビブセット	デザイン1974年(生地)	マリメッコ社(フィンランド)現行製品 綿、プリント、PVCコーティング	個人蔵
296	石本藤雄	生地「オラス」のフード付きドレス(ユルッタ)	デザイン1976年(生地)・1977年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
297	石本藤雄	生地「オラス」のドレス(ラッラス)	デザイン1976年(生地)・1977年(衣装)	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
298	石本藤雄	生地「ヤマ」	デザイン1977年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム
299	石本藤雄	生地「タイガ」	デザイン1978年	マリメッコ社(フィンランド)綿、プリント	フィンランド・デザイン・ミュージアム

アルヴァ・アアルト

No	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
300	アルヴァ・アアルト	ムーラメ教会の椅子(オリジナル)	プロトタイプ1928年 制作1929年	ムラーメ家具工場(フィンランド)鍛鉄、革	ユヴァスキラ中央フィンランド博物館(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
301	アルヴァ・アアルト	スタッキング・チェア No.11(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1929年 制作1932年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)カバ(ニス塗装)	ユヴァスキラ中央フィンランド博物館(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
302	アルヴァ・アアルト	チェア No.23(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1929-1932年 制作1932年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)マホガニー(ニス塗装)、金属パイプ(ペンキ塗装)	ユヴァスキラ中央フィンランド博物館(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
303	アルヴァ・アアルト	アームチェア No.26(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1929-1932年 制作1932年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)マホガニー(ニス塗装)、金属パイプ(ペンキ塗装)	ユヴァスキラ中央フィンランド博物館(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
304	アルヴァ・アアルト	アームチェア「バイミオ」(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1932年 制作1932年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形プラスチック板(ニス塗装：肘掛・脚)、成形カバ積層合板(ペンキ塗装：背・座)	アルヴァ・アアルト美術館
305	アルヴァ・アアルト	アーム・チェアNo.31 / カンティレヴァー・アームチェア	プロトタイプ1932年 制作1950年代	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形プラスチック板(ニス塗装：肘掛・脚)、成形斑目カバ材(ニス塗装：背・座)	アルテック社(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
306	アルヴァ・アアルト	バイミオ・サナトリウムのスツール(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1932年 制作1932年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)カバ(ニス塗装)、金属パイプ	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
307	アルヴァ・アアルト	アーム・チェアNo.34 / カンティレヴァー・アームチェア(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1933年 制作1933年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形プラスチック板(ニス塗装：肘掛・脚)、クロス厚張り(クッション材入り：背・座)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
308	アルヴァ・アアルト	アーム・チェアNo.401 / カンティレヴァー・アームチェア	プロトタイプ1933年 制作1970年代初頭	コルホネン家具製造社(フィンランド)鋳造成形プラスチック板(ニス塗装：肘掛・脚)、クロス厚張り(クッション材入り：背・座)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
309	アルヴァ・アアルト	スツールNo.60 / L型脚のスツール	プロトタイプ1933年 制作1960年代末	コルホネン家具製造社(フィンランド)鋳造成形プラスチック板(ニス塗装：脚)、成形斑目カバ材(ニス塗装：座)	アルテック社(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
310	アルヴァ・アアルト	バイミオ・サナトリウムの壁付照明(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1933年 制作1933年	タイト社(フィンランド)スチール(塗装仕上げ)、金属(無塗装)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
311	アルヴァ・アアルト	バイミオ・サナトリウムの壁付照明(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1933年 制作1933年	タイト社(フィンランド)金属、半透明ガラス	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
312	アルヴァ・アアルト	バイミオ・サナトリウムのテーブル/枕元用照明(バイミオ・サナトリウム旧蔵)	プロトタイプ1933年 制作1933年	タイト社(フィンランド)金属(塗装・無塗装)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
313	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ「黄金の鐘」	プロトタイプ1937年 制作1950年代頃	ルイス・ポールセン社(デンマーク)真鍮	アルヴァ・アアルト美術館
314	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ「黄金の鐘」第2版 No.A 330	プロトタイプ1950-1953年 制作1970年	ルイス・ポールセン社(デンマーク)真鍮	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
315	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ「手榴弾」No.A 110	プロトタイプ1951-1952年 制作1970年代	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)真鍮(焼付塗装仕上げ/無塗装)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
316	アルヴァ・アアルト	シーリング・ライト No.A 624	プロトタイプ1955年 制作1970年代	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)アルミニウム(焼付塗装仕上げ)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
317	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ No.A 335	プロトタイプ1955年 制作1970年代初頭	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)アルミニウム(焼付塗装仕上げ)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
318	アルヴァ・アアルト	フロア・ランプ「天使の翼」No.A 805	プロトタイプ1956年 制作1970年代	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)スチール(焼付塗装仕上げ/無垢)、革	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
319	アルヴァ・アアルト	デスク・ランプ「シニョン」No.A 704	プロトタイプ1957年 制作1970年代	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)真鍮、真鍮(焼付塗装仕上げ)、革	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
320	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ「コケモモ」No.A 338	プロトタイプ1958年 制作1970年代	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)アルミニウム(焼付塗装仕上げ)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
321	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ No.A 111	プロトタイプ1961年 制作1970年代	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)金属(焼付塗装仕上げ)	ユヴァスキラ市(アルヴァ・アアルト美術館寄託)
322	アルヴァ・アアルト	木エレリーフ	プロトタイプ1930年代 制作1930年代	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形カバ積層合板(ニス塗装:レリーフ、カバ(ベース))	アルヴァ・アアルト美術館
323	アルヴァ・アアルト	木エレリーフ	プロトタイプ1933年 制作1933年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形カバ積層合板(ニス塗装:レリーフ、カバ(ベース))	アルヴァ・アアルト美術館
324	アルヴァ・アアルト	木エレリーフ	プロトタイプ1933年 制作1970年代	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形カバ積層合板(ニス塗装:レリーフ、カバ(ベース))	アルヴァ・アアルト美術館
325	アルヴァ・アアルト	木エレリーフ	プロトタイプ1930年代 制作1930年代	コルホネン家具製造社(フィンランド)鋳造成形カバ積層合板(ニス塗装:レリーフ、カバ(ベース))	アルヴァ・アアルト美術館
326	アルヴァ・アアルト	木エレリーフ	プロトタイプ1936年 制作1970年代	コルホネン家具製造社(フィンランド)鋳造成形カバ積層合板(ニス塗装:レリーフ、カバ(ベース))	アルヴァ・アアルト美術館
327	アルヴァ・アアルト	木エレリーフ	プロトタイプ1947年 制作1947年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形カバ積層合板(ニス塗装:レリーフ、カバ(ベース))	アルヴァ・アアルト美術館
328	アルヴァ・アアルト	木エレリーフ	プロトタイプ1954年 制作1954年	トゥルク家具・建築設備製造社(フィンランド)鋳造成形カバ積層合板(ニス塗装:レリーフ、カバ(ベース))	アルヴァ・アアルト美術館
329	アルヴァ・アアルト	ドア・ハンドル	プロトタイプ1950年代 制作1961年頃	ヴァイリヨ・ヒルヴォネン照明器具製造会社(フィンランド)ブロンズ	アルヴァ・アアルト美術館
330	アルヴァ・アアルト	チェア No.611	現行製品 (プロトタイプ1929年)	アルテック社(フィンランド)カバ(ニス塗装)	個人蔵
331	アルヴァ・アアルト	アームチェア No.41「バイミオ」	現行製品 (プロトタイプ1932年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ニス塗装:肘掛・脚)、曲木成形カバ合板(着色ニス塗装:背・座)	個人蔵
332	アルヴァ・アアルト	アームチェア No.42	現行製品 (プロトタイプ1932年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ニス塗装:肘掛・脚)、曲木成形カバ合板(着色ニス塗装:背・座)	個人蔵
333	アルヴァ・アアルト	アームチェア No.402	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ニス塗装:肘掛・脚)、クロス厚張り(スプリング、ポリウレタン及びポリエステル製クッション材入り:背・座)	個人蔵
334	アルヴァ・アアルト	アームチェア No.401	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ニス塗装:肘掛・脚)、ウール・クロス厚張り(スプリング、ポリウレタン及びポリエステル製クッション材入り:背・座)	個人蔵
335	アルヴァ・アアルト	スツール No.60	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ニス塗装:脚)	個人蔵
336	アルヴァ・アアルト	スツール No.60	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ベッキ塗装:脚)	個人蔵
337	アルヴァ・アアルト	スツール No.60	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)カバ材(ニス塗装:座)	個人蔵
338	アルヴァ・アアルト	スツール No.60	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)カバ材(ラミネート貼:座)	個人蔵
339	アルヴァ・アアルト	スツール No.60	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)カバ材(リノリウム貼:座)	個人蔵
340	アルヴァ・アアルト	スツール No.60	現行製品 (プロトタイプ1933年)	アルテック社(フィンランド)カバ材(ベッキ塗装:座)	個人蔵
341	アルヴァ・アアルト	スツール No.Y61	現行製品 (プロトタイプ1947年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ニス塗装:脚)、麻布(クロス編み:座)	個人蔵
342	アルヴァ・アアルト	スツール No.X600	現行製品 (プロトタイプ1954年)	アルテック社(フィンランド)成形カバ積層合板(ニス塗装:脚・座)、革(座)	個人蔵
343	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ No.A330S	現行製品 (プロトタイプ1939年)	アルテック社(フィンランド)スチール(真鍮メッキ)、プラスチック製ケーブル	個人蔵
344	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ No.A110	現行製品 (プロトタイプ1952年)	アルテック社(フィンランド)アルミニウム(塗装仕上げ)、真鍮、プラスチック製ケーブル	個人蔵

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
345	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ No.A330	現行製品 (プロトタイプ1954年)	アルテック社(フィンランド)真鍮(研磨仕上げ)、プラスチック製ケーブル	個人蔵
346	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ No.A338	現行製品 (プロトタイプ1958年)	アルテック社(フィンランド)スチール(塗装仕上げ)、プラスチック製ケーブル	個人蔵
347	アルヴァ・アアルト	ペンダント・ランプ No.A440	現行製品 (プロトタイプ1959年)	アルテック社(フィンランド)腐食オーバー・ガラス、プラスチック製ケーブル	個人蔵
348	アルヴァ・アアルト	フロア・ランプ No.A805	現行製品 (プロトタイプ1956年)	アルテック社(フィンランド)スチール(塗装仕上げ:傘)、真鍮(研磨仕上げ:支柱)、革(ベース及びスタンドのカバー)、プラスチック製ケーブル	個人蔵
349	アルヴァ・アアルト+アルテック社	ペンダント・ランプ A338	現行製品 (プロトタイプ1939年)	アルテック社(フィンランド)スチール(真鍮メッキ)、プラスチック製ケーブル	個人蔵

③フィンランドデザインの《今》が示すこと—森とともにある都市

No.	作家名	作品名	制作年	材質・技法	所蔵先
350	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
351	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
352	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
353	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
354	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
355	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
356	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
357	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
358	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
359	アルヴァ・アアルト+アルテック社	2nd Cycleプロジェクトで収集した椅子	2007年以降	アルテック社(フィンランド)	アルテック社
360	アアルト大学建築学部木工コース	Luukku House 1/50木製模型	2012年	木	アアルト大学 建築学部 木工コース
361	カリ・ピーポ(切手デザイン)	シート切手「フィンランド・デザイン」(カイ・フランクほか)	1998年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
362	ヤーナ・アアルトマー(切手デザイン)	シート切手「モダン・フィンランド・デザイン」(オラヴィ・リンデンほか)	1999年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
363	イオナ・イロツウ+ベトリ・サルメラ+エーヴァ・シヴラ(切手デザイン)	シート切手「フィンランド・デザイン:クラシック編」(アクセル・ガレン=カレラほか)	2000年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
364	タバニ・アアルトマー(切手デザイン)	コイル切手「ヴァイトレスク」:ファースト・クラス	2005年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
365	タバニ・アアルトマー(切手デザイン)	コイル切手「ヴァイトレスク」:セカンド・クラス	2005年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
366	サンナ・タスキネン(切手デザイン)	ミニチュア・シート切手「カイ・フランク生誕100年」	2011年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
367	ベンティ・ラヒカイネン(切手デザイン)	二連切手「ピエリスヤルヴィ湖畔の秋景色」	1993年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
368	ベンティ・ラヒカイネン(切手デザイン)	ミニチュア・シート切手「アイノ神話」	不詳	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
369	ヘッカ・ピーポ(切手デザイン)	ミニチュア・シート切手「『大カレワラ』のためのデザイン原画より」	2004年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
370	タバニ・アアルトマー(切手デザイン)	コイル切手(「マドンナ」ほか):ファースト・クラス	2006年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
371	タバニ・アアルトマー(切手デザイン)	コイル切手(ポスター「ビル=ボル」ほか):セカンド・クラス	2006年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
372	タバニ・アアルトマー(切手デザイン)	コイル切手「ジャン・シベリウス」:ファースト・クラス	2004年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
373	タバニ・アアルトマー(切手デザイン)	コイル切手「ジャン・シベリウス」:セカンド・クラス	2004年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
374	ビルッコ・ヴァハテロ(切手デザイン)	シート切手「ムーミン挿絵原画」(書籍「ムーミン谷の冬」ほか)	1992年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
375	ビルッコ・ヴァハテロ(切手デザイン)	シート切手「ムーミン挿絵原画」(書籍「ムーミン谷の冬」ほか)	1998年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
376	ビルッコ・ヴァハテロ(切手デザイン)	シート切手「ムーミン挿絵原画」(書籍「ムーミン谷の冬」ほか)	1998年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
377	ビルッコ・ヴァハテロ(切手デザイン)	シート切手「ムーミン挿絵原画」(書籍「ムーミン谷の夏まつり」)	2000年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
378	トゥーリッキ・ピエティラ+ビルッコ・ヴァハテロ(切手デザイン)	シート切手「ムーミン挿絵原画」(書籍「ムーミン谷の冬」)	2003年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
379	バイヴィ・ヴァイニオンパー(切手デザイン)	切手「ムーミンとスナフキン」	2004年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
380	アリ・ラカニエミ+スザンナ・ルンブ(切手デザイン)	シート切手「ムーミン挿絵原画」(書籍「ムーミン谷の夏まつり」ほか)	2007年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
381	バイヴィ・ヴァイニオンパー(切手デザイン)	シート切手「ムーミン漫画」	2009年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
382	サトゥ・ルサ(切手デザイン)	シート切手「ムーミン、ミムラ姉さん、ミィ」	2011年	印刷、紙	フィンランド郵便博物館
383	ペア・ヨセフソン	マグカップ HEL2012	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
384	ペア・ヨセフソン	エスプレッソ・カップ&ソーサー HEL2012	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
385	ペア・ヨセフソン	皿 HEL2012	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
386	ペア・ヨセフソン	ボウル HEL2012	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
387	ミーラ・ズカレ	ホームタウン・マグカップ「公園」	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
388	ミーラ・ズカレ	ホームタウン・マグカップ「海」	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
389	ミーラ・ズカレ	ホームタウン・マグカップ「街角」	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
390	ミーラ・ズカレ	ホームタウン・マグカップ「ダウンタウン」	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
391	トーヴェ・ヤンソン	ムーミン・マグカップ「フレ-」	現行製品2012年-	イッタラ(フィスカスグループ、フィンランド)陶	スキャンデックス
392	小坂憲正	森の家	2012年	木	個人蔵

## 2-4 ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待

会期：10月27日(土) - 12月16日(日)

**概要：**フランス北東部アルザス地方の中心都市ストラスブールは、ドイツとフランスの影響を受け、独自の文化を育んできた。本展覧会では、ストラスブール美術館のコレクションを中心とした約60作家80点の作品により、19世紀から現代に至るヨーロッパモダンアートの流れを、アルザスの近現代美術とともにたどった。ロセッティ、シスレー、ゴーギャン、シニャック、ドニ、ヴラマンク、アルプ、マグリット、エルンスト、レジェ、ピカソ、ピカビア、マッタ等、時代を代表するモダンアートの巨匠たちの作品が展示された。

**巡回先：**福井県立美術館、茨城県近代美術館、横須賀美術館、愛媛県美術館

**主催：**静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、テレビ静岡

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、フランス大使館、静岡日仏協会、中日新聞東海本社、静岡リビング新聞社、K-mix

**協賛：**損保ジャパン

**協力：**エールフランス航空

**企画協力：**ホワイトインターナショナル

**観覧料：**一般 1,000円(800円)  
大高生・70歳以上 700円(500円)  
※( )内は前売および当日に限り20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

**観覧者数：**12,016人(有料8,299人、無料3,717人、有料率69.06%)

**出品点数：**82点

**印刷物：**

1)チラシ

＜仕様＞紙：シナールDGマットコート 90kg  
サイズ・数量：A4 75,000部

2)ポスター

＜仕様＞紙：シナールDGマットコート 135kg  
サイズ・数量：B1 100部、B3 3,000部



チラシ表



チラシ裏



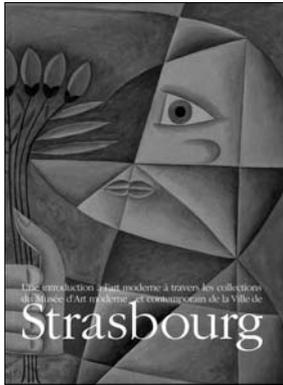
B1ポスター



B3ポスター

## カタログ：

〈仕様〉B5判変形(260×190mm)、191頁、カバー付



カタログ

カラー図版102点

ジョエル・ピジョディエ=カボ「ストラスブール美術館のモダンアート・コレクションへのご招待」

芹川貞夫「ストラスブール美術館展に寄せて」

エロイズ・コネサ「象徴主義」「印象主義からフォーヴィスムへ」「抽象からシュルレアリスムへ」

フランク・クノリー「キュビズムとエコール・ド・パリ」「両大戦間期の写実主義」

エステル・ピエトルジック「1960年代以降、コンテンポラリー・アート」

作家解説/出品リスト

編集：福井県立美術館、茨城県近代美術館、横須賀美術館、愛媛県美術館、静岡市美術館

発行：ホワイトインターナショナル

発行年：2012年

## 各種連携：

### 1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

印刷物：

チラシ

〈仕様〉紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

## 主要広報記録：

### 1)テレビ・ラジオ

・「ストラスブール美術館展 内覧会」テレビ静岡『県内ニュース』、10月27日放送。

・「展覧会紹介：静岡市文化振興財団インフォメーション」FM-Hi!『ひるラジ！静岡情報館』、10月30日、11月13日放送。

・「展覧会紹介」テレビ静岡『まめサタ』、11月24日放送。

・「展覧会紹介」FMしみず『マリパルほっとライン』、11月29日放送。

### 2)新聞

・「欧州の絵画 名作82点 葵区でストラスブール美術館展開幕」『中日新聞』静岡版、10月29日。

・田辺信宏「窓辺 まちみがきの聖地ストラスブール」『静岡新聞』(夕刊)、11月22日。

### 3)雑誌他

・「約60作家80点の作品！ 巨匠たちが彩るモダンアートの世界 ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待」『Hot pepper』、10月号。

・「展覧会紹介」『ポトス』尾張旭・瀬戸版、No.193。

・「モダンアートの巨匠たちの競演 ストラスブール美術館展が静岡に」『月刊美術』、11月号。

・「展覧会紹介」『ふらんす』、11月号。

・「展覧会紹介」『ギャラリー』、11月号。

・「展覧会紹介」『news』、12月号。

### 4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「Japan Design Net」、「artscape」、「Riviera株式会社」ウェブサイト、「静岡市ウェブサイト」



関連事業：

1)コンサート「美術と音楽の幸せな出会い」

概要：ストラスブール近郊在住のピアニスト、パトリス・パニー氏のコンサート。静岡日仏協会の協力を得て開催した。背景に展覧会出品作を投影しながら演奏するなど、美術館ならではの演出を実施した。

日時：11月18日(日)13:30開場 14:00開演

出演：パトリス・パニー (ピアニスト)

会場：多目的室 参加者数：111人

曲目：

ドメニコ・スカルラッティ《ソナタ ト長調》

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン《ソナタ ホ長調》

リリ・プーランジェ《ピアノのための3つの作品》

クロード・ドビュッシー《前奏曲集》より「帆」「パルクの踊り」「オンディーヌ(水の精)」「花火」

アルベルト・ヒナステラ《組曲「クレオール」の舞曲》

主要広報記録：

テレビ・ラジオ等

・「コンサート「美術と音楽の幸せな出会い」」テレビ静岡『スーパーニュース』、11月18日放送。



2)講演会「モダンアートの魅力」

概要：西洋近代美術を専門とする立入正之氏を講師に、19世紀後半～現代までのモダンアートについて、その発展の様子を特にフランスを中心に探った。また、ストラスブールの街の歴史や、現在の様子などについても紹介したほか、「モダンアート」の言葉の持つ意味についても検討した。

日時：11月23日(金・祝)14:00-

講師：立入正之氏(静岡文化芸術大学准教授)

会場：多目的室 参加者数：64人



3)ギャラリートーク

概要：当館学芸員によるギャラリートークを会期中計4回実施した。

日時：11月3日(土・祝)、17(土)、12月1日(土)、15日(土)  
いずれも14:00-

会場：展示室 参加者数：計101人

参加料：展覧会観覧料



## 出品作品リスト

※本リストの番号はカタログ番号であり、欠番は静岡会場未出品である。出品点数 82点。  
※各展覧会の表記に従った。

### I. 象徴主義 Le symbolisme

No.	作者名	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
1	ダンテ・ガブリエル・ロッセティ	解放の剣にキスをするジャンヌ・ダルク	1863	油彩・カンヴァス	61.2×53.2
2	ポール・ゴーギャン	ドラクロワのエスキースのある静物	1887頃	油彩・カンヴァス	40×30
3	ウジェーヌ・カリエール	ガブリエル・セアイユと娘の肖像	1893	油彩・カンヴァス	114×89.5
4	ウジェーヌ・カリエール	マルグリット・カリエールの肖像	1898	油彩・カンヴァス	41.5×33
6	ウジェーヌ・カリエール	アンリ・ロシュフォール	1896	リトグラフ・紙	50.6×40.2
8	アリストイド・マイヨール	パニユルスにあるトゥルーレ家の農家(地中海風景)	1895頃	油彩・板	21.4×32.4
10	エミール・オルリック	フェルディナント・ホードラー	1904	木板・和紙	39×27.5
11	モーリス・ドニ	室内の光	1914頃	油彩・カンヴァス	98×125
13	モーリス・ドニ	海辺の母子像	1900	カラーリトグラフ・紙	35.5×27.8
14	エルノスト・ランカー	母親の死	1912	油彩・カンヴァス	151×231

### II. 印象主義からフォービスムへ De l'impressionnisme au fauvisme

No.	作者名	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
15	アルフレッド・シスレー	家のある風景	1873	油彩・カンヴァス	45.7×61.2
16	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	ピン留めの帽子	1898	リトグラフ・紙	88.5×60.5
17	ピエール＝オーギュスト・ルノワール	母子像	1912	リトグラフ・紙	65.7×50.5
18	ロタール・フォン・ゼーバツハ	リラの花束	1894	油彩・カンヴァス	136.5×107
19	ロタール・フォン・ゼーバツハ	エルサ・クーベルレの肖像	1898頃	油彩・カンヴァス	40.5×48
20	ロタール・フォン・ゼーバツハ	ウジェニー・ランドルトの肖像	1905	油彩・カンヴァス	81×65
21	ロタール・フォン・ゼーバツハ	座る女性の肖像	1920	油彩・カンヴァス	65×81
23	アンリ・マルタン	古い家並み	1910	油彩・カンヴァス	67×82
24	アンリ・マルタン	雪化粧のハブリ	1910頃	油彩・カンヴァス	78×98
25	ジャック＝エミール・ブランシュ	ランヴェイユ夫人の肖像	1912	油彩・カンヴァス	137×101
26	ジャック＝エミール・ブランシュ	静物(リラの花束)	1920以前	油彩・カンヴァス	106×83.5
28	ポール・シニャック	アンティープ、夕暮れ	1914	油彩・カンヴァス	73×92
29	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	マルセル・ランデル嬢の胸像	1895	8色リトグラフ・紙	58.5×42
30	ピエール・ボナール	テーブルの上の果物鉢	1934頃	油彩・カンヴァス	41×65.5
32	モーリス・ド・ヴラマンク	都市の風景	1909	油彩・カンヴァス	46.3×36.4
33	モーリス・マリノ	男性の肖像	1906	油彩・カンヴァス	41×33
34	モーリス・マリノ	庭の女性	1907	油彩・カンヴァス	41×33
35	フレデリク・フィエビグ	プラタナス	1908-1911	油彩・合板	55×39

### III. キュビズムとエコール・ド・パリ Autour du cubisme et l'école de Paris

No.	作者名	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
36	アンドレ・ボーション	風景の中のカップル	1927	油彩・カンヴァス	22.5×27.3
37	フェルナン・レジェ	青と赤の静物	1938	油彩・カンヴァス	73×92
38	フェルナン・レジェ	アコーディオンを弾く子どもと家族	1950/1951	シルクスクリーン・紙	56×38
39	パブロ・ピカソ	座る女性の胸像	1960	油彩・カンヴァス	97.8×79.8
40	パブロ・ピカソ	編み物をする女とそれを見る人	1970	油彩・カンヴァス	195×130
42	ジョルジュ・ブラック	静物	1911	油彩・カンヴァス	33×41
43	マリー・ローランサン	マリー・ドルモワの肖像	1949	油彩・カンヴァス	35×26.8
45	マリー・ローランサン	ブービー、帽子の若い女性	1956	カラーリトグラフ・紙	52×37.1
47	ファン・グリス	静物	1922	グワッシュ・ステンシル・紙	25×32.8
49	マルク・シャガール	おんどり	1950頃	グワッシュ・紙	48.2×38
51	ジャン・リュルサ	静物	1922	グワッシュ・紙	36×59
52	マルセル・カーン	ギターと扇子	1926	油彩・カンヴァス	50×66
53	マルセル・カーン	女とヨット	1926-27頃	油彩・カンヴァス	66×50
54	セザール・ドメラ	本のある静物no.2	1923	油彩・カンヴァス	59×57
56	アンリ・ヌーヴォー	エスキース(昼と夜)	1947	油彩・紙	30×43.3

## IV. 両大戦間期の写実主義 Réalismes de l'entre-deux-guerres

No.	作者名	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
57	フェリックス・ヴァロトン	水辺で眠る裸婦	1921	油彩・カンヴァス	122.5×192.5
58	ギュスターヴ・ストスコブ	オーベルゼーバッハの衣装を着た マルタン・ズイリオックス	1943	油彩・板	80×59
59	アンリ・ベッケ	A嬢の肖像	1931	油彩・カンヴァス	148.5×108.5
60	モーリス・マリノ	平鯛	1930	油彩・カンヴァス	38×55
61	オーギュスト・エルバン	エルバン夫人の肖像	1922	油彩・カンヴァス	92×73
63	リュク・ヒュベール	室内	1913	油彩・カンヴァス	62.8×68.5
64	リュク・ヒュベール	裸体	1926頃	油彩・カンヴァス	76×56
65	ジャン・リュルサ	バルコニー	1919	油彩・カンヴァス	55×46
66	マルタン・ユブレシュト	デルニエール・ヌーヴェル・ダルザス紙の社長 エミール・アンリの肖像	1927頃	油彩・カンヴァス	81×65
67	リザ・クリューゲル	サボテンのある静物	1927	油彩・カンヴァス	65×54
68	ジャン・ブーニー	アトリエ	1948	油彩・厚紙	21.6×24
69	ロベール・エイツ	自画像	1928	油彩・カンヴァス	65×54
70	ジャン・エリオン	夢想家	1945	油彩・カンヴァス	89×107

## V. 抽象からシュルレアリスムへ De l'art abstrait au surréalisme

No.	作者名	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
72	ヴァシリー・カンディンスキー	コンポジション	1924	グワッシュ・紙	22×18
73	フランシス・ピカビア	女性の肖像/不思議な手	1938-42頃	油彩・板(表・裏共)	65×54
74	ジャン・アルブ	ダンサー	1926-55	油彩・カンヴァス	148×110
76	ジャン・アルブ	『20世紀美術の大冒険』展のポスター原画	1963	デッサン・カラージュ・ 鉛筆・紙	30.1×30.1
77	ヴィリー・パウマイスター	黒と青の竜	制作年不明	油彩・硬質繊維板	81×100
78	マックス・エルンスト	二人の若い裸婦	1926	油彩・カンヴァス	83.5×62.5
79	マックス・エルンスト	視野の内部	1929	油彩・カンヴァス	100×81
80	アンドレ・マッソン	魚に攻撃される馬	1932	油彩・カンヴァス	81×116
81	アンドレ・マッソン	スザンヌと老人	1966	エッチング・カラーアクア チント・紙	28×20.4
82	ルネ・マグリット	旅の思い出	1926	油彩・カンヴァス	75×65
83	ヴィクトール・ブラウナー	取るに足らない騎手	1951	油彩・カンヴァス	65×81
84	ヴィクトール・ブラウナー	静物	1952	油彩・カンヴァス	54×65
85	ヴィクトール・ブラウナー	求婚者	1955	油彩・カンヴァス	55×46
86	ヴィクトール・ブラウナー	現実の内側	1963	油彩・カンヴァス	54×65
87	ヴィクトール・ブラウナー	沈黙への入門	1959	グワッシュ・油彩・紙	65.5×50×0.5
89	ロベルト・マッタ	コンポジション	1970頃	油彩・カンヴァス	135×135
90	カミーユ・クラウス	扉の前に座る男	1957	油彩・カンヴァス	23.8×18.8

## VI. 1960年代以降、コンテンポラリー・アート L'art après 1960

No.	作者名	作品名	制作年	素材	サイズ(cm)
91	ベルナルド・デュフォー	1967年、マルティニス、ベルナルド	1967	油彩・カンヴァス	146×114
93	ベルナルド・デュフォー	無題	2005	クルミ染料・淡彩	29.3×44
94	ジェラルド・ガジョロフスキー	宿命或いは家族の絆、もうひとりのマルゴ	1972	アクリル・カンヴァス	80×80.5
95	ジェラルド・シュロッセル	それは彼	1978	アクリル・砂・カンヴァス	150×150
96	ジャン＝ミシェル・サネジューアン	空間—絵画	1978	アクリル・ビニール・カン ヴァス	88.5×115.7
97	コンラド・クラフベック	厨房	1997	アクリル・カンヴァス	135.5×122
98	エド・バシュキ	商業主義的	1980	油彩・カンヴァス	107×122.5
99	A.R.ペンク	システムビルド	1967	油彩・カンヴァス	149×145
101	トマ・ユベール	海綿	1987	鉛筆・水彩・紙	64.5×44.5

※No.37・39はウンターリンデン美術館(コルマル)、No.40は香川県立ミュージアム所蔵、その他は全てストラズブル美術館所蔵。

## 2-5 滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展

会期：1月2日(水)～2月11日(月・祝)  
 (前期：1月2日(水)～1月20日(日)  
 後期：1月22日(火)～2月11日(月・祝))

**概要：**霊峰・比叡山や琵琶湖で知られる近江国(滋賀県)は、平安の昔から日本における仏教文化の中心地であった。江戸時代には多くの絵師が訪れ、その美しい景色を描いている。

本展では、近江で最初の公立博物館であり、優れた仏教美術と近世絵画を中心とした館藏品・寄託品を有する滋賀県立琵琶湖文化館が今なお守り伝える選りすぐりの優品を紹介した。

**巡回先：**仙台市博物館、鳥根県立古代出雲歴史博物館

**主催：**静岡市、静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、滋賀県、滋賀県立琵琶湖文化館、毎日新聞社

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、朝日新聞静岡総局、産経新聞社静岡支局、静岡朝日テレビ、静岡新聞社・静岡放送、静岡第一テレビ、中日新聞東海本社、テレビ静岡、日本経済新聞社静岡支局、読売新聞静岡支局

**協賛：**野崎印刷紙業株式会社

**観覧料：**一般 1,000円(800円)  
 大高生・70歳以上 700円(500円)  
 ※( )内は前売および当日に限り20名以上の団体料金  
 ※中学生以下無料  
 ※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料  
 ※リピーター割引…半券の展示で当日料金より200円引き

**観覧者数：**11,256人(有料7,982人、無料3,274人、有料率70.91%)

**出品点数：**76点

**印刷物：**

1)チラシ

<仕様>紙：B7トラネクスト 90kg

サイズ・加工・数量：A4 60,000部

2)ポスター

<仕様>紙：(B1)マットコート 135kg

(B2・B3)B7トラネクスト 115kg

サイズ・数量：B1 100部、B2 2,000部、B3 1,000部



チラシ表



チラシ裏



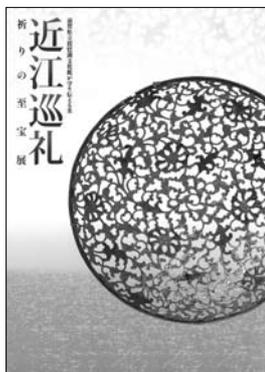
B1・B2ポスター



B3ポスター

## カタログ：

<仕様>A4判(297×210mm)、180頁



カタログ

カラー図版146点

参考図版 (カラー16点、モノクロ10点)

井上ひろ美「滋賀県立琵琶湖文化館の五十年－活動のきざし」  
井上ひろ美「琵琶湖文化館収蔵品にみる近江の仏教美術・神道美術」

上野良信「琵琶湖文化館の近世絵画」

作品解説/出品目録/出品寺社所在地図

編集・発行：滋賀県立琵琶湖文化館・毎日新聞社

発行年：2013年

## 各種連携：

### 1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

### 印刷物：

#### チラシ

<仕様>紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

### 2)大学との連携

静岡大学地域連携プログラムの一環として、同大学書文化専攻と連携し、本展の内容に絡めた内容で書き初め大会を実施した。詳細は63頁を参照。

## 主要広報記録：

### 1)テレビ・ラジオ

- ・「展覧会紹介」静岡朝日テレビ『情報ザウルス』、10月27日放送。
- ・「展覧会特別観賞会のお知らせ」トーカイコミュニティチャンネル『TCNワイド』、1月14日～18日放送。
- ・「展覧会紹介」NHKEテレ『日曜美術館 アートシーン』、1月27日放送。

### 2)新聞

- ・柴崎達矢「滋賀の至宝 静岡へ 琵琶湖文化館 荷造り開始」『毎日新聞』滋賀版、12月18日。
- ・「近江の名品 静岡市に集結 来月2日から「祈りの至宝展」」『産経新聞』静岡版、12月24日。
- ・宮澤勲「『近江巡礼』至宝展in静岡 開催準備整う」『毎日新聞』静岡版、12月31日。
- ・田辺信宏、田中豊稲「仏さまに初詣！ 近江巡礼 祈りの至宝展」『毎日新聞』静岡版、1月3日。
- ・三枝泰一「湖国 仏の優しいまなざし 近江巡礼 祈りの至宝展 多様で重層な宗教芸術」『毎日新聞』、1月4日。
- ・小玉沙織「『近江巡礼』至宝展in静岡 静岡市美術館で開幕式 初の国宝展示 田辺市長「信頼度、高まった」」『毎日新聞』静岡版、1月5日。
- ・吉田恵理「『近江巡礼』至宝展in静岡 銅板に躍動感ある唐草文」『毎日新聞』静岡版、1月8日。
- ・吉田恵理「『近江巡礼』至宝展in静岡 湖中出现の薬師と山越しの観音」『毎日新聞』静岡版、1月9日。
- ・吉田恵理「『近江巡礼』至宝展in静岡 あの世の情景、憧れの風景」『毎日新聞』静岡版、1月10日。
- ・「美術散歩 近江・祈りの至宝展 静岡市美術館」『富士ニュース』、1月10日。
- ・宮川まどか「美術評 近江巡礼 祈りの至宝展 鑑賞者を絵に誘う」『中日新聞』静岡版、1月29日。

### 3)雑誌他

- ・「今月の展覧会」『月刊水墨画』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『ひととき』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊美術』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『gosai』、vol.60。
- ・「展覧会紹介」『ギャラリー』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『COA』、1月号。
- ・「展覧会紹介」『美術の窓』、2月号。

### 4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「日本博物館協会」、「歴史人ウェブサイト」、「artscape」、「静岡市ウェブサイト」

### 5)その他

- ・井上ひろ美「静岡市美術館における巡回展「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展」の開催とその成果」『滋賀県立琵琶湖文化館研究紀要』第29号、18～23頁、2013年3月28日。
- ・「絵具を知って古美術から探す－静岡の科学館と美術館が連携」『Science window』2013年春号/第7巻1号、18～19頁、2013年4月。

関連事業：

1)写真パネル展「水と神と仏の近江」

概要：近江巡礼展開催にあわせ、近江の神と仏に関する文化財、および社寺の景観と、それを育んできた風土や人々の暮らしなどの写真パネルの展示。琵琶湖を中心とした滋賀独自の文化風土と奥深い魅力を紹介した。

会期：12月23日(日)～2月11日(月・祝)

会場・開場時間：

葵タワーエントランスホール 7:00～23:00

多目的室：10:00～19:00

展示作品：《軍荼利明王立像》金勝寺・栗東市/《四天王立像》1・2

延暦寺・大津市/《十二神将像》(子神像・亥神像)西明寺・甲良町/《男神立像》春日神社・長浜市/《女神坐像》金勝寺・栗東市/《女神像》建部大社・大津市/《普賢菩薩坐像》常信寺・大津市/《文殊菩薩坐像》常信寺・大津市/《十一面観音立像》向源寺・長浜市/《吉祥天立像》樺野寺・甲賀市/《聖観音立像》来現寺・長浜市/《聖観音立像》来迎寺・野洲市/《十一面観音立像》盛安寺・大津市/《馬頭観音立像》徳圓寺・長浜市/《帝釈天立像》善水寺・湖南市/《梵天立像》善水寺・湖南市/《虚空蔵菩薩半跏像》金勝寺・栗東市/《聖観音菩薩坐像》満月寺・大津市/《長命寺のあじさい》近江八幡市/《西教寺の桜》大津市/《三井寺の金堂》大津市/《延暦寺の根本中堂》大津市/《雪景色の棚田》大津市/《湖西の古い町並》高島市/《琵琶湖の花筏》高島市/《菜の花と比叡山》草津市/《琵琶湖疎水の桜並木》大津市/《鍾乳洞から湧き出る流水》多賀町/《寺院へと続く道》栗東市/《ハマヒルガオの咲く浜辺》近江八幡市/《琵琶湖の彼岸花》長浜市/《月光の白鬚浜》高島市/《夜明け前の伊吹山》米原市/《回峰行》東近江市/《かなぼう》米原市/《水の路》高島市/《湖風にカブラを干す》彦根市/《夜明けの奥琵琶湖》高島市/《秋の寺院》愛荘町/《湖畔の松》高島市/《三重塔と三日月》近江八幡市/《醒井の梅花藻》米原市/《鶏鳴の滝》甲賀市/《野洲川の河口》野洲市/《沖の白石》高島市/《琵琶湖のほitori》大津市/《寺院の薨》大津市

主要広報記録：

新聞

・樋口淳也「近江巡礼展」前に滋賀の写真を展示 静岡市美術館」

『毎日新聞』静岡版、12月24日。

2)館長/学芸員が案内する「近江巡礼 祈りの至宝展」

特別団体観賞

概要：主に高齢者団体を対象に、一般開館前に30分程度、展示室で館長または担当学芸員が解説するミュージアム教室を実施した。

日時：会期中の毎週木曜日・土曜日

会場：展示室 参加者数：4団体27人

参加料：観覧会観覧料



葵タワーエントランスホール



葵タワーエントランスホール



多目的室



パネル展  
チラシ表



パネル展  
チラシ裏

#### 4) 講演会「近江の神仏－祈りの至宝－」

**概要：**滋賀県立琵琶湖文化館学芸員による講演会。琵琶湖文化館の成り立ち、また滋賀県の仏教、神道の発展の歴史を紹介しつつ、展覧会出品作品を中心に、民衆の信仰の対象として長く守り伝えられてきた仏像、仏画等を解説した。

**日時：**1月5日(土)14:00-

**講師：**井上ひろ美氏(滋賀県立琵琶湖文化館学芸員)

**会場：**多目的室 **参加者数：**105人



#### 5) ギャラリートーク “この一点”をとことん語る

**概要：**展示作品の中から1点を選び、学芸員とともに作品をみつめ、最終的に個々人が美術作品を前にしたとき、作品と対話できることを目標としたギャラリートーク。前期は《日吉山王祭礼図屏風》、後期は曾我蕭白筆《楼閣山水図屏風》をとり上げ、参加者とともに作品をあげわった。

**日時：**1月12日(土)、2月2日(日)

いずれも①10:30-、②14:00-

**会場：**展示室 **参加料：**展覧会観覧料 **参加者数：**計95人



#### 6) 講演会「六道絵の世界－地獄をみて極楽を知る－」

**概要：**滋賀県立琵琶湖文化館学芸員による講演会。仏教美術と近世絵画を展示の二本柱とする本展出品作品の中から、聖衆来迎寺所蔵「六道絵」を中心に、当時の人がイメージした地獄の概念を紹介した。

**日時：**1月20日(日)14:00-

**講師：**上野良信氏(滋賀県立琵琶湖文化館学芸員)

**会場：**多目的室 **参加者数：**94人



出品作品リスト

※本リストの番号はカタログ番号であり、欠番は静岡会場未出品である。出品点数 76点。  
 ※各展覧会の表記に従った。

No.	展示期間	指定区分	名称	技法材質	員数	年代	所蔵
1	前期	重文	両界曼荼羅図(りょうかいまんだらず)	絹本着色	二幅	南北朝	園城寺
2	後期	重文	釈迦十六善神像(しゃかじゅうろくぜんじんぞう)	絹本着色	一幅	鎌倉	園城寺
3	後期		鎮宅霊符神像(ちんたくれいふしんぞう)	絹本着色	一幅	室町	園城寺
4		重文	孔雀文磬(くじゃくもんけい)	銅鑄造 鍍金	一面	平安	園城寺
5		重文	園城寺尺(おんじょうしゃく) 二枚のうち 唐院預竹計	竹製	一枚	室町	園城寺
6	後期	県指定	智証大師像(ちしょうだいしぞう)	絹本着色	一幅	南北朝	園城寺
7			仏供盤(ぶつくばん)	銅鑄造 鍍金	二枚	鎌倉	園城寺
8			金剛盤(こんごうばん)	白銅鑄造	一面	室町	園城寺
9			五鈷鈴(ごこれい)	(鈴)白銅鑄造 (柄)銅鑄造	一口	室町	園城寺
10			羯磨(かつま)	銅鑄造 鍍金	一口	鎌倉	園城寺
11			五鈷杵(ごこしよ)	銅鑄造 鍍金	一口	鎌倉	園城寺
12	1/29～ 2/11	国宝	六道絵(ろくどうえ) 十五幅のうち 人道生老病死四苦相図(にんどうしょうろうびょうしよくそうず)	絹本着色	一幅	鎌倉	聖衆来迎寺
13	八幅ずつ		六道絵(ろくどうえ) (国宝模本)	絹本着色	十五幅	江戸 文政5年	聖衆来迎寺
14	前期	重文	薬師如来立像(やくしにょらいりゅうぞう)	銅鑄造 鍍金	一軀	奈良	聖衆来迎寺
15		県指定	大黒天像(だいこくてんぞう)	木造	一軀	南北朝 暦応2年	聖衆来迎寺
16	巻替し	重文	紺紙銀字法華経(こんしぎんじほけきょう) 八巻のうち	紺紙銀字	第一巻	平安	延暦寺
17	巻替し	重文	紺紙金銀字法華経(こんしきんぎんこうしよほけきょう) 八巻のうち	紺紙金銀字	第二巻	平安	延暦寺
19	三幅ずつ	重文	六道絵(ろくどうえ) 十五幅のうち 人道生老病死四苦相図(にんどうしょうろうびょうしよくそうず)	絹本着色	六幅	南宋	新知恩院
20	後期	重文	帝釈天立像(たいしゃくてんりゅうぞう)	木造	一軀	平安	正法寺
21		国宝	透彫華籠(すかしぼりけこ) 十六枚のうち	銅鍛造 鍍金銀	二枚	平安～鎌倉	神照寺
22		市指定	二天立像(にてんりゅうぞう) (持国天・多聞天 じこくてん・たもんでん)	木造	二軀	平安	光照寺
23	一面ずつ	重文	透彫華鬘(すかしぼりけまん) 附、透彫華鬘五面のうち	銅鍛造 鍍金	二面	寛元元年銘	長命寺
24		重文	菊花螺鈿鞍(きくからでんぐら) 黒漆塗(くろうるしあぶみ)	木製漆塗	一背 一双	平安～鎌倉	大嶋神社奥津嶋神社
25		重文	釈迦如来立像(しゃかにょらいりゅうぞう)	木造	一軀	鎌倉	莊嚴寺
27		重文	聖観音像(しょうかんのんぞう) (寺伝山越観音像 じでんやまごしかんのんぞう)	木造	一軀	平安	莊嚴寺
28		県指定	普賢菩薩坐像(ふげんぼさつざぞう)	木造	一軀	鎌倉～南北朝	志那神社
29		県指定	聖観音立像(しょうかんのんりゅうぞう)	木造	一軀	建暦3年	観音寺
30			誕生釈迦仏像(たんじょうしゃかぶつぞう)	銅鑄造	一軀	奈良	大光寺
31		県指定	僧形八幡神坐像(そうぎょうはちまんしんざぞう)	木造	一軀	平安	金勝寺
32		県指定	女神坐像(じょしんざぞう)	木造	一軀	平安	金勝寺
33		県指定	紺紙金字金光明経(こんしきんじこんこうみょう) 巻第一	紺紙金字	一卷	平安	金勝寺
34	後期	県指定	不動明王二童子像(ぶどうみょうおうにどうじぞう)	絹本着色	一幅	鎌倉	柏木神社
35		県指定	薬師如来坐像(やくしにょらいざぞう)	木造	一軀	平安	大日寺
36	巻替え	県指定	版本妙法蓮華経(はんぽんみょうほうれんげきょう) (百済寺版 ひやくさいじばん)	版本	八巻	室町 明德2年	櫟野寺
37	後期	重文	如意輪観音像(にょいりんかんのんぞう)	絹本着色	一幅	鎌倉	法蔵寺
38		県指定	相撲人形(すもうにんぎょう)	木造	一組	鎌倉	御上神社
39			神馬 口取添(しんめ ぐちとりぞえ)	木造	一組	鎌倉	御上神社
40	後期	重文	千手観音二十八部衆像(せんじゅかんのんにじゅうはちぶしゅうぞう)	絹本着色	一幅	鎌倉	大清寺
41	前期	重文	仏涅槃図(ぶつねはんず)	絹本着色	一幅	鎌倉	正法寺

No.	展示期間	指定区分	名称	技法材質	員数	年代	所蔵
42		重文	阿弥陀如来坐像(あみだによらいざぞう)	木造	一躯	平安	洞照寺
43	前期	重文	寂室元光墨蹟(じゃくしつげんこうぼくせき)	紙本墨書	二幅	南北朝 貞治5年	退蔵寺
44	後期	重文	日吉山王神像(ひえさんのうしんぞう)	絹本着色	一幅	鎌倉	百済寺
45		重文	唐草文磬(からくさもんけい)	銅鑄造 鍍金	一面	平安	百済寺
46	後期	重文	不動明王二童子像(ふどうみょうおうにどうじぞう)	絹本着色	一幅	鎌倉	成菩提院
47	前期	県指定	普賢十羅刹女像(ふげんじゅうらせつによぞう)	絹本着色	一幅	南北朝	成菩提院
49	前期	県指定	薬師十二神将像(やくしじゅうにしんしょうぞう)	絹本着色	一幅	南北朝	新宮神社
50	後期	重文	山王権現像(さんのうごんげんぞう)	絹本着色	一幅	鎌倉~南北朝	浄厳院
51		重文	銅磬 孔雀文様(どうけい くじゃくもんよう)	銅鑄造 鍍金	一面	鎌倉 貞応元年	金剛輪寺
52		重文	透彫華鬘(すかしぼりけまん) 三枚のうち	銅鍛造 鍍金	一枚	鎌倉	金剛輪寺
53	前期	県指定	文殊菩薩像(もんじゅぼさつぞう)	紙本着色	一幅	鎌倉	西明寺
54	後期		仏涅槃図(ぶつねはんず)	絹本着色	一幅	南北朝	西明寺
56	前期	県指定	日吉山王曼荼羅図(ひえさんのうまんだらず)	絹本着色	一幅	南北朝	正源寺
58	前期		源平合戦図(げんぺいかっせんず) 狩野氏信(かのううじのぶ)筆	紙本金地著色	六曲一双	江戸	琵琶湖文化館
59	後期		山法師強訴図(やまほうしごうそず)	紙本金地著色	六曲一隻	江戸	琵琶湖文化館
60	後期		洋犬図(ようけんず) 波多野等有(はたのとうゆう)筆	紙本金地著色	二曲一隻	江戸	琵琶湖文化館
61	前期		牡丹図(ぼたんず)	絹本着色	二幅対	中国・明	琵琶湖文化館
62	前期		日吉山王祭礼図屏風(ひえさんのうさいれいず)	紙本金地著色	六曲一双	江戸	個人
63	前期		南山寿星図(なんざんじゅせいず) 狩野宗信(かのうながのぶ)筆	絹本着色	一幅	江戸	琵琶湖文化館
64	後期		巖上咆哮猛虎図(がんじょうほうこうもうこず) 岸岱(がんだい)筆	絹本着色	一幅	江戸 文久2年	琵琶湖文化館
65	後期		寒華傲雪図(かんかごうせつず) 山本梅逸(やまもとばいいつ)筆	絹本着色	一幅	江戸	琵琶湖文化館
66	後期		夏山飛瀑図(かざんひばくず) 中林竹洞(なかむらちくどう)筆	紙本墨画	一幅	江戸 天保12年	琵琶湖文化館
67	後期		鳥禽図(ちようきんず) 伊藤若冲(いとうじゃくちゆう)筆	絹本着色	一幅	江戸	琵琶湖文化館
68	後期		長春孔雀図(ちようしゆんくじゃくず) 張月樵(ちようげっしょう)筆	絹本着色	一幅	江戸	琵琶湖文化館
69			十八名家図(じゅうはちめいかず) 横井金谷(よこいぎんこく)筆	紙本着色	一幅	江戸	琵琶湖文化館
70			蓬萊群仙図(ほうらいぐんせんず) 紀樸亭(きぱいてい)筆	絹本着色	一幅	江戸 享和3年	琵琶湖文化館
71	前期		楽山楽水図(らくさんらくすいず) 塩川文麟(しおかわぶんりん)筆	絹本淡彩	二幅対	明治9年	琵琶湖文化館
72	前期		猪図(いのししず) 松村呉春(まつむらごしゆん)筆	絹本着色	一幅	江戸 享和3年	琵琶湖文化館
73	後期		琵琶湖図(びわこず) 円山応震(まるやまおうしん)筆	絹本着色	一幅	江戸 文政7年	琵琶湖文化館
74	後期		猿猴図(えんこうず) 森狙仙(もりそせん)筆	絹本着色	一幅	江戸	琵琶湖文化館
75	前期		十二月図(じゅうにかげつず) 月岡雪鼎(つきおかせつてい)筆	絹本着色	六曲一双	江戸	琵琶湖文化館
76	前期		柳汀双禽図(りゅうていそうきんず) 宋紫石(そうしせき)筆	絹本着色	一幅	江戸	琵琶湖文化館
77	前期	県指定	観山図(えいざんず) 曾我蕭白(そがしょうはく)筆	紙本墨画	一幅	江戸	琵琶湖文化館
78	後期	重文	楼閣山水図(ろうかくさんすいず) 曾我蕭白(そがしょうはく)筆	紙本墨画淡彩	六曲一双	江戸	近江神宮
79	前期		花鳥図(かちょうず)(フェノロサ寄贈)	紙本着色	一幅	室町	園城寺
80	巻替え		瀟湘八景図(しょうしやうはっけいず) 狩野安信(かのうやすのぶ)・狩野益信(かのうますのぶ)筆	絹本墨画	二巻	江戸	聖衆来迎寺
81	後期	県指定	東王父西王母図(とうおうふせいおうぼず) 海北友松(かいほうゆうしょう)筆	紙本着色	六曲一双	桃山	浄信寺

## 2-6 新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界

会期：2月23日(土)～3月31日(日)

**概要：**宮澤賢治とならび日本を代表する児童文学者、新美南吉(1913-1943)は、29歳の短い生涯の中で、300編以上の童話や詩を遺した。中でも、弱冠18歳のときに児童雑誌『赤い鳥』で発表した童話「ごんぎつね」は、戦後、小学4年生のすべての教科書で取り上げられるなど、その郷愁や哀しみが共感を呼び、今なお人々の記憶の中に刻まれ続けている。

本展では南吉の生誕100年を記念し、生地、愛知県半田市の新美南吉記念館の所蔵品を中心に、直筆原稿・日記・書簡・書籍など116点と、棟方志功、かすや昌宏はじめ12名の作家90点の絵本原画を展示。あわせて、静岡市内の小学4年生に「ごんぎつね」の感想文を募集し、27校約2,000枚の感想文を展示。来館者の共感、感動を呼んだ。

**巡回先：**丹波市立植野記念美術館、堺市立文化会館、北海道立文学館、名古屋タカシマヤ

**主催：**静岡市美術館 指定管理者(公財)静岡市文化振興財団、毎日新聞社、半田市、半田市教育委員会、テレビ静岡

**後援：**静岡市教育委員会、静岡県教育委員会、K-mix

**協力：**新美南吉記念館、静岡図書館友の会、静岡市立図書館、静岡県立中央図書館

**観覧料：**一般 600円(400円)  
大高生・70歳以上 400円(200円)  
※( )内は前売および当日に限り20名以上の団体料金  
※中学生以下無料  
※障害者手帳をご持参の方および介助に必要な方は無料

**観覧者数：**17,427人(有料9,836人、無料7,591人、有料率56.44%)

**出品点数：**214点

印刷物：

1)チラシ

<仕様>紙：OKブライトラフ 100kg  
サイズ・数量：A4 60,000部

2)ポスター

<仕様>紙：(B1)マットコート 150kg  
(B2)ヴァンヌーボVスノーホワイト 150kg  
(B3)ヴァンヌーボVスノーホワイト 135kg  
サイズ・数量：B1 100部、B2 1,700部、B3 1,000部



チラシ表



チラシ裏



B1・B2ポスター



B3ポスター

## カタログ：

<仕様>A4判(297×210mm)、107頁



カタログ

カラー図版182点、モノクロ図版90点

新美南吉の生涯/南吉を描いた画家たち/南吉と出逢う

作品解説/ごんぎつね事典/作家紹介/新美南吉文学散歩/年譜

編集・発行：新美南吉記念館

発行年：2012年

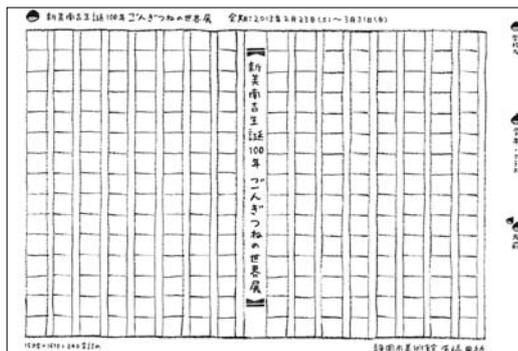
## 普及ツール

### 1)感想文原稿用紙

<仕様>紙：OKプリン上質エコ 70kg

サイズ・数量：A4 5,000部

「ごんぎつね」の感想文用の原稿用紙を独自に作成。参加希望校に配布し、27校約2,000枚を展示した。



感想文原稿用紙

### 2)鑑賞ガイド

<仕様>紙：上質 90kg

サイズ・加工・数量：

210×742.5mm (仕上210×148.5mm)

ジャバラ折り 50,000部

静岡市内の小学校全児童に約40,000部を配布したほか、来館者にも配布。

※ガイド画像は48頁に掲載。

## 各種連携：

### 1)近隣店舗との連携

葵タワー内および近隣店舗での展覧会入場者への優待サービスの実施、特別メニューの提供

### 印刷物：

#### チラシ

<仕様>紙：マットコート 70kg

サイズ・数量：A4 5,000部



協賛チラシ表



協賛チラシ裏

### 2)図書館連携事業「新美南吉フェア」

展覧会開催にあわせ、市内12の市立図書館及び静岡県立中央図書館で新美南吉のフェアを開催。各図書館に、新美南吉の童話や関連書籍を集めた特設コーナーが設置された。

### 印刷物：

#### チラシ

<仕様>紙：マットコート 90kg

サイズ・数量：A4 5,000部



告知チラシ(裏面は展覧会関連イベント告知)

主要広報記録：

1)テレビ・ラジオ

- ・「ごんぎつね展開幕式・内覧会」テレビ静岡『ニュース』、2月22日放送。
- ・「展覧会紹介」FM-Hi!『こんにちは赤ちゃん』、2月23・24日放送。

2)新聞

- ・森谷紗世「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展(上) 語り聞かせから生まれた作品」『毎日新聞』静岡版、2月19日。
- ・森谷紗世「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展(中) 自由と希望に満ちた東京生活」『毎日新聞』静岡版、2月20日。
- ・森谷紗世「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展(下) 到達した境地「民話的メルヘン」」『毎日新聞』静岡版、2月21日。
- ・渡辺亮一「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展 人間の不条理、愛 描く あす静岡市美術館で開幕」『毎日新聞』、2月22日。
- ・小玉沙織「「ごんぎつねの世界」開幕 作者・南吉の生誕100年記念 静岡市美術館 原画など200点」『毎日新聞』静岡版、2月23日。
- ・石原猛「温かみ感じる南吉作品 静岡市美術館 生誕100年の特別展」『中日新聞』静岡版、2月23日。
- ・「「ごんぎつねの世界」を堪能して 新美南吉生誕100年 静岡市美術館で展示会」『産経新聞』静岡版、2月25日。
- ・「新美南吉 ごんぎつねの世界 静岡市美術館」『富士ニュース』、3月7日。
- ・樋口淳也「ごんぎつね展 入場者1万人突破 静岡市美術館 佐野くんに記念品」『毎日新聞』静岡版、3月21日。

3)雑誌他

- ・「展覧会紹介」『MOE』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『月刊クーヨン』、3月号。
- ・「多くの人に愛され続ける、大人になってまた出逢いたい児童文学 「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展」」『Hot Pepper』3月号。
- ・「展覧会紹介」『保育ナビ』、3月号。
- ・「展覧会紹介」『ミセス』、4月号。
- ・「展覧会紹介」『ママミーヤ』、春号。

4)ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

「インターネットミュージアム」、「アットエス」、「やまねこ翻訳クラブ」、「artscape」、「静岡市ウェブサイト」



展示室内「絵本のへや」



入場者1万人達成



かすや昌宏「ごんぎつね」巨大「立版古」記念撮影コーナー

関連事業：

1)南吉のおはなしを楽しむ会

概要：展示室内に設けた「絵本のへや」を会場に、静岡図書館友の会による朗読で、童話や詩、戯曲などの新美南吉作品の読み語りを実施した。人形等を使った演出、キーボード演奏での導入・締め、抑揚に富んだ朗読など、各回毎に特色ある読み語りが好評を得た。

日時：3月2日(土)、10日(日)、24日(日)、30日(土)、31日(日)  
いずれも14:00-、15:00-(各回30分)

会場：展示室内「絵本のへや」 参加者数：計830人  
朗読協力：静岡図書館友の会 参加料：観覧料

主な読み語り作品：『こぞうさんのおきょう』、『赤いろうそく』、『ごんぎつね』、『がちょうのたんじょうび』、『ひとつの火』、『あめだま』、『去年の木』、『手ぶくろを買いに』、『里の春、山の春』、『ひろったらっぱ』、『みちこさん』、『こどものすきな神さま』、『げたにばけ』、『自由を我らに』(群読)、詩『花』『月の角笛』『天国』ほか

印刷物：

チラシ

<仕様>紙：マットコート 90kg  
サイズ・数量：  
A4 5,000部



告知チラシ

(裏面は観覧会関連イベント告知)



2)講演会「新美南吉童話の世界～『ごんぎつね』から久助ものまで～」

概要：新美南吉記念館の学芸員による講演会。南吉の生涯や南吉が著した童話の魅力について紹介したほか、南吉晩年の童話『狐』の朗読も行われた。

日時：3月9日(土)14:00-

講師：遠山光嗣氏(新美南吉記念館 学芸員)

会場：多目的室 参加者数：124人

主要広報記録：

新聞

・宮澤勲「『ごんぎつね展』イベント講演会 静岡市美術館」『毎日新聞』静岡版、3月10日。



### 3)アニメ「おぢいさんのランプ」上映

概要：アニメ「おぢいさんのランプ」(制作：㈱テレコム・アニメーションフィルム)を、美術館スタッフの事前解説付きで上映した。

日時：3月16日(土)、17日(日)

いずれも①11:00-、②14:00-、③15:00-、④16:00-

会場：多目的室 参加者数：計468人

上映時間：約23分

参加料：無料



### 4)ごんぎつねチャリティかるた大会

概要：新美南吉の幼年童話「かにのしょうばい」の読み語り(通常版と静岡弁に訳したものの二種)と、「静岡方言かるた」を使ったかるた大会の二本立てで実施した。

日時：3月20日(水・祝)①11:00-、②14:00-

司会・読み語り：伊藤弘美氏(テレビ静岡アナウンサー)

静岡弁解説：富山昭氏(常葉学園大学非常勤講師、日本民俗学会会員)

会場：多目的室 参加者数：計57人

参加料：300円※必要経費を除きFNSチャリティに寄付



鑑賞ガイド表

鑑賞ガイド裏

出品作品リスト

※本リストの通し番号は静岡会場のものである。出品点数 214点。  
※各展覧会の表記に従った。

第1章：新美南吉の生涯

No.	作品名	年代(出版年を含む)
1	書き初め「ハツ日」 ※複製	大正8年1月
2	綴方帳	大正11年4月～大正13年3月
3	学籍簿 (半田第二尋常小学校)	—
4	卒業記念写真 (半田第二尋常小学校)	大正15年3月
5	「柗陵」第9号に掲載された「棕の実の思出」	昭和3年2月
6	「柗陵」十周年記念号 (半田中学校校友会)	昭和3年11月
7	日記帳「昭和四年自由日記」	昭和4年
8	「乃木大将」の絵	中学生時代(推定)
9	「緑草」に掲載された童話「銭坊」(商業少年社)	昭和3年9月号
10	「愛誦」に掲載された童謡「空屋」(公蘭社)	昭和4年10月号
11	卒業証書 (半田中学校)	昭和6年3月4日
12	代用教員の辞令 (愛知県)	昭和6年3月31日
13	出勤簿 (半田第二尋常小学校)	昭和6年4月～8月
14	「赤い鳥」(赤い鳥社) ※複製版	昭和6年5月号
15	「赤い鳥」に掲載された童謡「窓」(赤い鳥社)	昭和6年5月号
16	「赤い鳥」(赤い鳥社) ※複製版	昭和6年8月号
17	「赤い鳥」に掲載された「正坊とクロ」(赤い鳥社)	昭和6年8月号
18	日記帳「その日その日」	昭和6年7月～昭和7年2月
19	「チチノキ」(チチノキ社)	昭和6年3月号
20	巽聖歌宛書簡	昭和7年1月4日
21	童謡「蜜柑畑」原稿	昭和8年(推定)
22	評論「外から内へー或る清算」原稿	昭和8年6月24日
23	童話「手袋を買いに」原稿	昭和8年12月26日
24	山半の欄間	昭和4年頃
25	日記帳「文芸日記」 ※複製	昭和8年
26	「カンコイ二年小学生」に掲載された「影」(精文館)	昭和9年9月号
27	童話「デンデンムシノカナシミ」原稿	昭和10年5月15日
28	童話「ヒロソタ ラツバ」原稿	昭和10年5月14日
29	「蛾とアーク燈」原稿	昭和8年4月16日
30	結婚記念写真(嫁入り道具に囲まれる成子)	昭和11年3月
31	詩「去りゆく人に」原稿	昭和10年8月30日
32	河合宏宛葉書	昭和10年8月15日消印
33	東京外国語学校卒業記念の寄せ書き ※複製	昭和11年3月
34	卒業証書 (東京外国語学校)	昭和11年3月16日
35	パンフレット「東京みやげ」(東京土産品協会)	昭和初期
36	アルスノートに書かれた療養中の俳句	昭和7年～昭和14年
37	日記帳「昭和十二年ノートⅡ及び昭和十三年Ⅰ」	昭和12年2月26日～昭和13年3月15日
38	巽聖歌宛書簡	昭和12年6月5日消印
39	童話「空気ポンプ」原稿	昭和12年6月13日～17日
40	山田梅子宛書簡 ※複製	昭和12年8月18日
41	絵葉書 河和駅及知多バス	戦前
42	絵葉書 河和海水浴場(其ノ一)	戦前
43	経理課勤務の辞令 (杉治商会)	昭和12年12月7日
44	中等教員免許状 英語 (文部省)	昭和13年3月17日
45	「安城高女学報」に掲載された「私の世界」 ※複製	昭和13年度第1学期号
46	生徒詩集「雪とひばり」に寄せられた詩	昭和14年2月
47	生徒詩集「縁側の針」	昭和14年3月
48	南吉の評言が書き込まれた生徒の作文 大村ひろ子	—
49	南吉の評言が書き込まれた生徒の作文 杉浦さち	—
50	戯曲「ガア子の卒業祝賀会」原稿	昭和15年2月11日脱稿

No.	作品名	年代(出版年を含む)
51	転校する生徒に贈った「リルケ詩集」(函)(第一書房)	昭和15年12月第2刷
52	転校する生徒に贈った「リルケ詩集」(本)	昭和15年12月第2刷
53	卒業する教え子に贈った色紙 ※複製	昭和17年3月
54	童話「最後の胡弓弾き」原稿 (第15葉)	昭和14年5月7日
55	「嘘」原稿	昭和16年6月(推定)
56	「新児童文化」に掲載された「川」(有光社)	昭和15年12月
57	「新児童文化」第三冊(有光社)	昭和16年7月
58	評論「物語性の喪失」原稿	昭和16年
59	画帖「三人道中」 ※複製	昭和13年5月
60	画帖「六根晴天」 ※複製	昭和14年7月
61	画帖「筆勢非凡」 ※複製	昭和14年8月
62	掛軸「蝶々の濡れて遊べり瀧しぶき」	昭和14年7月
63	中山ちゑの卒業証書(知多高等女学校)	昭和6年3月19日
64	中山ちゑの解剖スケッチ	昭和6年～昭和11年頃
65	胡弓	—
66	座敷ランプ	—
67	背広	—
68	印鑑「にいみ」	—
69	表札	—
70	南吉がつくった陶製カップ	—
71	「良寛物語 手毬と鉢の子」(カバー付)(学習社)	昭和16年10月1日
72	「良寛物語 手毬と鉢の子」出版契約書(学習社)	昭和16年3月20日
73	遺言状	昭和16年3月～6月頃
74	童話集「おちいさんのランプ」(有光社)	昭和17年10月10日
75	童話集「おちいさんのランプ」に書かれた献辞	昭和17年
76	童話「おちいさんのランプ」原稿(第1葉) ※複製	昭和17年4月2日
77	童話「おちいさんのランプ」原稿(最終葉) ※複製	昭和17年4月2日
78	「あとがき」原稿 ※複製	昭和17年9月
79	童話「狐」原稿 ※複製	昭和18年1月8日
80	小説「天狗」原稿	昭和18年1月18日～
81	巽聖歌宛書簡	昭和18年2月12日
82	佐藤好子宛葉書	昭和18年2月9日
83	高正惇子宛葉書	昭和18年2月26日(消印)
84	死亡通知 渡辺多蔵	昭和18年4月5日
85	童話集「牛をつないだ樗の木」(大和書店)	昭和18年9月10日
86	童話集「花のき村と盗人たち」(帝国教育出版部)	昭和18年9月30日
87	童話集「きつねのおつかい」(福地書店)	昭和23年12月5日
88	童話集「久助君の話」(中央出版)	昭和21年12月30日
89	詩集「墓碑銘」(英宝社)	昭和37年11月20日
90	「新美南吉 十七歳の作品日記」原稿 巽聖歌	昭和46年
91	南吉関連記事のスクラップブック 巽聖歌	昭和35年～昭和47年
92	「子どもと文学」(中央公論社) 石井桃子ほか著	昭和35年4月
93	「校定新美南吉全集」12巻(大日本図書)	昭和55年～昭和58年
94	LE PETIT RENARD GON ※仏語版「ごんぎつね」	平成3年
95	Buying Mittens ※英語版「手袋を買いに」	平成11年
96	韓国語版「花のき村と盗人たち」	平成17年
97	小狐狸阿権 ※中国語童話集「ごんぎつね」	平成21年
98	「新美南吉代表作集」(函)(新美南吉顕彰会)	昭和37年3月
99	「新美南吉代表作集」(本体)	昭和37年3月
100	「橋をかけるー子供時代の読書の思い出」(すえりブックス)	平成10年11月

特集展示：ごんぎつねの世界

No.	作品名	年代
101	スパルタノートに書かれた草稿「権狐」	昭和6年10月4日
102	『赤い鳥』（赤い鳥社）※復刻版	昭和7年1月号
103	『赤い鳥』に掲載された「ごん狐」（赤い鳥社）	昭和7年1月号
104	びく(魚籠)	—
105	ホンドギツネ	—
106	白いかみしも(袴)	—
107	「ごんぎつね」を最初に掲載した教科書（大日本図書）	昭和31年度版
108	光村図書が最初に「ごんぎつね」を掲載した教科書	昭和46年度
109	「ごんぎつね」(4年・下)(東京書籍)	平成23年度
110	「ごんぎつね」(4年・下)(光村図書)	平成23年度
111	「ごんぎつね」(4年・下)(教育出版)	平成23年度
112	「ごんぎつね」(4年・下)(学校図書)	平成23年度
113	「ごんぎつね」(4年・下)(三省堂)	平成23年度
114	「あめ玉」(5年)(光村図書)	平成23年度
115	「手ぶくろを買いに」(3年・下)(東京書籍)	平成23年度
116	「手ぶくろを買いに」(3年)(三省堂)	平成23年度

第2章：絵本原画でたどる南吉童話の世界

No.	作家名	作品名	技法	収録書籍	出版年			
117	棟方志功	「ごんごろ鐘」	墨	『おじいさんのランプ』 有光社	昭和17年			
118		「久助君の話」						
119		「うた時計」						
120		「貧乏な少年の話」						
121-128	池田あきこ	「手ぶくろを買いに」 8点	色鉛筆・パステル	小学3年生用国語教科書下 東京書籍	平成元年			
129	石倉欣二	『ごん狐』表表紙・裏表紙	プリント(CG)	新美南吉童話傑作選 「ごん狐」 小峰書店 (新美南吉の会編)	平成16年			
130		目次						
131		「巨男の話」						
132		「鳥右エ門諸国をめぐる」						
133		「里の春、山の春」						
134		「でんでんむし」	プリント(CG)	里の春、山の春』 につけん教育出版社	平成14年			
135	太田大八	「赤いろうそく」裏表紙・背表紙・表表紙	カラーインク	新美南吉童話傑作選 「赤いろうそく」 小峰書店 (新美南吉の会編)	平成16年			
136		「でんでんむし」						
137		「みちこさん」						
138		「里の春、山の春」						
139		「赤いろうそく」				カラーインク		
140-142	黒井健	「ごんぎつね」 3点	色鉛筆	『ごんぎつね』 偕成社	昭和61年			
143-145		「手ぶくろを買いに」 3点						
146		「がちょうのたんじょうび」						
147		「こぞうさんのおきょう」 2点				色鉛筆 色鉛筆・パステル	『がちょうのたんじょうび』 につけん教育出版社	平成17年
148								
149	篠崎三朗	『おじいさんのランプ』表表紙・背表紙・裏表紙	アクリル	新美南吉童話傑作選 「おじいさんのランプ」 小峰書店(新美南吉の会編)	平成16年			
150		「牛をつないだ樺の木」						
151		「うた時計」						
152		「最後の胡弓ひき」						
153		「おじいさんのランプ」				ブラックインク		
154	杉浦範茂	「花をうめる」表表紙	アクリル	新美南吉童話傑作選 「花をうめる」 小峰書店 (新美南吉の会編)	平成16年			
155		中扉(「久助君の話」)						
156		中扉(「川」)				コピー(墨)		
157		「花をうめる」裏表紙				アクリル		

No.	作家名	作品名	技法	収録書籍	出版年
158	高野玲子	『てぶくろを買いに』裏表紙・表表紙	エッチング・ アクアチント	新版『てぶくろを買いに』 大日本図書	平成5年
159		『てぶくろを買いに』			
160		『赤いろうそく』			
161		『ひろったラッパ』			
162	長野ヒデ子	『花のき村と盗人たち』表表紙	墨	新美南吉童話傑作選 『花のき村と盗人たち』 小峰書店(新美南吉の会編)	平成16年
163		『百姓の足、坊さんの足』			
164		『和太郎さんと牛』			
165- 168		『あめだま』 4点			
169- 178	二俣英五郎	『狐』 10点	水彩	新美南吉童話傑作選 『子どものすきな神さま』 小峰書店 (新美南吉の会編)	平成16年
179		『子どものすきな神さま』表表紙			
180		『子どものすきな神さま』			
181		『狐のつかい』			
182	『でんでんむしのかなしみ』	水彩	新美南吉童話傑作選 『子どものすきな神さま』 小峰書店 (新美南吉の会編)	平成16年	
183	『ひとつの火』				
184	『かげ』				
185	『がちょうのたんじょうび』表表紙				
186	渡辺洋二	『ごろうさんのおきょう』	水彩	新美南吉童話傑作選 『がちょうのたんじょうび』 小峰書店 (新美南吉の会編)	平成16年
187		『去年の木』			
188		『ひろったらっぱ』			
189		『子どものすきな神さま』表紙(表・裏)			
190	かすや昌宏	『子どものすきな神さま』	水彩	『子どものすきな神さま』 につけん教育出版社	平成16年
191		『一年生たちとひよめ』			
192		『一年生たちとひよめ』			
193 194		『ごんぎつね』 2点			
195- 206	『ごんぎつね』 12点	ポジフィルム			
207- 214	—	ジオラマ『牛をつないだ樺の木』	8場面	—	—



「ごんぎつね」感想文展示風景

### 3. 交流事業(教育普及事業)目次

---

#### 3-1 交流事業

1) Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典 .....	53
2) Shizubi シネマアワー .....	55
3) ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」 .....	55
4) プレゼントワークショップ .....	56
5) しずびちっこプログラム .....	58
6) しずびオープンアトリエ .....	60
7) 暦とあそぶワークショップ .....	60
8) 夜店市 .....	61

#### 3-2 連携事業

1) 学校との連携 .....	62
2) 外部施設との連携 .....	62
3) 三館共同事業 .....	64

## 3. 交流事業(教育普及事業)

### 3-1 交流事業

#### 1) Shizubi Project 2

##### ひそやかな眼差し 小林且典

概要：彫刻家・小林且典氏の蝋型鑄造によるブロンズやフィンランドでの滞在制作を機に始めた木のシリーズなど、慌ただしい時の流れの外にひっそりとたたずむ、手のひらに乗るような“静物・風景彫刻”を展示した。また、自身の彫刻作品を自作レンズで撮影した写真作品も紹介した。

会期：8月28日(火)～11月25日(日)

会場：エントランスホール・多目的室

#### 作品リスト：

- 1 《Sedia (椅子)》1992年、作家蔵
- 2 《“Una veduta nella nostra epoca”我々の時代の一風景》1994年、作家蔵
- 3 《椅子》1995年、作家蔵
- 4 《三つの木》c.2002、作家蔵
- 5 《テーブルインスタレーション》2011年、作家蔵
- 6 《w016-2011》など計13点 2011年、作家蔵
- 7 《w015-2012》2012年、作家蔵
- 8 《fis-L-018》など計4点 2010年、作家蔵
- 9 《fis-S-018》など計7点 2010年、作家蔵
- 10 《一》2005年、作家蔵
- 11 《一》2005年、作家蔵
- 12 《caraff (カラフ)》2005年、作家蔵
- 13 《一》2005年、作家蔵
- 14 《静物シリーズ》2005年、作家蔵
- 15 《静物シリーズ》2005年、作家蔵
- 16 《壁面インスタレーション》2012年、作家蔵
- 17 《ドローイング(計14点)》、作家蔵
- 18 《scene》など計2点、2007年、作家蔵
- 19 《scene 静物 #c-7-2010》2010年、作家蔵
- 20 《scene 静物 #c-6-2010》2010年、作家蔵
- 21 《scene 静物 #c-8-2010》2010年、作家蔵
- 22 《テーブルインスタレーション》2012年、作家蔵
- 23 《一》2005年、作家蔵
- 24 《caraff (カラフ)》2005年、作家蔵
- 25 《一》2004年、作家蔵
- 26 《一》2004年、作家蔵
- 27 《小さな林》2004年、作家蔵
- 28 《壁面インスタレーション》2011-12年、作家蔵
- 29 《レリーフ(計10点)》2012年、作家蔵

出品点数：73点

印刷物：

チラシ

<仕様>紙：OKプラナスホワイト 四六判 94.5kg

サイズ・数量：A4 30,000部



チラシ表



チラシ裏

主要広報記録：

#### 新聞

- ・天田優里「北欧特徴の彫刻や静かな現地の写真 小林且典さん作品展が開幕」『中日新聞』静岡版、8月29日。
- ・「小林且典作品集ひそやかな眼差し」『新美術新聞』No.1296、11月11日。

#### 雑誌他

- ・「静謐な私的風景、小林且典の眼差し」『月刊美術』9月号、8月20日。
- ・「ひそやかな眼差し 小林 且典」『美術の窓』9月号、9月20日。
- ・「ひそやかな眼差し 小林 且典」『美術屋百兵衛』No.23、10月13日。
- ・「ひそやかな眼差し展」『Hanako FOR MEN』、11月号。
- ・「開放的な空間の中で、現代の美術の姿を紹介する第2弾 Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典」『Hotpepper』11月号。

ウェブサイト等(媒体名のみ記載)

- ・「Japan Design Net」「アットエス おでかけイベント」

## 展覧会カタログ：

<仕様>220mm×182mm、136頁、箱付。



カタログ

カラー図版 63点、参考図版 29点

著者：小林且典

解説：岡田温司

監修：静岡市美術館

編集：以倉新(静岡市美術館)、伊藤鮎(静岡市美術館)、八島慎治(みすず書房)、西澤美子

アトリエ写真：平野太呂

翻訳：重野佳園

発行所：株式会社みすず書房

印刷：精興社、栗田印刷(活版印刷)

製本所：青木製本所

デザイン：須山悠里

発行年：2012年



## トークイベント：

### 作品集刊行記念対談

概要：作品集のエッセイ執筆者・岡田温司氏(美術史家/京都大学教授)と作家との対談。作家の制作の本質に迫った。

日時：9月30日(日)14:00-16:00

会場：多目的室 参加者数：15人

対談者：岡田温司氏(美術史家/京都大学教授)、小林且典氏(彫刻家・写真家)、以倉新(当館学芸課長)



## アーティストトーク：

概要：作家の肉声に触れ、作品への関心と理解を深める機会として、小林氏による作品解説会を実施した。

日時：①9月29日(土)、②11月10日(土)いずれも14:00-

会場：エントランスホール 参加者数：計41人



## 2)Shizubi シネマアワー

### (1)Shizubi シネマアワー vol.5

概要：連続シリーズの第5弾。開催中の「フィンランドのくらしとデザイン」展にあわせ「フィンランドを楽しむ映画」をテーマに2本の作品を上映した。

日時：①9月15日(土)、②9月16日(日)いずれも15:00-

上映内容：

①『劇場版ムーミン パペット・アニメーション〜ムーミン谷の夏祭り』(2008年 フィンランド 87分)

②『かもめ食堂』(2005年 日本 102分)

会場：多目的室 参加料：①無料、②500円

参加者数：①97人、②78人

企画協力：(株)サールナートホール



### (2)Shizubi シネマアワー vol.6

概要：連続シリーズの第6弾。開催中の「ストラスブル美術館展」にあわせ「フランス映画特集」をテーマに3本の作品を上映した。

日時：①12月2日(日)、②12月8日(土)、③12月9日(日)  
いずれも15:00-

上映内容：

①『シルビアのいる街で』(2007年 スペイン・フランス 85分)

②『8人の女たち』(2002年 フランス 111分)

③『クリスマス・ストーリー』(2008年 フランス 150分)

会場：多目的室 参加料：500円

参加者数：①49人、②80人、③43人

企画協力：(株)サールナートホール



### (3)Shizubi シネマアワー vol.7

概要：連続シリーズの第7弾。「ダンス・ドキュメンタリー」をテーマに2本の作品を上映した。

日時：①3月23日(土)、②3月24日(日)いずれも15:00-

上映内容：

①『ピナ・バウシュ 夢の教室』(2010年 ドイツ 89分)

②『ベジャール、そしてパレエはつづく』(2009年 スペイン 80分)

会場：多目的室 参加料：500円

参加者数：①68人、②52人

企画協力：(株)サールナートホール



## 3)ピーター・バラカンの「音を見る。アートを聴く。」

### 第6回「音楽と写真」

概要：ブロードキャスターのピーター・バラカン氏が案内役を務めるトークシリーズの第6弾。今回は写真家のブルース・オズボーン氏をゲストに招き、両氏の選んだ約30枚のレコードのアートワークを、音楽と共に紹介した。

日時：8月26日(日)13:00-15:00

会場：多目的室

案内人：ピーター・バラカン氏(ブロードキャスター)

ゲスト：ブルース・オズボーン氏(写真家)

参加料：500円 参加者数：105人

主要広報記録：

新聞

・「英米音楽と写真 愛情込めて語る」『静岡新聞』(夕刊)、9月14日。



ピーター・バラカン氏(左)とブルース・オズボーン氏(右)

#### 4) プレゼントワークショップシリーズ

概要：子どもたちの創作意欲の原点である、家族や大切な人への想いをかたちにし、プレゼントを作る、という行為に焦点を当て、記念日にあわせて実施。プレゼントを「作って、贈る」ことから生まれるコミュニケーションに主眼を置く。

##### (1) プレゼントワークショップ vol.3

###### 「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」

概要：母子揃って、母との思い出をオープン陶土で形にし、土鈴を制作。16:00に2世代同時にそれぞれの母へプレゼントした。

日時：5月13日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室 参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：親子20人

主要広報記録：

新聞

・「母の日に感謝込め」『静岡新聞』、5月14日。



##### (2) プレゼントワークショップ vol.4

###### 「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」

概要：父子揃って、父との思い出を形・大きさの異なる○△□の型枠を使ってTシャツに描き、16:00に2世代同時にそれぞれの父へプレゼントした。

日時：6月10日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室 参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：親子18人

主要広報記録：

新聞

・NHK静岡放送局『県内ニュース』、6月10日。



(3)-1プレゼントワークショップ vol.5

「親子の日だ！ブルース・オズボーン 親子撮影会 ～未来の私たちへの贈り物～」

概要：7月の第4日曜日を「親子の日」として提唱する写真家ブルース・オズボーン氏による親子写真撮影会。撮影した写真は後日現像し、10年後の自分たちへのプレゼントとした。

日時：6月17日(日)①10:00-12:00 ②13:00-15:00  
③15:00-17:00

会場：多目的室 参加料：親子1組につき1,000円

対象・参加者数：親子75人(①～③合計で)

主要広報記録：

新聞

- ・「笑顔の親子 米写真家撮影」『静岡新聞』、6月18日。
- ・天田優里「親子撮影会『10年後の贈り物』に 米国写真家“腕”振るう」『中日新聞』静岡版、6月18日。
- ・「静岡市美術館で親子撮影会開催」『毎日新聞』静岡版、6月18日。



(3)-2「ブルース・オズボーン 親子写真展 ～未来の私たちへの贈り物～」

概要：6月17日に実施したブルース・オズボーン氏による親子撮影会にて撮影した静岡の親子20組の写真を中心に、親子写真展を開催した。

会期：7月22日(日)～8月26日(日)10:00-19:00

会場：多目的室

主要広報記録：

新聞

- ・「7月の第4日曜日は親子の日」『毎日新聞』、5月27日。
- ・「絆感じる親子の姿 ブルース・オズボーン写真展」『静岡新聞』、7月20日。
- ・小玉沙織「ほほえましい親子写真展」『毎日新聞』静岡版、7月30日。

印刷物等：DM

<仕様>サイズ：220×110mm

紙：ミラーコート 195kg

枚数：7,000枚



DM表

DM裏

#### (4)プレゼントワークショップ vol.6

##### 「クリスマスの準備をしよう！」

概要：クリスマスに絵が完成する、オリジナル「アドベントカレンダー」を制作し、16:00に家族へプレゼントした。

日時：12月1日(土)13:00-16:30

会場：ワークショップ室 参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：小学生 19人

主要広報記録：

##### 新聞

・「Xマスカウントダウン 静岡でカレンダー作り」『朝日新聞』静岡版、12月2日。



#### (5)プレゼントワークショップ vol.7

##### 「新年だ！うるし塗りの竹スプーンをつくろう」

概要：静岡県立静岡北特別支援学校南の丘分校教諭・生徒の技術指導・協力のもと、竹を彫刻刀・糸鋸で削りだしスプーン型に成形後、本漆の塗布に挑戦した。

日時：①12月15日(土)、1月6日(日)いずれも13:00-16:30

会場：ワークショップ室 参加料：1,000円(材料費含む)

対象・参加者数：小学4年生以上 20人

主要広報記録：

##### 新聞

・「かぶれずに漆塗り 竹製スプーンに20人挑戦」『毎日新聞』静岡版、1月7日。



#### 5)しずびちびっこプログラム

概要：2歳以上の未就学児を対象とした、鑑賞に基づく制作プログラム。保護者は展覧会を見学する。展覧会毎に様々なアプローチで未就学児の表現の可能性に迫っている。市内保育支援団体の協力を得て実施。(保護者は要観覧券)

#### (1)しずびちびっこプログラム

##### 「森村泰昌モリエンナーレ まねぶ美術史」

概要：森村の抽象作品を鑑賞後、アクリル絵の具、タンポ、○△□の型枠を用い、かたちを自由に構成した作品を制作した。

日時：5月26日(土)①10:30-12:00、②14:00-15:30

会場：ワークショップ室 参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計19人

主要広報記録：

##### 新聞

・「親は美術館で作品堪能 子は託児所でお絵かき」『朝日新聞』、5月27日。



#### (2)しずびちびっこプログラム

##### 「静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる」

概要：古来からある七夕飾りに想を得て、不織布に水彩絵の具を垂らし込み、梶の葉で飾りつけた短冊を制作した。

日時：6月30日(土)①10:30-12:00、②14:00-15:30

会場：ワークショップ室 参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計25人

主要広報記録：

##### 新聞

・「七夕アート、子どもら熱中 短冊色鮮やかに」『静岡新聞』中部版、7月1日。

・「願い届け 短冊作り」『読売新聞』静岡版、7月4日。



### (3)しずびちびっこプログラム

#### 「フィンランドの暮らしとデザイン ムーミンが住む森の生活」

概要：出品作を鑑賞後、折り畳んだラベルシートを切り抜き、出来上がったかたちと枠を配置を考えながら貼り、アクリル絵の具で彩色。オリジナルデザインのエコバックを制作した。

日時：9月29日(土)①10:30-12:00、②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計26人



### (4)しずびちびっこプログラム

#### 「ストラスプール美術館展 モダンアートへの招待」

概要：出品作を鑑賞後、「デカルコマニー」「フロッターージュ」により表れる偶然の形を見立てながら作品を制作した。

日時：11月10日(土)①10:30-12:00、②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計19人



### (5)しずびちびっこプログラム

#### 「滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展」

概要：福音館の絵本『鬼が出た』に基づき、鬼の特徴を明確にした後、多色のオープン陶土で「鬼の魔除け(半立体の飾り)」を制作。

日時：1月19日(土)①10:30-12:00、②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計23人

主要広報記録：

新聞

・『「魔除け」鬼の顔作りに挑戦』『産経新聞』静岡版、1月20日。

ウェブ

・『静岡大好き!しずふあん』、2月22日。



### (6)しずびちびっこプログラム

#### 「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界」

概要：『ごんぎつね』の読み語り後、各場面の情景や主要モチーフに美濃和紙をちぎって表現し、じゃばら状絵本を制作した。

日時：3月23日(土)①10:30-12:00、②14:00-15:30

会場：ワークショップ室

参加料：500円(材料費含む)

対象・参加者数：2歳以上の未就学児 計24人



## 6) しずびオープンアトリエ

概要：春・夏の年2回、開催中の展示会にあわせて実施する、鑑賞と創作が一体となったオリジナルワークショップ。

### (1)「折形」とあそぼう！」

概要：「七夕の美術」展にあわせ、七夕などの年中行事とも深い関わりをもち、古来より日本に伝わる“折形”をテーマに、6種類のプログラムを用意した。

日時：8月1日(水)～8月19日(日)※8月6日(月)は休館  
いずれも①13:30～、②15:00～(各回約1時間)  
(計18日間、36回実施)

会場：ワークショップ室

参加料：200円(材料費含む)

対象・参加者数：小学生以上 計394人(各回定員15人)

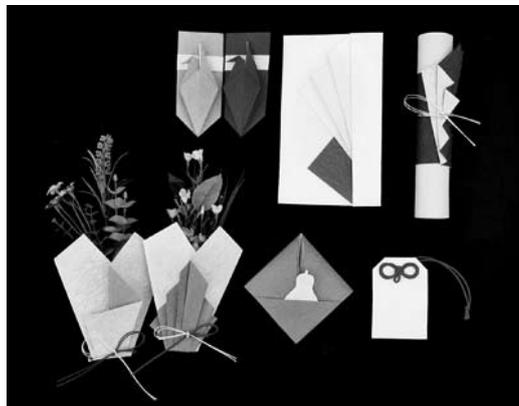
実施プログラム：

①草花包み ②種を包む ③絵巻を包む ④お守り袋 ⑤年玉包み ⑥祝い包み

主要広報記録：

新聞

・「気持ち込め“折形”制作」『静岡新聞』、8月11日。



### (2)「ごんぎつね」の紙ジオラマ“立版古”をつくろう」

概要：「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界」展にあわせ、江戸時代生まれの紙のジオラマ、立版古づくりに挑戦。かすや昌宏氏の絵本『ごんぎつね』の一場面を立体的に表現した。

日時：2月23日(土)～3月31日(日)の毎週土・日曜日  
※ただし、3月3日(日)、23日(土)を除く  
いずれも①13:30～、②15:00～(各回約1時間)  
(計10日間、20回実施)

会場：ワークショップ室

参加料：200円(材料費含む)

対象・参加者数：小学生以上 計368人(各回定員15人)

主要広報記録：

新聞

・「ワークショップ紹介」『毎日新聞』静岡版、2月24日。

・「ごんぎつねの世界 紙のジオラマに 静岡市美術館で立版古作り」『産経新聞』静岡版、3月3日。

・「美博なう ごんぎつねを立体表現 静岡市美術館」『朝日新聞』名古屋本社版・東京本社版(夕刊)、3月6日。



## 7) 暦とあそぶワークショップ

概要：祭事や年中行事を通して季節を感じ、それをかたちにする「暦とあそぶワークショップ」シリーズ。暦の本来の意味や歴史を学びながら制作する。

### (1)vol.2「節分だ！鬼のお面をつくろう」

概要：古来より日本各地に伝わるさまざまな鬼の絵やお面などを鑑賞し、鬼の定義について考えた後、鬼のお面を制作。最後に家族で完成したお面をつけ、豆まきをした。

日時：2月3日(日)13:00～16:30

会場：ワークショップ室 参加費：500円(材料費含む)

対象・参加者数：小学生以上20人 21人

主要広報記録：

新聞

・「『鬼』鑑賞してお面作り」『朝日新聞』静岡版、2月4日。



(2)vol.3「ひな祭りだ！オリジナル“つるし飾り”をつくろう」

概要：針や糸を使用せず、短時間で制作可能なプログラムを考案。つるし飾りのそれぞれのモチーフを制作しながら意味を解説。最後に親子一緒にオリジナルの飾りを考え、それに願いをこめ形にした。

日時：3月3日(日)13:00-16:30

会場：ワークショップ室

参加費：1,000円(材料費含む)

対象・参加者数：小学生とその親10組 12組27人

主要広報記録：

新聞

- ・「親子でつるし飾り作り」『静岡新聞』、3月5日。
- ・NHK静岡放送局『県内ニュース』、3月3日。



8)夜店市

概要：中央商店街恒例のイベント「夜店市」に出店し、「七夕の美術」展、「フィンランドのくらしのデザイン」展、「ストラスプール美術館」展のチケットを販売し、美術館の広報に努めた。

日時：8月10日(金)・11日(土)・12日(日)16:00-21:00

場所：葵区紺屋町名店街「小梳神社」側

販売物：「七夕の美術」展 当日券、「フィンランドのくらしのデザイン」展および「ストラスプール美術館」展 前売券  
※チケット購入者には、スピードくじを実施した。

印刷物等：

うちわ

<仕様>サイズ：φ208mm (穴アキ部分φ33mm)

紙：サンカード 36kg 枚数：8,000枚



うちわ表



うちわ裏

### 3-2 連携事業

#### 1) 学校との連携

##### (1) ミュージアム教室・展示解説

**概要：**子どもたちと当館学芸員が対話形式で行う展覧会鑑賞教室。子どもたち自身が作品の魅力を発見し、考えるよう促すことで、美術を身近で楽しいものと感じることを目指すとともに、美術館でのマナーも学習することを目的とする。

**対象：**幼・保育園児～高校生(※大学・専門学校については一般向け「展示解説」として実施。)

**実施内容・所要時間：**学芸員の解説30分+自由鑑賞30分  
計60分



利用状況：

	幼稚園・保育園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校・特別支援学級		大学・専門学校等		児童クラブ		月合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	0	0	0	0	0	0	1	18	0	0	0	0	0	0	1	18
5月	0	0	2	61	5	235	4	122	1	22	3	85	0	0	15	525
6月	1	6	0	0	3	50	0	0	0	0	1	32	0	0	5	88
7月	0	0	0	0	2	27	0	0	0	0	0	0	0	0	2	27
8月	0	0	0	0	3	78	0	0	0	0	0	0	1	27	4	105
9月	1	35	0	0	5	93	3	72	0	0	2	39	0	0	11	239
10月	0	0	0	0	1	27	1	10	0	0	3	85	1	11	6	133
11月	0	0	5	211	6	87	0	0	0	0	0	0	0	0	11	298
12月	0	0	1	42	4	71	1	26	0	0	0	0	0	0	6	139
1月	0	0	1	112	1	24	0	0	0	0	1	31	0	0	3	167
2月	0	0	5	339	2	30	0	0	1	19	0	0	0	0	8	388
3月	0	0	19	1,276	5	77	0	0	0	0	0	0	4	110	28	1,463
計	2	41	33	2,041	37	799	10	248	2	41	10	272	6	148	100	3,590

計100回 3,590人

#### 2) 外部施設との連携

##### (1) 生涯学習事業等への協力

###### (a) 展示・解説

**概要：**静岡市内生涯学習センター・生涯学習交流館の実施事業の参加者等に対する展示解説プログラム。実施内容・所要時間は

(1)ミュージアム教室と同一である。

###### (b) ワークショップ教材提供

**概要：**当館が独自に企画・制作したワークショップ教材を要望のあった施設や団体に対して提供した。

**提供先：**①夢二研究会(竹久夢二展 67頁 で実施)

②静岡市北部生涯学習センター

利用状況：

	生涯学習センター 生涯学習交流館		その他		月合計	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	1	85	0	0	1	85
7月	2	56	1	64	3	120
8月	0	0	3	130	3	130
9月	2	44	2	53	4	97
10月	2	42	0	0	2	42
11月	4	108	0	0	4	108
12月	1	14	0	0	1	14
1月	1	101	8	99	9	200
2月	1	59	1	15	2	74
3月	0	0	0	0	0	0
計	14	509	15	361	29	870

計29件 1,172人

## (2)その他施設との連携

### (a)Kids Art Project Shizuoka

**概要：**静岡県立美術館、駿府博物館、フェルケール博物館、静岡市芹沢銈介美術館、静岡市東海道広重美術館、静岡市美術館の6館と静岡市教育委員会、静岡新聞社・静岡放送が実行委員会を組織し、市内全小学生向けに各館のオリジナルスタンプを集めるスタンプラリー付「パスポート」を発行した。参加館6館全ての制覇者には記念品を贈呈した。また、参加館の情報を載せた「ミュージアム通信」を月1回発行した。

**実施期間：**10月1日(月)～3月31日(日)

**対象：**静岡市内の全小学生(※入館料常時無料。ただしフェルケール博物館はスタンプラリー期間中のみパスポート提示で観覧料無料)



### (b)静岡大学地域連携プログラム

#### しずび書き初め大会！

**概要：**正月に開幕する「近江巡礼」展にあわせ、静岡大学地域連携プログラムの一環として、大学連携も視野にいれ、今も学校で実施してなじみのある年中行事・書き初めを、親子三世代などで美術館という場で体験。日本の伝統文化の普及に努めた。なお、参加者の作品の一部は静大の卒業制作展で展示された。

**日時：**①【家族編】1月2日(水)、②【個人編】1月3日(木)

いずれも14:00～16:00

**講師：**静岡大学杉崎研究室

**対象：**①親子三世代、②個人

**会場：**多目的室

**参加者数：**①5組22人、②17人

**主要広報記録：**

#### 1)新聞

- ・荒木涼子「書き初め 親子で挑戦 静岡市美術館 開幕に合わせ」『毎日新聞』静岡版、1月3日。
- ・「夢に向かって書き初め 静岡」『朝日新聞』静岡版、1月4日。

#### 2)雑誌

- ・杉崎哲子「静岡大学地域連携プログラム「想いや願いを筆に込めて—その成果と課題—」『静岡大学 生涯学習教育研究』第15号、17～26頁。



### (c)教員のための博物館の日 in 静岡

**概要：**静岡科学館る・く・るが主催した「教員のための博物館の日

2012」関連事業への出展協力。国立科学博物館や県内、市内の施設で実施された、学校連携事業や教材を紹介するブースにて、当館普及プログラムの一部を紹介した。

**日時：**9月1日(土)10:00～16:00

**会場：**静岡科学館9階企画展示室

### 3) 静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館共同事業 (三館共同事業)

**概要：**JR静岡駅前位置する静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館が、特徴を活かして、音楽、科学、美術の境界を超え、総合的な文化空間の創造を目指して連携実施するもの。本年度は、七夕をテーマに各館の主催事業を展開した。

※静岡市美術館「七夕の美術」12頁参照。

#### (1) ミュージアム・コンサート

①《乞巧奠祭壇 星の座》の前で聴く「乞巧奠/星合曲」(中止)

②「雅楽：星空の調べ」

※15頁を参照。

#### (2) 静岡音楽館「日本の響きでつづる 七夕のまつりに」

**概要：**朗詠二星(歌、琵琶、笙、龍笛)、義太夫節「杉酒屋」(浄瑠璃、太掉三味線)、琉球舞踊「かせかけ」(舞踊、歌・三線、箏、胡弓、笛)、箏歌「星合曲」(歌・箏)等、七夕にちなんだ日本の伝統音楽による演奏会を開催した。

日時：7月7日(土)18:00-

会場：静岡音楽館AOI 参加費：4,000円(全席指定)

参加者数：243人

#### (3) 静岡科学館「夏の星空を観察しよう(観望会)」

※16頁を参照。

#### (4) 「展示室で宇宙散歩」

※16頁を参照。

#### (5) 三館共同事業「ミュージアム・カフェ・トーク」

**概要：**三館共同事業の理念に基づき、駅前に政令指定都市の顔にふさわしい総合的な文化空間を創造すべく、さまざまな文化人を迎え、市民と交流し語る事業を実施。各館の専門スタッフがコーディネーターとして、ゲストスピーカーと市民をつないだ。気軽に参加できるよう、ミュージアムショップ&カフェで購入した飲み物を持ちこめる工夫も行った。

主催：静岡音楽館AOI、静岡科学館る・く・る、静岡市美術館

参加料：無料

#### (a) 「七夕の星空&講演会」/ガレージトーク

**概要：**最新の研究成果をもとに天文学者が七夕の星とはどのような星なのかわかりやすく解説した。

日時：6月30日(土) ①講演会13:30-、②ガレージトーク15:00-

ゲスト：渡部潤一氏(国立天文台教授)

コーディネーター：代島慶一(静岡科学館る・く・るコミュニケーター)

会場：静岡科学館る・く・る ①9階イベントホール、②10階ガレージ

参加者数：130人

#### (b) 「七夕：コンサートと展覧会が出るまで」

※15頁を参照。

#### (c) 「色とは何か？ニュートンの色彩論から最新の脳科学研究まで」

**概要：**静岡科学館る・く・る「かがくの色あそび展」に関連したカフェトーク。人がどのように色を認識するのか、西洋における色彩論と芸術作品との関わりに加えて、進捗著しい現代の脳科学研究の最新の知見まで各分野の最新知見も交え、芸術と科学の両分野から探った。

日時：2月17日(日)14:00-

ゲスト：岡田温司氏(京都大学教授・西洋美術史)、池谷裕二氏(東京大学准教授)

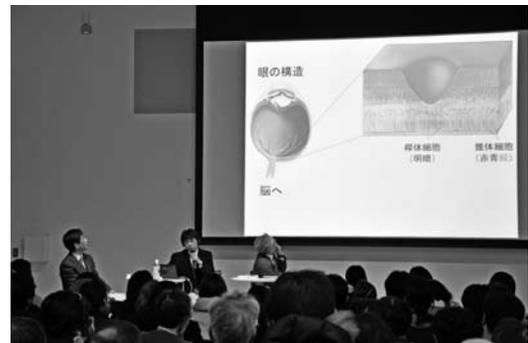
ファシリテーター：以倉新(当館学芸課長)

会場：多目的室 参加者数：108人

主要広報記録：

新聞

・「科学と芸術の観点から 色彩の不思議に迫る」『静岡新聞』、2月19日。



#### (d) 「日本の伝統色を探してみよう！」

**概要：**静岡科学館る・く・る「かがくの色あそび展」に関連し、近江巡礼展で展示されている日本の中世、近世の絵画や仏像に使われている日本の伝統色を解説した。

日時：①1月14日、②1月27日

参加者数：①15人、②2人

主要広報記録：

雑誌

・「絵具を知って古美術から探そう-静岡の科学館と美術館が連携」『Science window』2013年春号/第7巻1号、18-19頁、2013年4月。

## 4. 調査研究等

### 4-1 調査研究

平成24年度中に当館職員が行った、館外での主な活動および執筆・寄稿等は下記のとおりである。

#### ●田中豊稲

＜雑誌・新聞等寄稿＞

・「寄稿 仕事と生活の道標 しずおかの誇り」『ワークライフしずおか』No.11、2-3頁。

#### ●以倉新

＜館外での活動＞

・あいちサイエンスフェスティバル「キュレーター円卓会議」パネリスト(10月8日)／於：蒲郡市生命の海科学館

・静岡市立芹沢銈介美術館協議会委員(第1回：8月24日、第2回：2月16日)

・静岡県立美術館作品評価委員(11月21日)

・「現代美術の展望 VOCA展 2013-新しい平面の作家たち」推薦委員

＜展覧会カタログ編集・執筆＞

・「Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典」展カタログ監修、編集

「ひそやかなものたち」『Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典』みすず書房、102-113頁。

#### ●吉田恵理

＜展覧会カタログ編集・執筆＞

・「七夕の美術」展カタログ編集

エッセイ「『七夕の美術展』覚書」、章・節・作品解説等執筆、編集  
・「近江巡礼」展カタログ作品解説執筆

＜雑誌・新聞等寄稿＞

・「星に願いを-あなたの知らない七夕の美術」『新美術新聞』、6月21日。

・「『近江巡礼』至宝展in静岡 銅板に躍動感ある唐草文」『毎日新聞』静岡版、1月8日。

・「『近江巡礼』至宝展in静岡 湖中出現の薬師と山越しの観音」『毎日新聞』静岡版、1月9日。

・「『近江巡礼』至宝展in静岡 あの世の情景、憧れの風景」『毎日新聞』静岡版、1月10日。

＜その他＞

「徳川慶喜の書画」『豊穰の日本美術 小林忠先生古稀記念論文集』藝華書院、2012年3月。

「企画展「徳川家康の肖像(すがた)-江戸時代の人々の家康観」展を見学して」『公益財団法人徳川記念財団会報』Vol.20、2012年12月。

#### ●山本香瑞子

＜展覧会カタログ編集・執筆＞

・「近代から現代へ 日本画の巨匠たち」展(福岡市美術館)カタログ 章・作品解説執筆

＜講師等＞

・「福岡市美術館『日本画の巨匠たち展』を楽しむために」アクロス文化学び塾、8月25日。

・「日本画の巨匠たち展」関連セミナー「巨匠と名作-その理由をひもとく」福岡市美術館、8月26日。

#### ●森谷紗世

＜雑誌・新聞等寄稿＞

・「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展(上) 語り聞かせから生まれた作品」『毎日新聞』静岡版、2月19日。

・「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展(中) 自由と希望に満ちた東京生活」『毎日新聞』静岡版、2月20日。

・「新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界展(下) 到達した境地「民話のメルヘン」」『毎日新聞』静岡版、2月21日。

#### ●小川かい

＜発表＞

・「20世紀における画家の舞台美術への参画」、『近代芸術学研究會・<生動>する形象とは何か-芸術制作と生命論』、中部大学、3月4日。

＜講座＞

・「美術探訪 モダンアートの世界」、西奈生涯学習センター、11月24日・12月1日。

＜展覧会カタログ編集・執筆＞

・「ストラスブール美術館」展カタログ編集、作品・作家解説翻訳

#### ●青木良平

＜雑誌・新聞等寄稿＞

・「“まねて”学んだ青年・森村 森村泰昌 Mori Ennarele まねぶ美術史 上」『読売新聞』静岡版、4月18日。

・「コメントも岡本太郎風 森村泰昌 Mori Ennarele まねぶ美術史 中」『読売新聞』静岡版、4月19日。

・「「やればなんとかなる」 森村泰昌 Mori Ennarele まねぶ美術史 下」『読売新聞』静岡版、4月20日。

#### ●伊藤勉

＜展覧会カタログ編集・執筆＞

・「フィンランドのくらしとデザイン」展 テーマ解説執筆、歴史年表編集、カタログ編集

・「Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典」展カタログ監修、編集

「制作技法について」『Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典』みすず書房、114-119頁。

#### ◆教育プログラム企画・制作(担当：森谷・安岡)

・「しずびチビッコプログラム」オリジナルプログラム(各展覧会・計6種)

・「しずびオープンアトリエ」オリジナルプログラム(計2種)

夏：「“折形”とあそぼう！」

春：「『ごんぎつね』の紙ジオラマ“立版古”をつくろう」

・「プレゼントワークショップ」オリジナルプログラム(計4種)

vol.3「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」、vol.4「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」、vol.6「クリスマスの準備をしよう！」、vol.7「新年だ！うるし塗りの竹スプーンをつくろう」

・「暦とあそぶワークショップ」オリジナルプログラム(計2種)

vol.2「節分だ！鬼のお面をつくろう」、vol.3「ひな祭りだ！オリジナル“つるし飾り”をつくろう」

## 4-2 研修受入等

平成24年度に受け入れた学校・他施設等の職員の研修は下記のとおりである。

### 1) 教員社会体験の研修受入

受入期間：8月3日(金)、7日(火)、24日(金)(3日間)

研修者：

10年目研修…安東中学校 萩原教諭

初任者研修…伊東高校城ヶ崎分校 佐藤教諭 計2名

研修内容：「七夕の美術」展の展示替え作業の見学や、教育普及活動等イベントの補助等。

### 2) 教職員研修会の受入

受入期間／研修団体：

①8月7日(火)13:00～16:00／静岡市図画工作・美術科教育研究部

②8月10日(金)16:00～17:30／静岡県高等学校美術・工芸教育研究会

研修内容：「七夕の美術」展ミュージアム教室模擬体験および当館普及プログラム概要紹介・制作体験

## 4-3 視察受入等

### 1) 視察

平成24年度受入分は下記のとおりである。

※展示解説を実施した場合、「3-2連携事業 2)外部施設との連携」(62頁)の表の「その他」の項目と重複して記載。

	日付	視察団体名	人数
1	7月29日(日)	静岡科学館る・く・る	64人
2	8月5日(日)	岡山市議会 公明党 岡山市議団	4人
3	8月7日(火)	静岡市図画工作・美術科教育研究部	103人
4	8月10日(金)	静岡県高等学校美術・工芸教育研究会	23人
5	9月1日(土)	静岡科学館る・く・る	9人
6	9月8日(土)	静岡音楽館AOI	44人
7	1月14日(月)	静岡科学館る・く・る	17人
8	1月27日(日)	静岡科学館る・く・る	7人
9	1月31日(木)	静岡市監査委員	20人

計9件 291人

## 5. 受託事業

静岡市より委託を受け、次の事業を行った。

### 5-1 「竹久夢二」展

**概要：**蒲原地区の祭事にあわせ、志田コレクションの優品を、夢二と同時代に建てられた国登録有形文化財の旧五十嵐邸で展示する毎年恒例の展覧会。

**会期：**4月7日(土)～4月10日(火) **入館者数：**766人

**貸出内容：**志田コレクションより

- 1 掛軸《初春》
- 2 屏風(二曲一隻)《紫色の春の夜の》
- 3 セノオ楽譜原画《羽衣》
- 4-7 セノオ楽譜版画

《27番 「唯我心悩ぞ知らぬ」、《56番 「汝が碧き眼を開け」》  
《185番 「暮れて行く」》、《319番 「見よ優しき雲雀を」》

以上7点

**主要広報記録：**

**新聞**

・「竹久夢二の肉筆画展示 10日まで清水区」『読売新聞』静岡版、4月7日。



### 5-2 「将棋名人」展

**概要：**第70期名人戦7番勝負の第4局が浮月楼で開催されるのになんで開催。実力制名人ゆかりの品々や、家康公の時代の将棋をしのばせる資料により、将棋文化の一端を紹介。

**会期：**5月13日(日)～5月23日(水) **会場：**エントランスホール

**主要広報記録：**

**新聞**

・「804駒の大局将棋 名人戦関連企画展」『朝日新聞』静岡版、5月13日。

・樋口淳也「イベントで盛り上げ 静岡 子ども将棋や特別展」『毎日新聞』静岡版、5月14日。



**作品リスト：**

#### I. 名人と名人戦

- 1 木村名人書・木村文俊作《漆盛上駒》昭和初期、熊澤良尊氏
- 2 《実力制名人戦ゆかりの将棋盤 関根名人署名の覆い》1936(昭和11)年、熊澤良尊氏
- 3 『名人決定大棋戦譜・第一輯』(東京日日新聞社・大阪毎日新聞社発行)、1936(昭和11)年、熊澤良尊氏
- 4 奥野一香作《漆盛上駒・錦旗書》大正期、大阪商業大学アミューズメント産業研究所
- 5 《谷川浩司名人(当時)署名入り将棋盤》昭和～平成時代、大阪商業大学アミューズメント産業研究所

#### II. 将棋の歴史

- 6 『象戯図 一巻』1980(昭和55)年の写本、熊澤良尊氏  
※原本は水無瀬兼成筆、安土桃山時代、水無瀬神宮蔵
- 7 水無瀬兼成『将碁馬日記』複製、熊澤良尊氏  
※原本は安土桃山時代、水無瀬神宮蔵
- 8 「兼成卿写・八十二才」紫檀の駒、江戸時代中～後期、熊澤良尊氏
- 9 熊澤良尊作、水無瀬兼成「八十二才の駒」の写し、2006(平成18)年、熊澤良尊氏  
※原本は江戸時代前期、水無瀬神宮蔵
- 10 熊澤良尊 復元製作《大局将棋》2000(平成12)年、大阪商業大学アミューズメント産業研究所

### 5-3 静岡市文化振興財団公益財団法人移行記念・マリナート開館記念 「平野富山展—江尻が生んだ彩色木彫の名匠」

**概要：**平野富山(1911~89)は、旧清水市江尻に生まれ、日本近代彫刻の巨匠・平櫛田中(1872~1979)から絶大な信頼をおかれ、田中作品の彩色のほとんどを手掛けた彩色木彫家。17歳で単身上京した富山は、人形師・池野哲仙(1880~1936)に入門し、彩色の木彫法を学ぶ。一方で、彫刻家・齋藤素巖(1889~1974)にも師事し、塑造も習得。富山が目指したものは、生涯の師と仰いだ田中のように、日本彫刻の伝統にある“彫刻と彩色の不即不離の関係”を追求し、それを現代によみがえらせることだった。

本展は当財団の公益認定移行および静岡市清水文化会館マリナートの開館記念として、静岡市が所蔵する富山の彩色木彫・塑造作品のほか、富山の収集品など約50点を展示し、富山作品の魅力を紹介した。

会期：7月25日(水)~8月3日(金) 入館者数：828人

主要広報記録：

新聞

・「彩色木彫鮮やかに 清水区 平野富山の作品展」『静岡新聞』、8月2日。

印刷物：

チラシ

<仕様>紙：マットコート 75kg

サイズ・数量：A4 5,000部



チラシ表



チラシ裏

作品リスト：

- |                               |   |
|-------------------------------|---|
| 1 平野富山《吉野雛》、彩色木彫、静岡市          | 32 平野富山《神猿》昭和56年、彩色木彫、静岡市                           |
| 2 (平野富山)《女学生》、彩色木彫、静岡市        | 33 平野富山《羽衣舞》、彩色木彫、静岡市                               |
| 3 平野富山《羽衣》、彩色木彫、静岡市           | 34 平野富山《マフラーの女》、彩色木彫、静岡市                            |
| 4 平野富山《八重垣姫》、彩色木彫、静岡市         | 35 平野富山《おさな心》、彩色木彫、静岡市                              |
| 5 平野富山《粧》、彩色木彫、静岡市            | 36 平野富山《釈迦如来座像》、彩色木彫、静岡市                            |
| 6 平野富山《おぼろ夜》、彩色木彫、静岡市         | 37 池野哲仙《模刻隆慶作百人一衆》、彩色木彫、静岡市／平野富山コレクション              |
| 7 平野富山《三番叟》、彩色木彫、静岡市          | 38 池野哲仙《蘭陵王面》、彩色木彫、静岡市／平野富山コレクション                   |
| 8 平野富山《稚児雛》、彩色木彫、静岡市          | 39 池野哲仙《蘭陵王舞》、彩色木彫、静岡市／平野富山コレクション                   |
| 9 平野富山《筒井筒》、彩色木彫、静岡市          | 40 平野敬吉(富山)《ボデー・ビルダー》※第11回日展出品、昭和30年、石膏、静岡市         |
| 10 平野富山《孫》、彩色木彫、静岡市           | 41 平野敬吉(富山)《裸婦》※第2回新日展出品 特選、昭和34年、FRP、静岡市           |
| 11 平野富山《欄間扇面散らし》、彩色木彫、静岡市     | 42 平野敬吉(富山)《女》※第3回新日展出品 出品委嘱・無鑑査出品資格者、昭和35年、FRP、静岡市 |
| 12 平野富山《福童子》、彩色木彫、静岡市         | 43 平野敬吉(富山)《斜光》※第5回新日展出品 新審査員、昭和37年、FRP、静岡市         |
| 13 平野富山《顔》昭和40年代、ブロンズレリーフ、静岡市 | 44 平野敬吉(富山)《楽園》※第7回新日展出品、昭和39年、FRP、静岡市              |
| 14 平野富山《福ねずみ》、彩色木彫、静岡市        | 45 平野敬吉(富山)《おもがえり》※第4回改組日展出品 審査員、昭和47年、FRP、静岡市      |
| 15 平野富山《福寿恵比寿尊像》、彩色木彫、静岡市     | 46 平野敬吉(富山)《しづか》※第6回改組日展出品、昭和49年、石膏、静岡市             |
| 16 平野富山《福寿大黒天尊像》、彩色木彫、静岡市     | 47 平野敬吉(富山)《莫》※第7回改組日展出品、昭和50年、FRP、静岡市              |
| 17 平野富山《吉祥天》、彩色木彫、静岡市         | 48 平櫛田中《集雅》、紙本墨書、静岡市／平野富山コレクション                     |
| 18 平野富山《聖徳太子二歳像》、彩色木彫、静岡市     | 49 平櫛田中《弄花香衣満》昭和54年、紙本墨書、静岡市／平野富山コレクション             |
| 19 平野富山《韋駄天童子》、彩色木彫、静岡市       | 50 平櫛田中《桃季花開一杯酒》昭和54年、紙本墨書、静岡市／平野富山コレクション           |
| 20 平野富山《紀州犬》、彩色木彫、静岡市         | 51 平野富山《無》紙本墨書、静岡市                                  |
| 21 平野富山《翁舞》、彩色木彫、静岡市          | 52 平野富山《母子》紙本墨書、静岡市                                 |
| 22 平野富山《鍾馗》、彩色木彫、静岡市          | 53 平野富山《夢》紙本墨書、個人                                   |
| 23 平野富山《親王雛》、彩色木彫、静岡市         | 54 平野富山《花》紙本着色、個人                                   |
| 24 平野富山《神馬》、彩色木彫、静岡市          | 55 平野富山《桜花一輪春》紙本墨書、個人                               |
| 25 平野富山《天満大自在天神》、彩色木彫、静岡市     | 56 『平野富山 木彫作品集』、個人                                  |
| 26 平野富山《瑞果喜猿》、彩色木彫、静岡市        |   |
| 27 平野富山《良寛》、彩色木彫、静岡市          |   |
| 28 平野富山《鏡獅子》、彩色木彫、静岡市         |   |
| 29 平野富山《母子順風》昭和55年、彩色木彫、静岡市   |   |
| 30 平野富山《花ごころ》、彩色木彫、静岡市        |   |
| 31 平野富山《三輪雛》、彩色木彫、静岡市         |   |

#### 5-4 静岡市清水文化会館マリナート常設展示

### 「平野富山—江戸が生んだ彩色木彫の名匠」

【第1期】テーマ：能、現代的表現

【第2期】テーマ：縁起物、雛祭り

概要：平成24年8月に開館した静岡市清水文化会館マリナートにて、彩色木彫家・平野富山の常設展示を開始。

静岡市が収蔵する富山作品彩色木彫35点、塑造等約35点、書2点とその収集品454件より、富山の彩色木彫作品を中心に各期（※今年度は2期、次年度以降は3期）テーマを設けて展示した。

会期：【第1期】8月4日（土）-12月4日（火）

【第2期】12月5日（水）-4月5日（金）

#### 作品リスト：

【第1期】テーマ：能、現代的表現

- 1 平野富山《羽衣》彩色木彫、静岡市
- 2 平野富山《紀州犬》彩色木彫、静岡市
- 3 平野富山《神馬》彩色木彫、静岡市
- 4 平野富山《おさな心》彩色木彫、静岡市
- 5 平野敬吉（富山）《裸婦》※第2回新日展出品 特選、昭和34年、FRP、静岡市

【第2期】テーマ：縁起物、雛祭り

- 1 平野富山《吉野雛》彩色木彫、静岡市
- 2 平野富山《親王雛》彩色木彫、静岡市
- 3 平野富山《福ねずみ》彩色木彫、静岡市
- 4 平野富山《瑞果喜猿》彩色木彫、静岡市
- 5 平野富山《欄間扇面散らし》彩色木彫、静岡市
- 6 平野富山《マフラーの女》彩色木彫、静岡市
- 7 平野敬吉（富山）《莫》※第7回改組日展出品、昭和34年、FRP、静岡市



## 6. 作品等貸出・図書等受入

---

### 6-1 画像貸出記録

1)『日本経済新聞』日曜版「美の美」美術特集「竹久夢二とその時代」

貸出画像：竹久夢二《草に憩う女》

発行者：日本経済新聞社

発行部数：3,000,000部

発行：2012年7月22日

体裁：新聞(17面)、カラー

2)書籍 『日本の美女』

貸出画像：竹久夢二《草に憩う女》、《紫色の春の夜の》

発行者：平凡社（コロナ・ブックスシリーズ）

発行部数：5,000部

発行：2013年2月

体裁：A5版・総頁128頁オールカラー

### 6-2 図書等受入

平成24年度図書等受入数

	購入	寄贈	合計
カタログ	11冊	371冊	382冊
雑誌	49冊	96冊	145冊
一般図書・その他	162冊	277冊	439冊
合計	222冊	744冊	966冊

# 7. 広報活動

## 7-1 広報印刷物

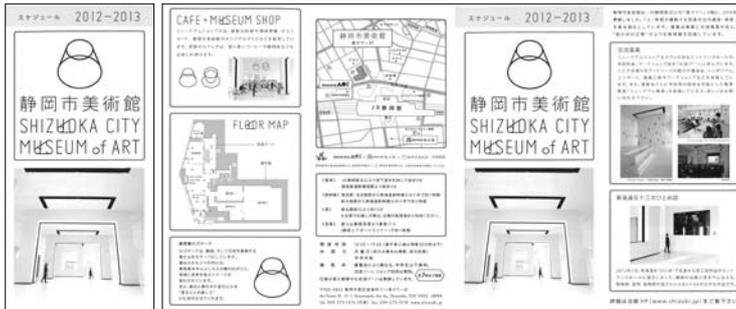
### 1) 年間スケジュール(日本語版)

平成24(2012)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作した。

<仕様>紙：マットコート 110kg

サイズ・数量：210×396mm (仕上 210×99mm) 45,000部

加工：観音折り(四つ折り)加工



表紙

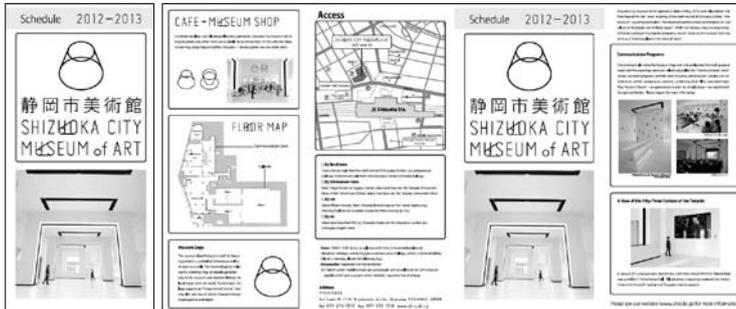
年間スケジュール表面



年間スケジュール中面

### 2) 年間スケジュール(英語版)

平成24(2012)年度展覧会スケジュールを下記のとおり制作し、ウェブサイトに掲載した。



表紙

年間スケジュール表面



年間スケジュール中面

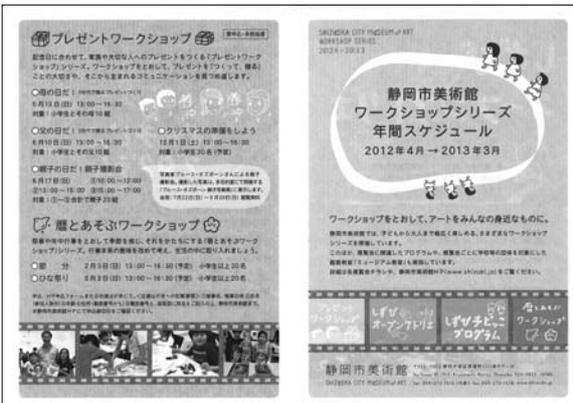
### 3) ワークショップシリーズ年間スケジュール

平成24(2012)年度ワークショップシリーズ年間スケジュールを下記のとおり制作した。

<仕様>紙：片艶クラフト 86kg

サイズ・数量：A4(仕上 A5) 20,000部

加工：二つ折り加工



ワークショップ年間スケジュール表面



ワークショップ年間スケジュール中面

## 7-2 ウェブサイト

展覧会情報を中心に、関連イベントの情報や施設概要、ショップ情報についても掲載。ブログ、ツイッターも開設し、常にタイムリーな情報発信を行っている。

ウェブサイト構成：<http://www.shizubi.jp>

- 展覧会 ・ これからの展覧会 ・ 開催中の展覧会
  - ・ 年間スケジュール ・ 過去の展覧会
- イベント ・ これからのイベント ・ 今までのイベント
- ショップ&カフェ ・ ショップ&カフェ ・ アーカイブ
- 学校・団体観賞
- プレス
- アクセス・利用案内 ・ アクセス/利用案内 ・ 駐車場
- 美術館の概要 ・ 館長挨拶 ・ コンセプト
  - ・ 施設概要 ・ ログについて
  - ・ 沿革
- その他(リンク)
  - ・ ブログ (<http://www.shizubi.jp/blog/index.php>)
  - ・ ツイッター ([http://twitter.com/#!/shizubi\\_jp](http://twitter.com/#!/shizubi_jp))

アクセス数：262,969件(1日平均 約720件)



## 7-3 施設広報記録

展覧会事業・交流事業以外の美術館施設に関する主な取材記録は下記のとおりである。

### 1)単行書(美術館紹介記事)

- ・『高校美術1』(ロゴマークの紹介) 日本文教出版。
- ・『ことりっふ』昭文社。

### 2)新聞

- ・「Around60」静岡市美術館平成25年度展覧会紹介『静岡新聞』、3月30日

### 3)雑誌(コミュニティ誌、フリーペーパー含む)

- ・「美術館アイデンティティ」『デザインノート』(株誠文堂新光社。
- ・「施設紹介」『neem』Vol.2。
- ・「施設紹介」『ぴあMOOK 日本の美術館ベスト240完全案内』。
- ・「東海道五十三次ひとめ図」『日本漆工』651号。
- ・「SHIZUOKA2012 静岡駅周辺のご案内」ゼンリン。
- ・「静岡のアート巡り」『ファミリス』10月号。
- ・『しずおか生活ガイドブック 2012』静岡リビング新聞社。
- ・『N Drive エヌドライブ 静岡のていねいを探す旅2』中日本高速道路株式会社。
- ・「美術館紹介」『Meets』AUTUMN。
- ・「ご当地活性化プロジェクト 静岡市美術館紹介」『hotpepper』11月号。
- ・「静岡の街の真ん中にある美術館」『静岡時代』29号。
- ・「最新！ミュージアムグッズ案内」『美術の窓』12月号。
- ・「身近で買える！富士山グッズ」『リビング静岡』静岡リビング新聞社、1411号。
- ・「誰もが気軽に立ち寄れる“おまち”にある美術館」『mignon』2013年春号。

### 4)ウェブサイト等

- ・JR西日本・首都圏エリアHP、JR東日本HP、地球の歩き方「日本の歩き方」、Yahoo!JAPAN。

## 8. 管理運営

### 8-1 利用者数

#### 1)利用者数(月別) (単位:人)

	展覧会 観覧者	展覧会関連事業 参加者	交流事業 参加者	連携事業 参加者	その他事業 参加者	事業参加者 計	総入館者
4月	2,053	174	-	-	963 <sup>*</sup>	3,190	11,880
5月	3,959	783	39	-	-	4,781	15,402
6月	3,619	331	118	-	-	4,068	15,616
7月	4,799	507	-	57	-	5,363	15,405
8月	4,475	594	499	-	828	6,396	21,322
9月	31,076	764	231	-	-	32,071	65,043
10月	11,158	218	-	-	-	11,376	28,704
11月	6,144	623	45	-	-	6,812	18,342
12月	4,896	212	211	-	-	5,319	15,691
1月	7,357	648	23	-	-	8,028	21,225
2月	6,006	588	74	108	-	6,776	18,843
3月	15,320	2,942	486	-	-	18,748	34,911
計	100,862	8,384	1,726	165	1,594	112,928	282,384
月平均	8,405	699	192	83	797	9,411	23,532

※前年度事業197人を含む。

#### 2)利用者数 事業別

展覧会名	実施期間	入場者等
森村泰昌 Mori Ennenare maebou 美術史	4月7日～6月10日 (開館57日間)	7,976人 (140人/日)
静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる	6月23日～8月19日 (開館51日間)	10,929人 (214人/日)
フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活	9月1日～10月8日 (開館38日間)	41,258人 (1,086人/日)
ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待	10月27日～12月16日 (開館44日間)	12,016人 (273人/日)
滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展	1月2日～2月11日 (開館36日間)	11,256人 (313人/日)
新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界	2月23日～3月31日 (開館32日間)	17,427人 (545人/日)
展覧会 観覧者 計		100,862人
普及事業参加者 (展覧会関連事業+交流・連携・その他事業参加者)		12,066人
事業参加者 総計 (展覧会観覧者+普及事業参加者)		112,928人
総入館者数 (エントランス入口自動カウンター集計数)	4月1日～3月31日	282,384人

3)利用者数(事業別詳細)

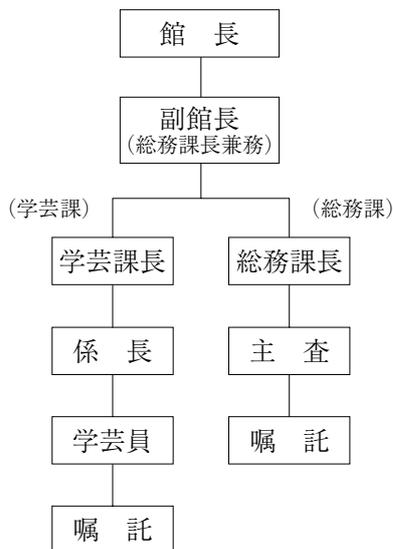
事業区分	事業名	実施期間	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会	ミュージアム教室		計6本 100,862人		
	森村泰昌 Mori Ennare まねぶ美術史	4/7-6/10	15,000	7,976	53.2%
	静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる	6/23-8/19	18,000	10,929	60.7%
	フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活	9/1-10/8	23,000	41,258	179.4%
	ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待	10/27-12/16	22,000	12,016	54.6%
	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展	1/2-2/11	22,000	11,256	51.2%
	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界	2/23-3/31	18,000	17,427	96.8%
展覧会関連事業	ミュージアム教室(※大学・専門学校・各種学校への解説を含む)		計3,472人(89団体/114回)		
	森村泰昌 Mori Ennare まねぶ美術史		505(11団体/23回)		
	静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる		202(10団体/10回)		
	フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活	随時	248(12団体/12回)		
	ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待		437(17団体/20回)		
	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展		179(5団体/6回)		
	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界		1,867(34団体/43回)		
	その他展示解説(※視察・大学・専門学校・各種学校への解説を含む)		計1,228人(41団体/51回)		
	森村泰昌 Mori Ennare まねぶ美術史		117(4団体/5回)		
	静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる		421(9団体/15回)		
	フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活	随時	229(10団体/12回)		
	ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待		156(6団体/6回)		
	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展		305(12団体/13回)		
	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界		0(0団体/0回)		
	ギャラリートーク		計4回 353人		
	森村泰昌 Mori Ennare まねぶ美術史		-	105	-
	静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる		-	48	-
	フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活	随時	-	99	-
	ストラスブール美術館展 モダンアートへの招待		-	101	-
	森村泰昌 Mori Ennare まねぶ美術史 関連事業		計3本 332人		
	特別観賞会「森村さんとめぐる Mori Ennare」	4/7	50	60	120.0%
	ドキュメンタリー上映会	4/8-6/3	560	160	28.6%
	森村さんと見る映像作品上映会	5/6	100	112	112.0%
	静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる 関連事業		計11本 659人 ※中止事業を除く		
	日詰明男 七夕フィボナッチタワーをつくろう!	5/19-6/3	-	112	-
	七夕フィボナッチタワー出現!	6/4-8/24	-	-	-
	静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業 ミュージアム・コンサート①	6/23	50	中止	-
《乞巧奠 星の座》の前で聴く「乞巧奠/星合曲」					
ミュージアム・コンサート② 「雅楽:星空の調べ」	7/6	100	108	108.0%	
講演会「もうひとつの七夕 星をめぐる姫」	7/7	70	42	60.0%	
アーティストトーク&ワークショップ 黄金比の七夕飾りをつくろう! <プレアデス>を作る	7/14	30	12	40.0%	
アーティストトーク&ワークショップ 黄金比の七夕飾りをつくろう! <星籠>(六勾納豆)を作る	7/16	30	31	103.3%	
ギャラリートーク “この1点”をとことん語る	7/21、8/4	-	50	-	
静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業 「展示室で宇宙散歩」	7/31、8/19	30	94	313.3%	
旧暦七夕コンサート	8/24	-	143	-	
旧暦七夕コンサート 前座その1 幾何学屋台「星のカタヌキ」	8/24	-	40	-	
旧暦七夕コンサート 前座その2	8/24	-	27	-	
空想数学社講釈「宇宙の形、原子の形」					
フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活 関連事業		計4本 372人			
講演会「アクセリ・ガレン=カレラ」と民族叙事詩「カレワラ」	9/1	100	92	92.0%	
ふじのくに子ども芸術大学 ワークショップ 「フィンランドの伝統装飾 ヒンメリをつくろう!」	9/8、23	40	38	95.0%	

事業区分	事業名	実施期間	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
展覧会 関連事業	ヤンネ館野トーク&コンサート「フィンランドの響き」	9/9	120	137	114.2%
	講演会「北欧デザインの中のフィンランド・モダンデザイン」	9/22	100	105	105.0%
	ストラスプール美術館展 モダンアートへの招待 関連事業		計2本 175人		
	コンサート 「美術と音楽の幸せな出会い」	11/18	100	111	111.0%
	講演会「モダンアートの魅力」	11/23	70	64	91.4%
	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展 関連事業		計5本 309人		
	写真パネル展「水と神と仏の近江」	12/23-2/11	-	-	-
	館長/学芸員が案内する「近江巡礼 祈りの至宝展」特別団体鑑賞	1/2-2/11	-	15	-
	講演会「近江の神仏-祈りの至宝-」	1/5	100	105	105.0%
	ギャラリートーク「この1点をとことん語る」	1/12、2/2	-	95	-
	講演会「六道絵の世界-地獄をみて極楽を知る-」	1/20	100	94	94.0%
	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界 関連事業		計4本 1,479人		
	南吉のおはなしを楽しむ会	3/2-3/31	-	830	-
	講演会「新美南吉童話の世界～「ごんぎつね」から久助のものまで～」	3/9	70	124	177.1%
	アニメ「おぢいさんのランプ」上映	3/16、17	-	468	-
ごんぎつねチャリティかるた大会	3/20	80	57	71.3%	
交流事業	Shizubi Project		計2本 56人		
	Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典	8/28-11/25	-	-	-
	「Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典」関連イベント 小林且典 アーティストトーク	9/29、11/10	-	41	-
	「Shizubi Project 2 ひそやかな眼差し 小林且典」関連イベント 作品集刊行記念対談	9/30	70	15	21.4%
	Shizubi シネマアワー		計7本 467人		
	vol.5「フィンランドを楽しむ映画」 「劇場版ムーミン パベット・アニメーション～ムーミン谷の夏まつり」	9/15	70	97	138.6%
	vol.5「フィンランドを楽しむ映画」『かもめ食堂』	9/16	70	78	111.4%
	vol.6「フランス映画特集」『シルビアのいる街で』	12/2	70	49	70.0%
	vol.6「フランス映画特集」『8人の女たち』	12/8	70	80	114.3%
	vol.6「フランス映画特集」『クリスマス・ストーリー』	12/9	70	43	61.4%
	vol.7「ダンス・ドキュメンタリー」『ピナ・バウシュ 夢の教室』	3/23	70	68	97.1%
	vol.7「ダンス・ドキュメンタリー」 「ベジャール、そしてバレエはつづく」	3/24	70	52	74.3%
	しずびチビッコプログラム		計6本 136人		
	森村泰昌 Mori Ennare まねぶ美術史	5/26	20	19	95.0%
	静岡音楽館AOI×静岡科学館る・く・る×静岡市美術館 共同事業 七夕の美術-日本近世・近代の美術工芸にみる	6/30	20	25	125.0%
	フィンランドのくらしとデザイン-ムーミンが住む森の生活	9/29	20	26	130.0%
	ストラスプール美術館展 モダンアートへの招待	11/10	20	19	95.0%
	滋賀県立琵琶湖文化館が守り伝える美 近江巡礼 祈りの至宝展	1/19	20	23	115.0%
	新美南吉生誕100年 ごんぎつねの世界	3/23	20	24	120.0%
	プレゼントワークショップ		計6本 152人		
	プレゼントワークショップ vol.3 「母の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」	5/13	20	20	100.0%
	プレゼントワークショップ vol.4 「父の日だ！2世代で贈るプレゼントづくり」	6/10	20	18	90.0%
	プレゼントワークショップ vol.5 「親子の日だ！ブルース・オズボーン 親子撮影会 ～未来の私たちへの贈り物～」	6/17	40	75	187.5%
	プレゼントワークショップ vol.5 「ブルース・オズボーン 親子写真展 ～未来の私たちへの贈り物～」	7/22-8/26	-	-	-
	プレゼントワークショップ vol.6 「クリスマスの準備をしよう！」	12/1	20	19	95.0%
	プレゼントワークショップ vol.7 「新年だ！うるし塗りの竹スプーンをつくろう」	12/15、1/6	20	20	100.0%
	しずびオープンアトリエ		計2本 762人		
	しずびオープンアトリエ 「“折形”とあそぼう！」	8/1-19	360	394	109.4%
	しずびオープンアトリエ 「『ごんぎつね』の紙ジオラマ“立版古”をつくろう」	2/23-3/31	200	368	184.0%

事業区分	事業名	実施期間	入場者等		
			目標値	実績値	達成率
			(人)	(人)	(%)
交流事業	暦とあそぶワークショップ 暦とあそぶワークショップ vol.2 「節分だ！鬼のお面をつくろう」	2/3	20	21	105.0%
	暦とあそぶワークショップ vol.3 「ひな祭りだ！オリジナル"つるし飾り"をつくろう」	3/3	20	27	135.0%
	連続トークイベント「ピーター・バラカンの音を見る。アートを聴く。」		計1本 1回 29人		
	連続トークイベント「ピーター・バラカンの音を見る。アートを聴く。」第6回「音楽と写真」	8/26	100	105	105.0%
	その他		計1本 105人		
	第50回 静岡夏まつり 夜店市	8/10-12	-	-	-
	Kids Art Project Shizuoka	4/1-3/31	-	-	-
連携事業	静岡音楽館 A O I × 静岡科学館る・く・る × 静岡市美術館 共同事業		計5本 538人		
	ミュージアム カフェ トーク 「七夕の星空講演会」/ガレージトーク	6/30	190	130	68.4%
	ミュージアム カフェ トーク 「七夕：コンサートと展覧会が出来るまで」	7/1	70	32	45.7%
	静岡科学館「夏の星空を観察しよう(観望会)」	7/29	30	25	83.3%
	静岡音楽館「日本の響きでつづる 七夕のまつりに」	7/7	300	243	81.0%
	ミュージアム カフェ トーク 「色とは何か？ニュートンの色彩論から最新の脳科学研究まで」	2/17	70	108	154.3%
その他事業	その他		計6件 1,633人		
	平成24年度 静岡市文化活動振興事業「竹久夢二」展	4/7-10	700	766	109.4%
	「将棋名人」展	5/13-23	-	-	-
	静岡市文化振興財団公益財団法人移行記念・マリナート開館記念 「平野富山展—江尻が生んだ彩色木彫の名匠」	7/24-8/3	800	828	103.5%
	平成24年度静岡市文化活動振興事業 静岡市清水文化会館マリナート常設展示 「平野富山—江尻が生んだ彩色木彫の名匠」 【第1期】テーマ：能、現代的表現 【第2期】テーマ：縁起物、雛祭り	【第1期】 8/4-12/4 【第2期】 12/5-4/5	-	-	-
	静岡大学地域連携プログラム しずび書き初め大会！【家族編】	1/2	20	22	110.0%
	静岡大学地域連携プログラム しずび書き初め大会！【個人編】	1/3	20	17	85.0%

## 8-2 組織図・職員名簿

<組織図>



<職員名簿> (平成24年度)

館長	田中 豊稲
副館長(総務課長兼務)	落合 廣明
(総務課)	
主査	村上 真琴
嘱託	良井 雅也
嘱託	内山 奈穂
(学芸課)	
学芸課長	以倉 新(近・現代美術)
係長	吉田 恵理(日本美術)
学芸員	山本 香瑞子(日本近代美術)
学芸員	小川 かい(西洋美術)
学芸員	森谷 紗世(教育普及)
学芸員	青木 良平(西洋美術)
学芸員	伊藤 鮎(西洋美術)
学芸員	安岡 真理(教育普及)
嘱託	鈴木 香代(広報)
嘱託	大庭 千恵子(広報)

## 8-3 条例・施行規則

### ○静岡市美術館条例

平成21年7月16日  
条例第50号

(設置)

第1条 静岡市は、多様な美術表現を広く市民に公開し、静岡市の特色ある美術文化の創造と発信を行い、及び美術文化の交流を促進することにより、美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、もって市民の美術文化を振興することを目的として、次の施設を設置する。

名称	位置
静岡市美術館	静岡市葵区紺屋町17番地の1

(事業)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術文化に係る展示会の開催に関すること。
- (2) 美術文化の教育及び普及に関すること。
- (3) 美術文化に係る講演会、講習会等の開催に関すること。
- (4) 美術文化に係る調査及び研究に関すること。
- (5) 美術文化に係る情報の収集及び提供並びに広報活動に関すること。
- (6) 美術作品及び美術に係る資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事業(開館時間)

第3条 美術館の開館時間は、午前10時から午後7時までとする。ただし、第7条の規定による指定を受けて美術館の管理を行うもの(以下「指定管理者」という。)が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更することができる。

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者が特に必要があると認めるときは、市長の承認を得てこれを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(当日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下この号において「休日」という。)に当たるときは、その翌日以降の最初の休日以外の日)
- (2) 12月28日から翌年の1月4日までの日

(入館の制限)

第5条 指定管理者は、次の各号のいずれかに該当するときは、美術館への入館を拒否し、又は美術館からの退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 美術館の管理上支障があると認めるとき。
- (3) 前2号に掲げる場合のほか、必要があると認めるとき。

(損害賠償の義務)

第6条 美術館の施設、設備、備品等を損傷し、又は滅失したときは、その損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(指定管理者による管理)

第7条 美術館の管理は、地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の第3項の規定により、法人その他の団体であつて市長が指定するものに行わせるものとする。

(指定管理者の指定の申請)

第8条 指定管理者の指定を受けようとするものは、事業計画書その他規則で定める書類を添付して市長に申請しなければならない。

(指定管理者の指定の基準)

第9条 市長は、前条の規定による申請を審査し、次に掲げる基準に適合するものの中から、最も効率的かつ適切な管理を行うことができると認めるものを指定管理者として指定するものとする。

- (1) 事業計画が美術館の設置の目的を達成するためにふさわしいものであること。
- (2) 事業計画が美術館の効果的な管理を実現するものであること。
- (3) 事業計画に沿った管理を行うために必要な物的・人的能力を有していると認められること。
- (4) 管理の業務を適切かつ円滑に行うための経理的基礎を有していること。

(指定管理者の指定等の公告)

第10条 市長は、指定管理者を指定したとき、又はその指定を取り消したときは、遅滞なく、その旨を公告するものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第11条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 第2条に掲げる事業の実施に関すること。
- (2) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める業務(指定管理者の原状回復の義務)

第12条 指定管理者は、その指定に係る管理の業務の期間が満了したとき、又は指定を取り消され、若しくは期間を定めて管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなった施設又は設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、市長の承認を得たときは、この限りでない。

(委任)

第13条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して12月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第1条、第8条から第11条まで及び第13条の規定は、公布の日から施行する。

(平成22年規則第9号で、規則で定める日を平成22年5月1日とした。)

○静岡市美術館条例施行規則

平成21年11月12日  
規則第103号

(趣旨)

第1条 この規則は、静岡市美術館条例(平成21年静岡市条例第50号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入館者の遵守事項)

第2条 静岡市美術館(以下「美術館」という。)の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 火災、爆発その他の危険を生ずるおそれのある行為をしないこと。
- (2) 騒音又は大声を発する等他人に迷惑を及ぼす行為をしないこと。
- (3) 動物(身体障害者補助犬法(平成14年法律第49号)第2条第1項に規定する身体障害者補助犬を除く。)又は他人に迷惑を及ぼすおそれのある物品を持ち込まないこと。
- (4) 美術館資料、器物又は施設を汚損し、又は損傷するおそれのある行為をしないこと。
- (5) 許可を受けないで広告類を掲出し、又はまき散らす行為をしないこと。
- (6) 所定の場所以外の場所へ立ち入らないこと。
- (7) 所定の場所以外の場所で飲食をしないこと。
- (8) 喫煙をしないこと。
- (9) 許可を受けないで寄附金品の募集、物品の販売若しくは陳列又は飲食物の販売若しくは提供をしないこと。
- (10) 前各号に掲げるもののほか、指定管理者が管理上支障があると認める行為をしないこと。

(指定管理者の指定の申請書類)

第3条 条例第8条の規定による申請は、静岡市美術館指定管理者指定申請書(様式第1号)に、次に掲げる書類を添えて行うものとする。

- (1) 静岡市美術館事業計画書(様式第2号)
- (2) 静岡市美術館事業計画に関する収支予算書(様式第3号)
- (3) 定款、寄附行為又はこれに準ずるものの謄本
- (4) 役員名簿
- (5) 経営(事業)状況に関する書類
- (6) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類(協定の締結)

第4条 市長は、指定管理者を指定したときは、当該指定管理者と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定には、次に掲げる事項を掲載するものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 市が支払うべき管理費用に関する事項
- (3) 管理業務を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 事業報告に関する事項
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める事項(雑則)

第5条 この規則に定めるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第2条の規定は、静岡市美術館条例附則本文に規定する規則で定める日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

静岡市美術館指定管理者指定申請書

年 月 日

(あて先)静岡市長

所在地(法人以外の団体にあつては、その代表者の住所)

申請者 名称

代表者氏名

印

電話

静岡市美術館の指定管理者の指定を受けたいので、静岡市美術館条例第8条及び静岡市美術館条例施行規則第3条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

様式第2号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画書

事業計画の理念・方針
実施事業の概要(事業の構成及び年間計画表)
実施体制図
特記事項(効果的に事業を行うための方策、市民サービスの向上のための施策等)

様式第3号(第3条関係)

静岡市美術館事業計画に関する収支予算書

収入			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円
支出			千円
	科目	内容・数量	金額
			千円



平成24(2012)年度  
静岡市美術館 年報 No.3  
2014年3月 発行

編集・発行 静岡市美術館  
〒420-0852  
静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3階  
TEL 054-273-1515(代)  
FAX 054-273-1518

印刷 株式会社アプライズ

©Shizuoka City Museum of Art 2014

